

5 聞き書きの情報

(1) 平成24年度調査の成果

○潜水漁を始めた動機

1 海女になったのは、いつ、どのような理由からですか。

- ・結婚後、子どもの手が離れた3年前。母と姉が海女に行くのを見て。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・神島に戻ってから。身体が弱く健康になりたいと言う気持ちから。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・中学校卒業後。島内では働く場所もなく自然と海女になった。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・結婚してから、自然と。気がついたら海女になっていた。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・中学校を卒業後。海女で働く叔母を見て、自然と海女になった。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・結婚を機に始める。嫁いだ家は漁家であったが、家計の足しになればと思った。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・子どもの手がはなれた28歳から。家が漁師で海女だから一主人も海士。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・母が海女だったので、子どもの頃から遊びで潜っていた。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・未婚の時から遊びながらしていた。結婚してから本格的にする。親も海女だったし、潜るのが好きだから。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・32才の時、子どもの手がはなれたから。母も海女で潜るのが好き。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・本格的海女になったのは結婚した23才のとき。母や義母も海女だったから。潜るのが好きだから。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・専門としたのは結婚(21才)してから。祖母・母も海女だったから。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・結婚してから。潜るのが好き。祖母も母も海女だったから。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・本格的には結婚してから。祖母、母も海女だったから。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・菅島に戻ってきてから。小さい頃から潜っていた。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・22歳の頃、結婚してから。小さい頃から潜ることはしていた。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・15才。水揚げをするようになったのは結婚してから(21才)。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・子どもの頃から潜っていた。中学校の頃はPTA会費としていたので、みんなもぐっていた。アワビ3コに対して1コ学校へ出す。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・結婚してから。遊びで小さい頃から潜ってはいた。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・中学出てから。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・中学卒業後。自然に小さい頃から海女になるものと思っていた。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・中学生の頃から休みの日は潜っていた。学校より楽。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・親もそうだから自然となった。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・子どもの頃より磯遊びをしていたから自然となった。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・10年前、離婚をきっかけに始めた。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・22歳のとき結婚して、海女になった。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・子どもと泳ぎに行き行って沢山のアワビを見つけたのが、きっかけ。タイヤに8ヶ付いていた。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・22歳のとき結婚してから。それまではアラメ切り。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・15才中。親が海女さんだった為、自分も。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・3年前。子育てが一段落したから。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・35才。子どもがまだ小さくて、ご近所に海女がいてやってみようかなと声をかけてみたのが、きっかけ。道具なども、すべて譲ってもらった。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・S45、結婚してから、泳ぐ事は得意だった。生活の為。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・子育てが終わってから。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・生活苦から。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・15歳。昔は貧乏子だくさんで海女しか選択肢がなかったし、孫ばあさんの強い勧めがあった。また、海も好きで夏になると毎日のように磯へ遊びに行っていた。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・15歳の時、海女が好きだったし、選択肢もなかった。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・中学を卒業した後、家の手伝いとして従事。そのあとずっと。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・24才の時。海が好きだから。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・仕事もなく、真珠養殖の景気が悪いので、63才くらいから海女。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・子どもが保育所に入ってから。御座→御座へ嫁いだので、てっとり早く海女。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・子どもが小学生くらいの時から。海女の友人(片田の海女さん←片田一番の海女)からのススメ。姑

も姉も海女さんだった。 志摩市志摩町御座54歳 P040

- ・20歳で結婚し、2児を出産後に現在も海女仲間である山川さんと一緒に練習を始めた。アワビが採れて、金になったのがうれしかった。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・家業の手伝いよりも、海に行く方が楽しそうだったため、32歳から始めた。 志摩市大王町畔名85歳 P046

2 海女となってから、生活上の変化はありましたか。

- ・海女の時期が楽しくなった。潮時なども気にするようになった。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・健康になった。健康診断では普通より肺気量が大きいと言われた。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・海女以外の勤務経験もないし、特に大きな変化はない。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・特に大きな変化はない。夏は海女に行く決めてる。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・金銭的には、そんなに大きな変化は無いが、生活は楽になった。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・漁期間中の健康管理や安全管理に留意するようになった。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・夏は海女漁中心となった。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・漁師が中心なので、海女は10日間ぐらい行くだけ。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・夏は海女としての生活が中心となる。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・夏は海女漁中心の生活になった。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・未婚の時は練習で遊びのようなもの。結婚してからは、生活のため、欲出てきた。生活よくなった。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・海女で生活がよくなった。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・夏は海女中心の生活となり、生活もよくなった。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・海女になって生活よくなった。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・特になし。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・海の好きなものが食べられる。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・特になし。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・別になし。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・特になし。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・ない。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・特になし。 鳥羽市石鏡75歳 P020
- ・何もない。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・より多く稼ぐことを考えるようになった。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・あった。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・変化はあった。収入が増えたと感じた。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・夏が来るのが待ち遠しいです。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・あった。収入が増えた。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・変化なし。海女になるものと思っていた。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・少しありました。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・ありません。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・良くなった。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・自分の力で漁が出来るから、いいです。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・豊かになった。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・最初は一生懸命で余裕はなかった。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・なりたての頃は必死でやっていた。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・ない 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・収入がよくなった。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・特に変化なし。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・特別ないが、生活にメリハリが出来て、規則正しくなった。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・最初は生活の為ではなかったが、今は生活の元。(今はメイン) 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・風邪をひかないように気をつけるようになった。30歳から冬磯を始めたので、春季と秋季とは体を休めるようにした。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・漁が上達するよう、海底地形の様子などを見から教えてもらうなど、海女中心の生活になった。 志摩市大王町畔名85歳 P046

3 未婚の時と既婚の時とで、漁獲等で意識の違いはありますか。

- ・海の無い町で育つ。海女は未経験。結婚直後は潜らざイソモノ取り今年アワビを初出荷。小遣程度だが海女に行くのが楽しくなった。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・未婚なのでわからない。採れるようになると、もっと採りたいと言う気持ちにはなってくる。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・結婚前は遊びみたいなもの。結婚後は、刺し網・蛸壺漁が本業で海女は副業的なもの。収益はあまり気に掛けなかった。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・結婚前は遊びみたいなもの、「採る」と言う意識はない。結婚後は、収入を意識し海女を職業として考えるようになった。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・結婚前は遊びみたいなもの。漁獲物を「売る」という気持ちは薄い。結婚後は、「一つでも多く採りたい」と言う気持ちに変わった。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・未婚時に比べて、上達したいと思う気持ちが強くなった。遊びから生活のためにという意識に変わっていった。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・海女としての意識が強くなった。たくさん獲りたいという欲が出てきた。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・多少は欲が出て、潜るようになった。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・海女としての意識が強くなった。欲が出るようになった。漁がないと火場に行かれないように思う。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・海女としての職業意識強くなった。少しでも多く獲物をとろうという欲が出てきた。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・海女としての意識が強くなった。1カズキで60個とった時もあった。欲出て、できるだけ無理してでも多く獲るようになった。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・未婚の時は、遊び・練習で小遣稼ぎだったが、結婚して本格的に海女漁に専念、欲が出てきた。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・未婚の時は、練習のつもりで、欲はあまりなかったが、結婚してからは、無理してでも多くとるようになった。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・未婚の時は遊びのようであったが結婚してからは、欲も出て、無理してでも潜るようになった。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・結婚してからは生活費となる。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・未婚の時は、小遣い。既婚は、生活がかかるから必死である。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・既婚・・・少しでも多くの水揚げがあがるように努力するようになった。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・既婚・・・生活がかかっている。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・ある。既婚してからは姑がいるから、どれだけでも獲ってこないといけない。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・ない。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・特になし。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・結婚してからは頑張った。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・子どもを一人前に育てないかんという気持ちから稼ぎを強く意識するようになった。子どものため。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・海女になるとは思っていなかったが、泳ぐ事に抵抗はなく、家の手伝いをしているうちに海女をしていた。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・特に差はない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・なし。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・海女は結婚後であるので、特に意識はない。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・なし。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・結婚してからのなので違いは分からない。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・なし。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・だんだんと欲が出る。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・15年間なので漁が多くなりました。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・結婚してから始めたので。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・結婚は24歳のころ。そのころは海の状況も良く、やる気もあったし良かった。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・24歳で結婚。嫁入りの頃は張り切って漁も多かった。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・ない 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・結婚してからのなので、特にない。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・特になし。(ご主人が55才位で亡くなられた) 志摩市志摩町御座78歳 P038

- ・年々、もっと獲りたいという意識が高まってきている。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・未婚の時は、海女をしていなかったから、特にない。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・結婚後に始めた。分家だったので漁業権を買った。当時、8万円だった。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・未婚時代は磯遊び程度しかしたことがなかった。 志摩市大王町畔名85歳 P046

4 海女にならなかった場合、どんな生活を送ったと思いますか。

- ・イソに行かない人は組合とか旅館の仕事を頼まれる。海女に行かなければ頼まれた仕事をしながら主婦をしている。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・特に考えたことはないが、島外でごく普通の生活をしていたと思う。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・海女以外の仕事は考えたことがない。結婚後は、夫が生きていれば海女はせず、刺し網・蛸壺漁で生計をたてていたと思う。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・神島の外で生活することを考えたことはないし、海女以外の仕事をしていたらと言うことを考えたことがない。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・海も、海女と言う仕事も、若い頃から好きだった。海女以外の仕事は考えなかった。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・家業（漁業）の手伝い 鳥羽市神島66歳 P044
- ・漁師の仕事を手伝っている。（太刀魚漁、網立て漁） 鳥羽市答志31歳 P006
- ・主人と一緒に漁業に専念していた。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・たぶん主人と一緒に漁業中心の生活になったと思う。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・津でサラリーマン生活送っていたと思う。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・都会にはいたくなかったから、漁師の嫁となって漁を手伝っていたと思う。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・未婚の時は、名古屋で奉公していたが、都会には住みたくなかったので、鳥羽地域に住んでいたと思う。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・都会は好きでなかったので、答志で稼いで漁師の仕事を手伝っていたと思う。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・都会はいやだったので、答志の漁師に嫁いで、漁の手伝いしていたと思う。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・夏だけなので、特に今の生活と変わらないと思う。漁業（網、なまこ）の手伝い。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・サラリーマンか専業主婦。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・サラリーマン。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・サラリーマン。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・漁師の家に嫁いだので漁業手伝い。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・36才から勤めに出たが、退職後また海女になった。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・他に勤めたこともなく、考えられない。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・小さい頃から親が「家から出さへん」と言われ、海女になることは決められていた。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・国崎から出た事ないからわからない。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・考えられない。何でも稼げたから良かった。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・パート 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・わからない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・農業と海産物会社の仕事。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・わからない。やはり海女だったと思う。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・親が海女で自分も当然海女になると思っていたので、他を考えてもみなかった。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・パートに出ていた。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・他の仕事をしています。パート。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・勤めに出て決まった毎日を送る。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・自分に合った年金生活でしょうか。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・苦しかったと思います。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・海女以外の選択肢はまったくなかった。自分も好きだったし、他は考えなかった。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・他は真珠養殖しかなかったが、海女の方が良かった。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・農業 志摩市志摩町和具77歳 P036

- ・商売をしていたと思う。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・趣味の縫い物をしたりしていたと思う。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・どこかパート勤めをしていたと思う。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・民宿の手伝いをしていたので、続けていたか、主婦。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・家事とパートや日雇い仕事 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・家業と農作業を中心とした生活。 志摩市大王町畔名85歳 P046

5 現在の種別は何ですか。

- ・徒人の海女。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・船人。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・徒人 鳥羽市神島62歳 P003
- ・夫婦で営む「ドンボリ」 鳥羽市神島63歳 P004
- ・「ノセノセ(乗合の船人)」。船頭は夫。乗船する海女は2人。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・ノリアイ 鳥羽市神島66歳 P044
- ・徒人(カチド) 鳥羽市答志31歳 P006
- ・徒人 鳥羽市答志46歳 P007
- ・徒人(カチド) 鳥羽市答志48歳 P008
- ・徒人。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・結婚してから船人、トバイソの場合はオケド。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・船人(結婚してから)→主人がとまえ(船頭)トバイソはオチド。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・徒人(オケド) 鳥羽市答志81歳 P012
- ・徒人(オケド) 鳥羽市答志82歳 P013
- ・カチド。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・カチド海女(乗り合い)。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・カチド。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・カチド。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・カチド。潜る場所まで船にのせてもらう。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・カチド。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・カチド。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・カチド(乗り合い)。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・カチド(船乗りで行くカチド)。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・カチド。ノリコ(乗せていってもら)。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・ノリアイ 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・4人で乗り合わす。志島ではトマエ船という。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・ノリアイ。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・4人で乗り合わせて漁をする。トマエ船という。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・ノリアイ。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・徒人。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・徒人。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・舟人。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・徒人。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・ノリアイ。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・徒人。(和具では1艘の船に複数の海女が乗り込んで操業する形態をいう) 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・徒人 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・徒人 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・ノリアイ(サッパ船)。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・徒人(ちなみに御座では、今年徒人は3名)。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・ノリアイ。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・徒人。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・カチド 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・カチドからフナドに変わった。68歳で小屋を離れ、ふたたびカチドにもどった。 志摩市大王町畔名85歳 P046

6 これまで、どのような種別を経験しましたか。

- ・海女漁をするようになって3年目。徒人の海女しか経験が無い。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・徒人でワカメ採りから始めた。徒人で2年。船人になって8年位。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・ノセノセ(乗合の海女。船頭は叔父) →夫が亡くなった後は徒人。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・徒人、乗合の船人、ドンボリの海女 鳥羽市神島63歳 P004
- ・結婚前は徒人→結婚してからノセノセ(乗合の船人) 鳥羽市神島77歳 P005
- ・カチド→ノリアイ(フナド) 鳥羽市神島66歳 P044
- ・ずっと徒人。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・ずっと徒人。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・ずっと徒人。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・ずっと徒人。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・未婚の時は徒人(オケド)。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・未婚の時は徒人。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・未婚の時は徒人→結婚して船人→徒人(オケド) 鳥羽市答志81歳 P012
- ・未婚の時は徒人—船人—今は徒人(オケド) 鳥羽市答志82歳 P013
- ・カチド。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・カチド海女(乗り合い)。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・カチド。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・乗り合いのフナドだったが、他の人と合わせないといけないので、やめた。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・カチド。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・カチドのみ。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・カチドのみ。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・カチド(乗り合い)。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・カチド海女のみ。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・カチド一本。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・ノリアイのみ(父) 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・ない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・カチド。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・他にない。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・ノリアイのみ。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・徒人のみ。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・徒人のみ。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・ノリアイ。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・徒人のみ。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・真珠の珠入れやカキの貝掃除。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・徒人のみ。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・徒人のみ 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・徒人 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・徒人半年。他はノリアイのみ。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・徒人のみ。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・徒人→ノリアイ。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・徒人、さっぱ(ノリアイ)。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・ノリアイからカチドに変わった。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・カチドとフナド 志摩市大王町畔名85歳 P046

7 海女を止める時は、どのような理由からですか。あるいは、海女を止めようと思う時期はいつですか。それは、何故ですか。

- ・海女に「行かなければ」とか「お金を儲けない」という義務感が無い。気楽な楽しみだけで海女に行っているの、止めることは考えていないし、その必要があれば何時でも止める。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・海女を止める気はない。今は採れなくても潜ることが楽しい。健康が続く限りは続けていきたい。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・体が動く間は海女を続けたい。採れても採れなくても海の中は良いし、楽しい。自分で採った物を子どもや孫達が食べて喜ぶ姿が嬉しい。病気とか、身体が動けなくなれば止める。 鳥羽市神島62歳 P003

- ・命綱を付けての作業になるため常に心配にはなる。お互い、相手の事はわかっているので無理をせずに続けていきたいが、病気とか、身体が思うように動かなくなれば止める。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・年を考えると、事故が怖い。「止めようか」という気持ちにはなるが、海女漁の時期になると行きたくない。今はまだ続けたい。病気とか、身体が思うように動かなくなれば止める。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・神島は潮が速いので、体が無理になったらやめる。とくに、カチドでは年をとってからは続けられない。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・体が悪くなったとき。潜るのは好きなので、年とっても止められるまでしたい。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・病気などで体調悪く海女ができなくなったら止める。年齢で止めようとは思わない。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・体調が悪くなった時。年齢的には考えていない。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・病気・ケガ等で体調が悪くなったら止める。体調が続くかぎり海女を続けたい。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・病気やケガなど健康上でやめなければならなくなった時。健康だったら、何歳まででもやりたい。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・病気など健康上の問題が起こったら止める。健康だったら何歳になってもやっていきたい。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・病気やケガで体が悪くなったら止める。健康なら何歳になっても続けていきたい。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・病気やケガで体が悪くなったら止める。健康なら何歳になっても続けていきたい。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・年をとって潜れなくなるまでする。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・潜れるまでする。病気をしたらやめる。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・体力がある限り続ける。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・病気になったら、やめる。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・高齢で体力に自信がなくなった時。病気になった時。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・健康な限りは続けたい。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・健康でなくなって、行けなくなった時。 鳥羽市石鏡75歳 P020
- ・「病気になったら終わり」と漁師の夫と言っている。「健康なうちは遊んどられん。」 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・年齢、体の調子で決める。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・荷物を持って磯場を歩くのはつらいので、足腰がエラクになったらやめる。鉛のウエイトだけでも5~6kgある。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・父が辞める時。今は冬はイセエビ漁の手伝いをしているが、海女だけでは生活出来ないから。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・体が動くうちは続けるつもり。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・病気にならない限り、死ぬまで。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・ボケが始まるまではやりたい。あと5年、すくなくとも80歳までは、やりたい。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・健康であれば、ずっと続けるつもり。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・年齢や体調不良の時。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・健康でなくなった時。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・健康上の問題が起こる時。健康であれば10年行きたい。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・自分の身体の続く限り、海女をやりたいですね。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・健康状態によって83才まで行くつもり。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・健康状態が良いうちは続けたい。現在、77歳であと2,3年、80歳ぐらいまではやりたいと思っているが、今年、トマエが病気になり、来年はやらないと言っているので、同乗している10数人の海女は困っている。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・今年で徒前が辞めるため、捜さなければならない。あと2,3年80歳くらいまではやりたい。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・身体の続く限り 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・体調不良になった時。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・海女をしていた仲間が昨年病気で数人亡くなったりして、海女友達もいなくなり、歳も歳なので、もうしばらくしたら、やめるかも。 志摩市志摩町御座78歳 P038

- ・健康上の問題（体の不調など） 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・今、現役で海女を止めようと思ったことはない。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・体に支障ができたならやめる。現在は天気予報を見るのが楽しみ。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・海女をやめたのは深く潜れなくなり、足腰が痛むようになったため。 志摩市大王町畔名85歳 P046

○海女小屋での過ごし方

8 海女漁があるときの年間の生活サイクルや、漁がないときはどう過ごされていますか。

- ・5月中旬～7月下旬は海女。それ以外は母のヒジキやアラメ作業の手伝い。中部電力の電気メーターの点検。出張所の事務補助。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・5月中旬から8月初めは海女。それ以外は、島内や島外で働きに行く。非常勤。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・5月20日から8月初旬まで海女漁。9月から4月末までは親戚の刺網と神島保育所の給食の手伝い。冬は畑（ミカン畑の手入れ）。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・5月20日から8月初旬まで海女漁。伊勢海老解禁の9月15日から4月末まで刺網漁（伊勢海老、磯魚等）。休みの時は網の修理等。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・5月～8月は海女漁。海女漁の無い日や、8月から翌年4月までは夫と二人で一本釣り（ガシ＝アカウオ釣り）。漁に行かない日は畑。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・自給用の野菜作りや地域の協同作業。土建業の仕事をすることもある。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・海女漁がある夏は、海女漁中心の生活。ないときは、家の漁の仕事（網立てや太刀魚つり）の手伝いや子どもの世話。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・海女漁がないときは、家の漁業を手伝っている。サバー一本つり、冬は海苔養殖業。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・海女漁がある時は海女中心の生活をする。漁がない時は、家の漁業（鯛つり、一本釣り、冬は海苔手伝い）。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・漁がないときは、現在市役所観光課の臨時職員として勤務している。（1年間）海女漁のある時は休む。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・海女漁がないときは、太刀魚漁、キス網漁、網立て漁を手伝う。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・海女漁がないときは、家の漁業のさわら網漁を手伝っている。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・海女漁がないときは、太刀魚漁、キス網漁、網立て漁を手伝う。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・海女漁がないとき、家のえび網漁を手伝っている。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・漁業の手伝い。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・年間で海女漁をするのは、6月中頃から8月中頃まで。それ以降は、のり養殖の手伝い。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・普段は働きに行っている。口明けがある時は、なるべくもぐる。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・日頃は農業（畑仕事）と子守り。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・家の仕事を中心。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・漁がない時は、畑や海女小屋の手入れ。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・1～2月以外は、ほとんど海へ出る。漁がないときは、畑や海女小屋の修理など。 鳥羽市石鏡75歳 P020
- ・4～9月15日海女（アワビ、トコブシ）、6月末～9月15日（ナマコ）、畑で野菜作り、10月～12月末（サザエ、ナマコ）。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・漁がない時は畑や田へ行く。間がある時は家事をする。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・年間70日（海草の口明けも含み）の作業以外は、工場勤めをしている。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・海女、エビアミの手伝い 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・5月1日～9月14日は海女漁、土休、盆休、そのほか、死人があるとその日は漁は休み。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・畑仕事も楽しいよ！ 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・5月1日～9月14日までは海女漁、土休、盆休、死人が地区であると、その日は休み。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・海女小屋に8時集合、17時帰宅。海女小屋6人。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・2月～9月海女、10月～1月海女準備期間。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・パート（漁のない時） 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・家事中心。お昼にお弁当を半分食べて、午後の仕事を終えてから半分食べる。 志摩市大王町波切64歳 P031

- ・海女の解禁に合わせてと野菜作りです。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・漁がある時は普通の生活で、ないときは質素です。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・主に畑仕事をしている。野菜、さつまいもなどを作っている。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・畑へ行って野菜作り。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・農業 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・年中、海に潜る。漁に行けない時は、商売をしている。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・4月から行って、9月14日まで海女漁をする。その後は畑をしたり、草抜きなどをしている。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・漁期は海女のみ。漁期でない時は薪の準備。自分たちで割り木を作ります。木はもらいます。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・アルバイトへ行ったり、家の用事。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・夏磯と冬磯に出ている。春と秋は主に農作業をしている。 志摩市阿児町安乗61歳 P045

9 海女漁があるときの1日の生活サイクルや、漁がないときはどう過ごされていますか。

- ・朝の放送を聞いて海女に行く。徒歩、バイク、荷物だけ軽トラとか様々。昼過ぎに帰宅。子ども達も学校から帰るので午後からは家事。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・海女漁の口が開いている時間は海女に行く。それ以外は、島内の旅館でアルバイトをしたり家事等で時間を過ごす。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・昼まで海女。午後2時前後市場へ出荷。後は家事。休みの時は保育所の手伝いや、隣の敷地を借りて作っている野菜の世話等。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・午前6時半放送。8時～9時出漁。昼過ぎまでに2潜(1時間2回) 鳥羽市神島63歳 P004
- ・朝8時頃出漁。2潜(1時間2回)して昼頃帰宅。潮時によって2時前帰宅。着替えて市場へ出荷。午後は休息や家事、畑仕事等。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・朝6時過ぎの放送の内容によって、一日の予定が決まる。海女小屋では、ヒトカツギして火にあたるだけ。漁の無い日は、家事や漁の手伝いや畑仕事をする。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・6時起床、弁当作り、子ども出したてる。8時半準備して出港、9時～14時海女漁、昼食は家族と浜で昼食(海女小屋入ってない)ー獲物は義父母が市場へ。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・5時頃起きて弁当準備、7時頃朝食、8時火場へ、9時～2時海女漁(10時30分～12時30分昼食休ケイ)、5時頃家へ、10時頃ねる。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・4時起床、弁当準備、5～6時市場にイタボ並べ、7時朝食、8時火場へ、8時半出港、9時半～10時半昼食、12時半～2時海女漁、5時家に、11時頃寝る。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・6時起床、弁当など準備、8時海女小屋へ、8時半出港、9時～14時まで海女漁、その後市場、片付け、18時家に帰る、11時頃ねる。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・家の仕事や網立て漁を手伝う。海女漁あるときは、海女中心の生活。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・朝は5時頃起きて、弁当つくる。8時半頃出港。9時～10時半海女漁、2時間海女小屋で休憩、弁当、12時半～14時海女漁、その後獲物組合へ、片付け、17時家に帰る、21時頃ねる。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・海女漁があるときは、海女中心の生活、漁がないときは家の仕事や漁師の手伝いする。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・朝は6時頃おきる。海女漁があった日は疲れるので早い目に9時頃ねる。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・海女漁は、午前1回1時間半なので、それ以外は漁業の手伝いをする。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・1日のうち、午前1時間半だけしか海女漁がないので、午後からは、のり養殖の手伝い。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・海女漁から帰ってきてからは、家事をする。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・口明けした時は海女だけで、それ以外の時間は特に何もしない。ないときは、畑仕事と子守り。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・漁がある日は、午後は体をやすめる。漁がない日は家の仕事。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・午前7時から午後2時まで漁。漁以外は畑など。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・7時家を出て、8時から火を焚いて暖をとり、9時～潜る。14時頃帰宅。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・8:00出て、9:00～11:00と12:00～14:00前出漁、14:30～15:00市場に出す。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・朝から海女、その後畑や田に行く。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・工場に働きに行っている。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・漁がないときは、のんびり体を休めている。 志摩市阿児町志島40歳 P024

- ・畑仕事。玉ネギなどを植える。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・畑仕事と、あとはゴロゴロしている。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・漁がないときは畑仕事。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・畑仕事。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・8：00～16：00海女。その他主婦。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・1日の大半は海、海女小屋。皆高齢なので、休みの日は身体を休めています。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・朝4～5時起床、8：15～16：30海女漁、17時帰宅、夕食の準備、家事。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・時間が決まっているので、それに合わせて生活している。漁がないときは、カラオケやテレビなど。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・漁がある時は働いて、ない時は体を休めます。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・他愛のない世間話が多いが、子どものことやテレビの話題などさまざま。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・その時期その時期で、生活サイクルは変わるが漁がない時は商売をしている。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・波があつたり、身体が疲れている日は、他の海女が漁に出ても、自分には行かない。(家事などをしていて。無理はしない。) 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・休みの日はゆっくりしている。家事。勤めには特に出ない。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・忙しい毎日。分刻み。することたくさん。家事など。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・朝8時前に海女小屋に出かけて、4時頃まで小屋で過ごす。漁の無い日は主に畑仕事をしている。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・家事を済ませてから海女小屋に行き、午後の漁が終わった後も小屋で充分に暖をとって帰宅する。 志摩市大王町畔名85歳 P046

10海女小屋では、どのような話をしますか。

- ・6～7人で使用。漁や町の出来事等。楽しい。付き合いが広がる。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・徒人の時は海女小屋を利用させて貰ったが、今は使わない。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・小屋は4人。その日の漁の話や特にどうと言うこともない世間話。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・海女漁。午後及び海女漁が休みの時は家の仕事。主に家事等。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・その日の漁の話等をするが、具体的な話はしない。他は世間話。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・小屋では着替えるだけで、磯の様子や世間話程度しかない。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・海女小屋に入っていない。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・世間話、とれた獲物の量やその日のできごと。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・獲れた量や種類、その日のできごと、世間話。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・世間話、アワビ等の採り方教えてもらう。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・世間話、その日の漁の様子など。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・世間話、どこでよくとれたかとか潜っている時の様子、黒鯛をとりそこねた話など。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・海女漁のできごと、世間話など。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・海女漁のできごと、世間話。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・日常会話。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・世間話、アワビ漁の話。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・その日の海女漁をする場所をはなす。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・海女小屋はないが、火にあたりながら日常会話。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・前日の漁の様子や世間話。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・世間話、テレビの話、孫の話。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・世間話。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・世間話、鳥羽市石鏡の人の話、テレビドラマの話←持ち寄った菓子やアメの回し合い。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・漁のはなし。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・大声を出して、今日の漁の様子、世間話。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・世間話 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・世間話。夫婦2人暮らしがほとんどであるので家族の話はあまり出ないし、しないように心がけている。 志摩市阿児町志島66歳 P025

- ・孫の自慢話やおかずの話。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・世間話、漁獲高。今は嫁の話などはしない。(同居でない) 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・世間話、漁獲量。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・世間話。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・漁の話、冗談、世間話。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・1日の出来事、過ごした事を話す。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・子どもの話や孫の話です。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・孫や子どもの話。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・世間話やテレビの話題など様々。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・テレビのことや世間話 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・後輩海女に、海の中のことを教えている。うでがのびるように。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・4年前から今現在まで、海女小屋の中、1人。以前は4人いたが、みなさん海女をやめたので、今は話しなし。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・世間話、TVの話。漁の話しは、みずくさいので、しない。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・前は、いろんな人がいて話（漁の会話）をしたけど、今は1人なので退屈。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・漁の話などの雑談 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・海のことや畑のことなどの雑談。 志摩市大王町畔名85歳 P046

11海女小屋がない場合は、どのように過ごされていますか。

- ・わからない。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・自宅に戻りシャワーを浴びる。家で休んで時間になると船に戻る。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・海女小屋があるので、わからない。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・漁の話から町の出来事まで色々。主に世間話。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・海女小屋を使わない人は、家に戻って休む。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・市場の横の日陰で雑談をしている。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・主人や義母と浜で昼食とる。海女漁おわたらず家にいき、家事や子どもの世話。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・海女小屋はある。ない人は自分の家で休ケイする。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・私は海女小屋があるが、本格的な海女でない人はちが家で昼食たべている。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・海女小屋がない小遣いかせぎの人らは家に行く。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・海女小屋あるので、わからない。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・答志の海女では、海女小屋がない者はいない。(船人)夏は10ヶ所、冬は4ヶ所ある。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・海女小屋ない者はいないので、わからない。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・海女小屋があるので、ない場合はわからない。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・家から直で海女漁に行く。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・自分たちで、かまど（一輪車の荷台の部分の部分を地面において、火をたく）をつくって、あたっている。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・浜で火にあたる。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・娘と火にあたっている。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・自分たちで、かまど（一輪車の荷台の部分の部分を地面において火をたく）をつくる。4～5年まえまでは地面を掘り、三方を戸をたてて風よけとする。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・ずっと海女小屋。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・ずっと海女小屋。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・浜でたきびをしてあたる。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・カマド（小屋）に属さない者はいない。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・海女小屋あり 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・海女小屋あり。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・海女の仕事をすれば必ず小屋で過ごす。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・海女小屋あり。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・小屋あり。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・海女小屋あり。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・海女小屋あります。 志摩市大王町波切64歳 P031

- ・海女小屋あり。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・海女小屋あり。家で過ごします。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・昔からの海女は海女小屋のない人はいないだろう。男はないものもいる。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・海女小屋はずっとある。ないことはない。40年前からある。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・昔20才頃は浜でたきびをしていたけど、今は小屋がある。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・海女小屋があるので、わからない。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・海女小屋があるので、わからない。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・冬磯では、灯台の下で暖をとることがある。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・海女小屋を離脱してからは自宅から直接、磯に出かけた。体に負担がかからない程度の潜り方をした。 志摩市大王町畔名85歳 P046

12暖のとりの方は、たきびかストーブを使用しますか。また、それ以外のものですか。

- ・たき火。薪は流木や枯木を利用。たき火当番みたいな人がいる。餅を焼いたり、たまにガンゼや商品にならない漁獲物を焼いて食べる。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・(海女小屋は利用していない) 鳥羽市神島44歳 P002
- ・たき火。主に家を解体した時の廃材を薪として利用。たき火は5月～7月位迄。暑くなると火は焚かない。餅や芋を焼いて食べる。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・海女小屋を利用させてもらっている。自宅へ帰る人もいる。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・たき火。薪には廃材等を使う。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・海女小屋にクドを作っている。燃料は廃材を使っている。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・夏だけなので暖はとらない。(冬の海女漁は行かない) 鳥羽市答志31歳 P006
- ・たき火 鳥羽市答志46歳 P007
- ・たき火 鳥羽市答志48歳 P008
- ・たき火。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・たき火 鳥羽市答志71歳 P010
- ・たき火。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・たき火 鳥羽市答志81歳 P012
- ・たき火 鳥羽市答志82歳 P013
- ・暖はとらない。頭が痛かったりする時は、ドライヤーで頭をあたためる。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・たき火。一輪車の荷台部分を使っている。そうすると灰の片づけが楽である。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・たき火。ドライヤーで頭をあたためる場合もある。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・たき火。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・主にたき火。大雨の時はストーブ。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・たき火。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・たき火。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・たき火。海女に行かない時に山を切ってつくる。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・たき火以外はない。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・たき火(割木、流木など、廃材)。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・たき火、薪 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・たき火。家屋の廃材、浜にある流木を拾って使う。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・たき火。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・たき火、家屋の廃材をもらって薪にする。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・たき火、薪。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・たき火。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・薪。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・たき火、薪。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・自分に合った時間と身体都合で、早く上がり風呂につかる。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・まきストーブを使います。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・たき火。家を取り壊したあとの廃材や土木業者が山を切り開いたりした木々をもらって小屋の中で乾燥させてから使用している。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・たき火 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・たき火。 志摩市志摩町御座63歳 P037

- ・たき火（昔は薪を買っていたが、今は知人がくれる。） 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・たき火。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・たき火。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・薪ストーブ、ご主人が大工のため、廃材が集めやすい。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・薪ストーブ 志摩市大王町畔名85歳 P046

13海女小屋で、暖をとるための昔ながらのハンテン（ヨーノ）は、使っていますか。使っているのであれば、材質は何ですか。いつから使っていますか。また、ハンテンは使っていないが、現在のものに変化していることはありますか。

- ・昔の物を着る人は誰もいない。私は長袖のプルガウンを使っている。材質は直ぐに乾くナイロン系のもの。他の人達はジャージの様な物やセーターの様な物を着ている人が多い。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・昔の物は何も持っていない。港と自宅が近いので、帰って普段着に着替える。一潜目に着ていた物は脱水機に掛けて水分をとる。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・結婚をした当時は昔のハンテンを持っていたが、海女を止めていた時期が10年ほどあるので処分をした。今はジャンパーとかヤッケの様な物を使っている。材質はナイロン系のものだと思う。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・たきび。薪には廃材や流木を利用する。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・今は使っていない。子どもの体操着・ジャージやヤッケを使う。昔は「ワタイレ」を着ていた。ワカメ切りの時期は寒いので、海から上がってきた後「ワタイレ」を着て作業をした。深く潜るほど身体が冷えるので、ドンボリの人達はたきびが必要だか、浅い所でウェットスーツを着ると、それ程寒くないためワタイレも今は着ない。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・鉄砲袖のサスケ（刺し子）を使っていたことがあった。現在はジャージの体操着を着ている。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・ハンテンは着ない。Tシャツ着る。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・ハンテンは使っていない。冬の海女漁には行かない。ふだん着ている木綿の前あきシャツやTシャツ。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・ハンテンは使っていない。ふだん着ている木綿の上着やTシャツ（冬のなまことりにはいかない）。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・ハンテンは使っていない。今は木綿の上着やTシャツ。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・昔は冬の海女漁の時、綿入れのハンテン着ていた。カスリの木綿だった。今はフードつきのヤッケ、ジャンパー。夏は、Tシャツなど前あきの上着など。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・昔は、綿入れのカスリのハンテン（冬場）を使っていたが、今は、フードつきのジャンパーやヤッケを使う。夏は裸でいることが多い。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・美香氏は冬の海女の時は、綿入れのハンテンきていた。今はフードつきのジャンパーやヤッケ。夏は前アキの上着か裸でいることが多い。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・昔は冬の海女の時は、綿入れのハンテンきていた。今はフードつきのジャンパーやヤッケ。夏は前アキの上着か裸でいることが多い。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・着ていない。家からウェットスーツを着用して行くので寒くない。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・ヤッケを使う。ナイロン。上は浜に行くまでは、ウェットスーツを着ていないで、シャツとヤッケである。下はウェットスーツをはいている。ハンテンは海女小屋で使うことはない。家で使うものである。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・ヤッケを着る。ナイロン製。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・使っていない。肌着で火にあたる。本当は素肌であたった方が、暖まりやすい。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・ヤッケ(ナイロン)。海女小屋はない。下着(Tシャツ)の上にヤッケを着る。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・ハンテンは使わない。着古したシャツやズボンで過ごす。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・ハンテンは使わない。肌着に近い薄着で火にあたる。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・あわせのロングスカートのようなものと、火にあたる専用のブラウスなどの各自決めた服。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・トレーナー、ジャージを着る。タナカネ（腰巻）だけは使っている。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・昔は使用したが今はズボン（ジャージ）、長いスカートが多い。カスリのタナカネ（腰巻）も使う。ハンテンは使わず、ヤッケを使う。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・現在はトレーナー、素材は綿。ナイロンは火が飛ぶと危ないのであまり着用しない。 志摩市阿児町

志島40歳 P024

- ・ハンテンは着ない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・パジャマやトレーナー、磯ナカネ、カスリの腰巻。30年位前まではヨーノ。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・ハンテンは着ない。今は休けいときは、乾いた下着を着用。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・現在はトレーナー、ジャンパー。着がえ用に腰巻きを着用する。昔はカスリの腰まき、綿入れ着物をほどいて作った。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・ハンテン。不使用。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・使っていない。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・海女を始めた時はハンテンを着用していたが、今はオーバー（ジャンパー）を着ている。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・ジャージの上下、ジャンパー。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・使っていない。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・海女小屋で今は使用しない。普段着は子どもや孫の学校で使用していた体操服やふつうの服でいる方が多い。昔は舟人は船の上で火床を使用し、ハンテンを着ていた。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・使用しない。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・使っていない。モンペを履くことはある。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・ユニクロのダウン(暖かいし、軽いから)。火が飛ぶと破れるけども。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・ハンテンは使っていない。ナカネのカスリ（縞模様）。上は長そでの服（木綿、ポリエステル）スカートは長いスカート。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・使っていない。綿の素材のもの。フリースは火で穴があく。ファスナー付きは熱い。素肌を守る為、肌に塩が残らないようにして、塩焼け。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・ハンテンは使っていない。フリース。ジャンパー。トレーナー。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・使っていない。ジャージだけで十分に暖が採れる。自宅との往復には防寒コートを着ている。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・船に乗り込むときに綿入れのハンテンを着た。 志摩市大王町畔名85歳 P046

○海女の技術伝承

14海女から海女への伝承や親子の間の伝承はありますか。

- ・わからない。漁場は海女同士は秘密でも新米には教えてくれる。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・身内や母からは聞くが、大半は海女を始めてから自分で覚えた。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・誰からも教えて貰ったことは無い。自分で自然に覚えた。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・「あたり着」と呼んでいる。従兄弟の海女が使用していた物を貰い、昭和45～46年頃から使っている。木綿の緋で、刺し子が施してある。膝下くらいまで長さがあるので、たきびの日が飛んで火傷をするのを防ぐことが出来る。ナイロンの物は、直ぐに穴が開くし、溶けて熱い。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・叔母を見て覚えたが、教えては貰わなかった。自分で身につけた。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・母親から教えてもらった。「少しでも、採ってくれると足しになる」とよく言われた。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・義母に獲物の取り方→テトラの奥に行かないなどの注意点。岩ガキのとり方（パールや金づちの使い方） 鳥羽市答志31歳 P006
- ・磯場は教えてもらった。無理に穴に入るななど。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・磯場を教えてもらった。無理に穴に入るななど注意点。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・母より、磯場、潮の流れ、道具の手入れの仕方教わった。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・ほとんどない。自分でおぼえた。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・ほとんどない。自分らでおぼえていく。磯場へはトマエがつれていく。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・ほとんどない、自分でおぼえた。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・ほとんどない。自分でおぼえた。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・ある。母親と一緒に行くので、先に母親が潜り「こういうところにいるから。」と教わり、もぐる。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・ない。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・ある。息子に伝承する。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・ある。娘と一緒に潜り、教える。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・特にない。見て覚える。 鳥羽市菅島56歳 P018

- ・中学の時、2ヶ月間海女の実習があった。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・特になし。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・無理せんとこ、早めにあがってこいよ、息はらさんように。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・アワビのいる場所を教える。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・おばあちゃん（祖母）にシマを教えてもらった。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・あります。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・特にない。自然に覚えていった。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・母からアジロは教えてもらった。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・特にない。見よう見まねで覚えた。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・あります。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・あり。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・あると思う。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・ない。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・なし。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・あります。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・伝承と言うより日ごろの会話の中で情報交換はある。昔はトマエが良く獲れる磯を知っていて連れていったが今は海女が行く場所を指定する。トマエも専門性がなくなってきた!?! 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・海女全般のことは聞いたことがあるが、これといった伝承というものはない。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・ない 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・ある。見込みのある海女には教える。親子間はなし。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・あった。昔は母親から少しは教わった。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・親も姑も海女ではないので親子間はなし。海女からも特になし。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・自分で経験しないとわからない。自分で探る。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・祖母から磯の様子やアワビの採り方について教えてもらった。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・なかった。 志摩市大王町畔名85歳 P046

15海女小屋で、潜り方や採り方等の伝承をしていますか。

- ・潜り方や場所は聞けば教えてくれる。採り方は聞いたことがない。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・徒人の時→鮑が減少し、採る場所も人には言わないように思う。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・ない。徒人になりコノミを使う「手探り」の仕方は聞いた事がある。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・従兄弟の海女を見て覚えた。「教える」というようなことは無い。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・漁の話はするが技術的な話はしない。みんな競争。人には教えない 鳥羽市神島77歳 P005
- ・意識的にはしていないが、見聞きしたことを自然に体得していった。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・海女小屋ない。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・イタボやイノカイの取り方を教えてもらった。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・イタボ（岩ガキ）のとり方→少しあいているところにイソモノオコシ入れよ。イノケのとり方→反対に向けてからねじってとれ。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・母やおばさんにアワビの取り方やどんなところにいるかなどきく。（海女小屋には親類人など6～7人） 鳥羽市答志49歳 P009
- ・娘たちに少しコノミなどの使い方を教えた。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・ない。自分でおぼえていく。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・ない。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・あまりない。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・している。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・しない。自分で研究をする。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・していない。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・している。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・聞くと教えてくれるが、特に伝承はない。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・特にないが採れる場所は教わったりする。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・一緒に潜って自然におぼえる。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・小さい時におぼえた。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・皆わかっているから話さない。 鳥羽市国崎63歳 P023

- ・教えてもらうことはないが話し合うことはある。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・子どもの時から潜って石を拾い遊びながら自然に覚えた。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・しない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・手さぐりで採る方法など。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・しない。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・子どもの時から潜って石を拾い遊びながら自然に覚えた。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・あり。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・していると思う。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・しない。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・皆さん長くやっているので、伝承はないです。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・していない。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・していない。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・特にしていない。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・しない 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・とくにない。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・雑談のなかで漁の話をするすることがあり、情報交換の場になっている。 志摩市大王町畔名85歳 P046

16道具の作り方や使い方等について、伝承はありますか。

- ・教えてくれる。重りや帽子を付けなさいとか、無い道具はくれる。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・2~3年前に叔母さんにコノミの使い方を教えて貰った。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・特にない。自分らで工夫はするが自然に身についた。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・磯場や漁の話はするが、技術的な話はしない。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・特にない。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・島内に鍛冶屋が1軒ある。ノミに名前を刻んでくれる。使用方法についての伝承はない。ステンレス製のノミは滑りやすい。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・岩ガキをとるための金づちやバールの使い方を義母に教わる。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・スカリなど母に作ってもらった。コノミの使い方。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・スカリなど母から作ったものをもらっている。コノミの使い方→手をそえて柄のところをぐっと押せ。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・コノミの使い方を教わった。タンポと袋スカリは親に作ってもらった。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・自然におぼえていく。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・ない。自分で自然におぼえていく。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・ない。自分で自然におぼえた。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・自然におぼえていく。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・ある。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・ない。売っているものを買ってくる。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・使い方は、ほとんど見て覚える。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・ある。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・聞くと教えてくれるが、特に伝承はない。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・特にない。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・一緒に潜って自然におぼえる。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・タンポンの作り方、スカリなど。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・一番よく使うカギノミの先はハガネ入りに加工してもらう。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・あります。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・ない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・ある。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・特にない。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・あります。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・あり。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・ある。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・しない。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・ないです。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・ない。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・ない。自然と覚えていく。 志摩市志摩町和具77歳 P034

- ・特にない。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・ない 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・ある。ノミはテープやゴムを巻いて・・・など。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・タンポの作り方を教えてもらったので、自分で作ること出来る。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・先輩のベテラン海女に教えてもらった。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・おばさんやベテラン海女から聞いた。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・ノミの使い方は、一緒に行っていた先輩海女から教えてもらった。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・畔名には二代続いた山下鍛冶屋がおり、イソノミはそこに注文した。一年にイソノミは2・3丁、コノミは50丁単位で注文した。 志摩市大王町畔名85歳 P046

17毎日の漁獲量を記録していますか。

- ・今年が初出荷。組合の伝票は保存してある。出荷は母の名前で出す 鳥羽市神島39歳 P001
- ・記録していない。組合の伝票を3~4年は保存する。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・記録していない。組合の伝票は1年程度保存して捨てる。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・特にない。自分らで工夫はするが自然に身についた。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・昔は記録していた。漁が少ない今は組合の伝票を保存。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・記録していない。漁協では家ごとの収入として扱われている。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・漁協の家の伝票で。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・組合の伝票で確認している。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・組合の伝票で。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・組合の伝票で記録されている。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・漁協の水揚帳に記録される。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・自分でも記録しているが漁協に水揚帳に記録される。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・漁協の伝票に記録される。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・漁協の水揚帳に記録される。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・している。(組合へ水揚をするツケが記録となる。) 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・していない。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・していない。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・している。組合へ水帳するツケが記録となる。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・していない。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・していない。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・記録していない。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・市場で伝票をもらい、毎日自分で記録する。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・つけないが、記録している人もいる。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・している。(その日の値と漁獲高をつけている) 鳥羽市相差67歳 P022
- ・記録しても漁業と誤差が出る為、漁業の伝票で確認している。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・組合の伝票。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・している。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・組合へ出荷した伝票が記録代わりになる。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・記録していない。自分で思っているのと漁協と誤差が出る。←漁協から伝票がもらえる。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・あり。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・はい。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・自分で記録している。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・漁協に上げるので、残ると思います。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・しています。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・自分たちの船はトマエが目方を図るので帳面にメモする。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・している。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・手帳に記録している。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・していない。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・毎日、組合で伝票をもらって、計算をしておく。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・細かくはないけど、自分で帳面を作ってメモしている。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・記録している。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・帳面をつけている。 志摩市阿児町安乗61歳 P045

- ・39年間、記録してきた。 志摩市大王町畔名85歳 P046

18海女頭のことを何と呼びますか。

- ・わからない。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・わからない。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・居ない。6月の祭に選ばれる海女三人がそれに近いかも知れない。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・記録していない。組合の伝票は1年くらい保存しておく。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・今は居ない。昔は上手な人が「アマガシラ」をしていた。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・ハマイチ、カイジュウ 鳥羽市神島66歳 P044
- ・知らない。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・アマドガシラ 鳥羽市答志46歳 P007
- ・アマドガシラ (海女委員各世帯4人の3世帯12名で選挙)。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・アマドガシラ (船頭一男の人) 鳥羽市答志49歳 P009
- ・アカドガシラ (男の人一海士している)。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・アマドガシラ、毎年海女たちから選挙で選ばれる。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・アマドガシラ、(今年は男の人で海士している) 鳥羽市答志81歳 P012
- ・アマドガシラ 鳥羽市答志82歳 P013
- ・特に呼んでいない。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・海女頭 (あまがしら)。(しろんご祭の時に決まる。一番はじめに、つがいのアワビをみつけたものとなる。) 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・ハマダイショウ。(その日、一番よくとれた人の事を言う) 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・特に呼んでいない。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・海女頭 (あまがしら)。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・特に呼ばない。まわり番で組の中で1人。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・特になし。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・アマガシラ。総会で男2名、女2名。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・海女役員さんと呼ぶ。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・エライサン。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・トマエ (父) 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・特にない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・名前で呼んでいる。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・特に呼び名はない。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・トマエさんが仕切っている。フノリ的小屋ではタエコさん。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・元方。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・海女頭。毎年交代でします。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・元方さん。1年交代。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・元方と呼びます。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・海女頭というものはない。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・別にない。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・別にない 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・呼び名はそれぞれ。その火場の海女頭。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・世話人は7名、組合長は山下真千代さん。世話人→徒人では1名、ノリアイ (さっぱ) 1名、男海女 (海士) から1名、合計7名。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・海女組合長?? 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・組合長、親分。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・とくにない。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・ヨオトルヒト 志摩市大王町畔名85歳 P046

19海女仲間から評価されるのは、どのようなことでしょうか。

- ・船で行き、息が長く深い所や洞窟の様な所へも潜っていける人。海女として技術的に優れた人。母や叔母の様な人。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・海やイソの知識、アワビやサザエの生態を知り尽くしていて、手探りなどアワビを採る技術も身につけている海女。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・特にない。他の海女のことにはあまり気かけない。 鳥羽市神島62歳 P003

- ・そう言う人はいない。呼び方もない（知らない）。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・息の長い、漁獲量の多い人。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・フダバ（入札）での評価 鳥羽市神島66歳 P044
- ・よそから来て海女になったことは評価されている。自分は深い所へでも無理してでも潜る義母を尊敬している。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・アワビをたくさんとる人。息の長い人。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・漁獲量の多い人、息の長い人、穴に入っていける人。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・漁獲量の多い人、海底の岩の穴に入っていける人。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・獲物をたくさんとる人。穴などに入っていける磯が恐くない人。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・①漁獲量多い②磯が恐くない海女（深いところや穴などにもぐれる） 鳥羽市答志79歳 P011
- ・漁獲量の多い人、磯が恐くない人。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・獲物をたくさんとる人。深い穴などに潜れる人。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・たくさん獲れた時。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・たくさんとると評価される。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・大漁した時。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・たくさんアワビやサザエをとった人。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・あわび、さざえなどを大漁した時。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・深い所で潜る人。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・深く潜ること。たくさん獲ること。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・漁獲の多い人。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・漁獲を多くする人。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・漁獲量 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・経験が長いこと。潜水の技術がよいこと。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・なし。漁獲量。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・長い経験。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・漁獲量。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・漁獲量。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・漁獲量が多い。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・1日の漁獲量が多い時に評価しています。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・評価はしない。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・良く獲る人。評価されるというよりある意味羨望。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・漁の多い人。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・漁が多い人 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・腕のわるい海女へ、誰かれなしに教えてあげる人。本当の事を教えてあげること。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・体力があり、漁獲量が多い人。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・上手な人。（漁が多い人） 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・漁獲量が多い。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・仲間意識の強いこと 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・協調性があること。 志摩市大王町畔名85歳 P046

○漁場

20潜水漁を行う漁場を一般に何といいますか。

- ・わからない。「イソに行く」とは言う。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・判らない。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・海女に行くとは言うが、場所のことは特には呼ばない。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・潜っている時間が長く、漁獲量の多い人。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・海女に行くのを「イソへ行く」と言ったりする。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・イソ、ボラ（クボミ状の地形） 鳥羽市神島66歳 P044
- ・イソ。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・イソ 鳥羽市答志46歳 P007
- ・イソ 鳥羽市答志48歳 P008
- ・イソ。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・イソ 鳥羽市答志71歳 P010

- ・イソ 鳥羽市答志79歳 P011
- ・イソ 鳥羽市答志81歳 P012
- ・イソ 鳥羽市答志82歳 P013
- ・ヤマテ。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・特にない。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・ヤマテ。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・ヤマテ。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・ヤマテ。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・イソ。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・イソバ。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・イソバ。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・浜の名前（あらめした、ながま、よろい崎、前浜、みじもの等）。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・イソバ（磯場）。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・ハマ 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・アジロ。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・場所名でいう。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・アジロ。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・ハマ。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・浜。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・浜（ハマ） 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・漁場といます。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・磯。磯場。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・島の名前で呼ぶことが多い。（たとえば、猪の貝島のちょいと西とか=調査員注） 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・島の名前 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・自分らの漁場はアジロ、磯場。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・波が静かなところ（うら）、波があるところ（おもて）。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・イソバ。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・海。（イソに行くとは言うけど、特に場所呼ばない） 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・エテのいい場所 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・アジロ 志摩市大王町畔名85歳 P046

21現在、よく漁を行う漁場（アジロ）は何といますか。

- ・普段は「ゴリノハマ」、波の高い日は「ニワノハマ」 鳥羽市神島39歳 P001
- ・クロジマ、小バマ、キリイシ、コアラ、ソトノアレガミ 鳥羽市神島44歳 P002
- ・スズガアキ、タケノミゾ。6月11日は東磯が禁漁の為ニワへ行く。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・イソ 鳥羽市神島63歳 P004
- ・ゴリガサキ、ニワノシタ 鳥羽市神島77歳 P005
- ・シマシタ、シマノハラ（現在はイソの様子が変わってしまっている） 鳥羽市神島66歳 P044
- ・カラクザ、ツクミイソ、アカサキなど。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・ツクミイソーヒラワ、ツクザキ、ニワ。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・ツクミーヒラワ、ツクザキ、ニワ。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・ツクミイソ。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・イワテイソ、オツクミイソ、トバイソ。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・イワテイソ、オツクミイソ、トバイソ 鳥羽市答志79歳 P011
- ・イワテイソ、ツクミイソ、トバイソ。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・イワテイソ、ツクミイソ、トバイソ。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・ヤマテ。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・特にない。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・ヤマテ。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・ヤマテ。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・ヤマテ。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・イソバ。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・イソバ。 鳥羽市石鏡75歳 P20

- ・タナバシ、カミノシマ、イジカ（ノ）シマ。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・ジョンバと言って自分のナワバリ。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・相違にはウズカ、カミ、国崎サカエ、鯨岬、大島がある。 鳥羽市相違67歳 P022
- ・ゼンマル、ヨコジマ、ミツジマ、ジョウガサキ、モサキ、ナカノセ（問23へ→あり） 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・沖の磯、ヨコジマ、ゼンマル。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・中河、モサキ、沖の磯。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・沖の磯、ヨコジマ、ゼンマル。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・たくさんある。ゼンマル、ヨコジマ、ミツジマ、ジョウガサキ、モサキ、ナカノセ、イセヅクシ、クロガミ、オキノイソ 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・その日の波の様子で決めます。特にアジロはない。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・ヒトツジマ、ナルワセ、カメジマダシ。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・いろいろあります。老（おい）。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・ほう海とか須場。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・アジロとは自分だけの秘密の漁場の意だが、今は島の名称で呼ぶ。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・アジロ。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・アジロ 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・イソバ。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・テトラ、帆ヶ島、じぞ。（御座白浜の裏海、海水浴場の周辺） 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・ジョンバ（自分のジョンバ）→自分のいつもいくところ。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・なし。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・ヒライソなどの灯台周辺の磯 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・海底の地形ではアナや転石のあるところで、漁場に名前がついている。 志摩市大王町畔名85歳 P046

22海上で、漁場をどのようにして確認していますか。

- ・何時も歩く海岸の岩の形や海上に出ている島を目当てにする。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・近くの島を覚えたりヤマテを見る。当たらないときもある。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・近くの岩や島とか「ヤマ」を見て確認する。当たらないこともある。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・ミワノシタ（ゴリガサキ、アイザキマエ、アイザキウラ） 鳥羽市神島63歳 P004
- ・船頭がヤマを見て確認。採る場所は海女が海底の岩等を見て確認。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・ヤマアテ、ヤマ（ヤマテ）をつなぐ 鳥羽市神島66歳 P044
- ・船で主人や義母らに連れてもらっている。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・船でいっしょに行く先輩に聞いて。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・船外機で一緒に行く先輩に聞いて。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・船で先輩に連れていってもらう。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・山手を見る。（トマエが判断する） 鳥羽市答志71歳 P010
- ・ヤマテを見る。（トマエが確認している） 鳥羽市答志79歳 P011
- ・山手を見る。（トマエ（船頭）が確認） 鳥羽市答志81歳 P012
- ・山手を見る。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・テトラポット、浜、山、岩などで確認。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・浜と山手のみて。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・山で覚えるか、浜の名前で確認。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・浜や山で確認。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・山のみて確認。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・特にない。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・特になし。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・菅島や神島や、いろいろな山をつなぐ。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・ヤマテを見る。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・頭に入っている。 鳥羽市相違67歳 P022
- ・風と潮 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・漁場が近いし狭いので、特に注意しない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・山と山を合わせる。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・特に注意しない。漁場が近いので。 志摩市阿児町志島75歳 P027

- ・風と潮。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・目視。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・山、岩山を繋ぎ、風や潮の流れを見る。(止まっている所) 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・舟ではないので。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・その日の潮と風。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・以前は山で合わせたが、今は海底の場所を熟知しているので大よそのところへ飛び込んだら島や岩の様子で位置がわかる。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・海底の岩場。(このクラスの海女になると海底の地形は熟知していて、飛び込む位置を徒前に指示をすることが多い。昔は徒前が漁獲の様子をよく知っていてその日の漁場を決めていた。それだけ、徒前も職人が減ったということか=調査員注) 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・海底の岩場 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・山を見て。その時の潮の流れで磯場を変える。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・島を見て。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・トマエさんに見てもらって、自分で「この辺でおろして～」という。島を見る。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・特に確認していない。他の海女と、かちあわないようにしている。(人がいたら、行かない。) 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・ノリアイの海女が漁場選択している様子を確認して漁場が競合しないように選択している。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・ヤマをみながらアジロを確認し、アジロではセ伝いに移動する。 志摩市大王町畔名85歳 P046

23潜水漁を行う海底地形にはどのような特徴がありますか。地形や目印となる部分などには、どのような名称がつけられていますか。

- ・足の着く所でしか採らないのでよくわからない。ただ、岩と岩の隙間が有って、海藻なんか有る所の方が良く採れる。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・海底にアラメやワカメが生えている所。海底に海藻も何も生えていないツルツルの所には何も居ない。名称はわからない。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・アワビやサザエは、海底が岩場でアラメやワカメなどが生えている所に多い。名称は無い。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・これまでの経験。山を見て確認する。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・沖に向かって岩礁が伸びている様な所。テトラポットが沈めてある島や岩の周辺で、アラメなどの海藻が生えているような所。名称は付いているのかもしれないが、判らない。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・岩礁が窪んだ地形、転石。シマ、アサジマ、ハッサクレ 鳥羽市神島66歳 P044
- ・岩ガキはテトラや岩が多いところ。サザエやマンメが多いところはサザエバ、マンメバという。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・海藻が生えている岩場、イソ岩の多いところ。大きな石が多いところーひっくり返せる石(ガセやウニが多い)。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・イソ岩が多いところ、ひっくり返せる石の多いところ(ウニやカゼがとりやすい)、荒布が多いところ 鳥羽市答志48歳 P008
- ・岩場。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・岩があって生え草の多いところ。マツナのシタ、アオサノシタ。秘密にしている人もいる。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・岩があって生え草(海藻)が多いところ。「マツナの下」などつけている。秘密にしている人もいる。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・岩があって海藻の多いところ。「マツナのシタ」「アオサの下」などの名がある。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・岩があって海藻の多いところ、「マツナノシタ」「アオサの下」 鳥羽市答志82歳 P013
- ・アラメが多いところにはサザエがいる。アモトが多いところにはアワビがいる。平らなきれいな岩にくっついている。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・海藻があって、水のきれいなどところ。名称はとくにない。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・わからない。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・奥が深く人が入れるすきまがあったり、岩と岩が重なりあっていたりする。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・特にない。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・大きくはウワバとシタバ。アカジマ、シグモ、ミズタレ、クロジマ。 鳥羽市石鏡76歳 P019

- ・ミズタレ、クロジマ、アカジマ、シグモ、サメジマ。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・タケシ（平らな続く海底）と、ツブレ（石が重なった海底）とが、いろいろある所がよくとれる。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・瀬岩を目印にもぐる。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・アワビがいる所はアラメがよく生えていること。最近のテトラにはアワビが裏にいっぱい付いている。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・イセヅクシ、クロガミ、オキノイソ 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・ほかの組合の磯と変わっていないと思う。岩が多いところに貝がいる。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・それぞれの岩場に名前が付いている。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・他の地区と特に変わっていないと思う。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・サザエがたくさん獲れるサザエジマ。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・島々により呼び名あり。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・昔からの名前で覚える。（大王島、三頭山）生えもの（アラメ、カジキ（カジメ））が生えている場所。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・その人によって自分に合った場所があり、それは人にはあまり話さない。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・瀬や石。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・アラメ、カジメなどの海草の多い所だが、最近では石灰質の海草が増えてきた（ヘリトリカメノテのこと）猪の貝島、杓子の瀬など（いずれも和具大島周辺の瀬） 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・様々な岩の形があるが、アワビの好む場所は一定の期間置いていくとまたいることが多い。大きな岩は、〇〇瀬というような名称が付いているが、小さな岩にはない。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・島の名前 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・とる獲物によって、場所が変わる。伊勢エビはガケ。われたところにいる。「ふたつじまのあたま」や「ふたつじまのしも」 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・砂地に岩のきわ。おもてだと岩のあるところ。（波があると、砂地のところは海水が濁ってくる） 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・投石場を軸に。目印にして動く。石が積んであるところもある。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・石が落ちている。島（岩、瀬）がある。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・セヤシマのような地形を磯伝いに探していく。アワビは岩陰や岩の亀裂にいる。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・石の下や投石にはアワビが多い。アナという窪みにもアワビがいる。サザエはセにいる。 志摩市大王町畔名85歳 P046

24アワビやサザエ等が生息する場所に、特定の名はありますか。

- ・わからない。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・わからない。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・特に無い。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・海底が岩場で、海藻が生えているような所。「ヒガセイソ」とか「スズガアキ」とか、方角や近くの島や岩に名前を付けているのだと思う。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・アワビが棲息しそうな感じがする場所を「イソツキ」と呼んだりする。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・ボラ、イソバタに個々の名称がついている。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・わからない。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・大まかなツクザキ、ニワなどの名はある。細かい名はついているが、自分は知らない。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・大まかな名前のヒラワ、ニワ、ツクザキなどを知っているが細かいところの名はあるらしいが、自分は知らない。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・ニワ、ヒラワ、ツクザキ。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・オモジェ、オカンジマ、ツクザキシタ、タコラ、ビョウブ、コタコジマ。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・ある。「オモジェ」「オカンジマ」「ツクザキシタ」「フタコジマ」「タコラ」「ビョウブ」「アオサノシタ」 鳥羽市答志79歳 P011
- ・ある。「オモジェ」「オカンジマ」「ツクザキシタ」「フタコジマ」「タコラ」「ビョウブ」「アオサノシタ」 鳥羽市答志81歳 P012
- ・ある。「オモジェ」「オカンジマ」「ツクザキシタ」「フタコジマ」「タコラ」「ビョウブ」「アオサのシ

- タ」 鳥羽市答志82歳 P013
- ・ハサクラ（岩と岩の間、すきま、切れ間）、ボラ（奥が深く、人が入れるすきま）。 鳥羽市菅島45歳 P014
 - ・ない。 鳥羽市菅島48歳 P015
 - ・わからない。 鳥羽市菅島43歳 P016
 - ・ハサクラ（岩と岩の間、すきま、切れ間）。ボラ（奥が深く、人が入れるスキマ）。 鳥羽市菅島70歳 P017
 - ・ガマ（奥が深く、人が入れるスキマ）ー子どもにも教えない。はさ（岩と岩の間、すきま、切れ間）。 鳥羽市菅島56歳 P018
 - ・ない。 鳥羽市石鏡76歳 P019
 - ・フテガシマ。 鳥羽市石鏡75歳 P20
 - ・アジロ。 鳥羽市石鏡71歳 P021
 - ・ない。 鳥羽市国崎63歳 P023
 - ・岩のくぼみ、割れ目など潜んでいる所をガンコという。岩うらをイワシタという。 鳥羽市相差67歳 P022
 - ・サザエジマというくらいサザエがたくさん獲れる場所があります。 志摩市阿児町志島40歳 P024
 - ・特にない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
 - ・サザエジマ。 志摩市阿児町志島71歳 P026
 - ・ない。 志摩市阿児町志島75歳 P027
 - ・サザエジマ（サザエ）、投石した場所がある（アワビ）。 志摩市阿児町志島82歳 P028
 - ・〇〇島の辺り。 志摩市大王町波切42歳 P029
 - ・ありません。 志摩市大王町波切57歳 P030
 - ・老崎。 志摩市大王町波切64歳 P031
 - ・おいの浜、せんの浜、須場の浜。 志摩市大王町波切71歳 P032
 - ・ないです。 志摩市大王町波切73歳 P033
 - ・昔からサザエ島などと呼ばれているところもある（越賀地区には海図上にもサザエ島が存在する=調査員注） 志摩市志摩町和具77歳 P034
 - ・ない。 志摩市志摩町和具77歳 P035
 - ・ない 志摩市志摩町和具77歳 P036
 - ・ある。「ヤスリノマエ」「イワイガハナノカミ」など、いっぱいある。 志摩市志摩町御座63歳 P037
 - ・今年はテトラにサザエがいた。アワビがいる石の下はわかる。 志摩市志摩町御座78歳 P038
 - ・海女で決めた名前はある。誰々の瀬、誰々の投石など。 志摩市志摩町御座53歳 P039
 - ・特になし。 志摩市志摩町御座54歳 P040
 - ・磯としての名前 志摩市阿児町安乗61歳 P045
 - ・イシノシタ、アナ、トウセキ 志摩市大王町畔名85歳 P046

25どのような魚介類が、どのような場所で、どんな時期にとれますか。それはどのようにして知りましたか。

- ・やっとなら隙間にいるアワビが識別出来るようになった。他はサザエ、ガンゼを採る。居そうな場所は海女小屋で教えてもらった。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・アワビ、サザエ、少量だがイノカイ、ホラ貝、イタボ。サザエは若布の屑が溜る所に複数個いたりする。母の話や自分の経験から知る。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・アワビは岩の頂上や岩の腹、島の隙間やボラクタ（洞穴）など様々。採るのはアワビ、サザエ、イノカイ、ウニ、フクダメ。自然に覚えた。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・漁をする所は「ゴリガサキ」とか「アイザキマエ」等と呼び名があるが、アワビが棲息しそうな穴場は「ボラ」と呼んだりする。漁期は5月20日～8月初旬。採るのはアワビとサザエ。岩肌や岩陰、岩の隙間。トコブシやイノ貝等はいない。自然に覚えた。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・神島の海女漁は5月～8月だけ。主にアワビとサザエ。自家用としてウニ。岩のスジ、天辺、岩の腹等に居る。自分の経験で覚えた 鳥羽市神島77歳 P005
- ・アワビ、サザエ、イタボを採る。クロアワビは窪みの中や転石の下、サザエは転石などの上、イタボは石やテトラポット。母親や先輩海女が教えてくれた。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・夏に岩ガキをテトラや岩場でとる。義父母にきいて知った。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・アワビ、サザエ、ウニなど夏にツクミイソでとる。船と一緒にのっていき先輩たちからきく。 鳥羽市答志46歳 P007

- ・ニワ、ツクザキでアワビ、サザエ、ウニなど取る。夏に。一緒に船に乗っていく先輩たちに聞いて。鳥羽市答志48歳 P008
- ・夏にツクミイソでアワビ、サザエ、イタボ、ウニなどを獲る。先輩や母から聞いて。鳥羽市答志49歳 P009
- ・アワビは海中の岩のカゲ。サザエの岩の上にいる。自分で潜っておぼえた。鳥羽市答志71歳 P010
- ・海中の島の陰にアワビはいる。サザエは岩の上にいる。自分で潜って自然におぼえた。鳥羽市答志79歳 P011
- ・海中の岩の陰にアワビはいる。サザエの岩の上。大きな石ひっくり返すとカゼ、ウニ、トコブシはいる。自然におぼえた。鳥羽市答志81歳 P012
- ・海中の岩の陰にアワビはいる。サザエは岩の上。大きな石ひっくり返すとガゼ、トコブシ、ウニはいる。自然におぼえた。鳥羽市答志82歳 P013
- ・自分でもぐって知る。鳥羽市菅島45歳 P014
- ・夏、何回か自分で潜って知る。サザエ・・・海草や岩の上にいる。アワビ・・・水温がひくいとガマ(洞(ほら))にいる。産卵期(8月中頃～9月)になると浜にでてくる。鳥羽市菅島48歳 P015
- ・自分の経験で知る。鳥羽市菅島43歳 P016
- ・自分で潜って知る。鳥羽市菅島70歳 P017
- ・自分で潜って知る。鳥羽市菅島56歳 P018
- ・1～2月ひじき拾い、3月～ワカメ、5月～9月夏磯(アワビ、ウニ)、10月～年末冬磯(ナマコ、サザエ)。鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・夏・・・アワビ、トコブシ、ウニ、ガゼ。冬・・・サザエ、ナマコ。鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・場所は同じ。アワビ、トコブシ(4月～9月15日)、ウニ(6月末～9月15日)、イタボガキ(7月～8月)、ナマコ、サザエ(10月～12月末)。鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・いつも潜水しているからわからない。鳥羽市国崎63歳 P023
- ・夏の海女漁場にはアカイオ(カサゴ)、ツエ、タコ、アイナメ、ギット、ベラなどがいてカギノミで突く。鳥羽市相差67歳 P022
- ・島の陰、岩のすきまにアワビ。岩の上にサザエがいる。志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・経験を重ねて、覚えていった。志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・夏はアワビ、サザエ、ふくだめ。志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・アワビ、サザエなどの生息地は経験で知った。志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・島の陰、岩のすきまにアワビはいる。サザエは岩の上にいる。志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・決められた物、場所、時期にとる。海女になって知る。志摩市大王町波切42歳 P029
- ・経験です。志摩市大王町波切57歳 P030
- ・長い間、経験から。志摩市大王町波切64歳 P031
- ・長年のカンと仲間から。時期による。志摩市大王町波切71歳 P032
- ・瀬や石、2月～9月14日まで。日々練習。志摩市大王町波切73歳 P033
- ・サザエは岩の上に多い。アワビは岩の隙間や亀裂の部分に多いが、浅い所からクロ、メガイ、マダカの傾向がある。経験を積んでいくと自然とわかること。志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・経験則でわかるようになる。志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・経験 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・3月1日～ワカメ、3月16日～サザエ・アワビ、10月1日～イセエビ、10月20日～なまこ。1月2月は海へ入らない決まりがある→海にも休憩させる(自然保護)。志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・サザエは瀬の上。アワビは瀬の下。志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・自分の経験と先輩海女から教えてもらう。志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・サザエは瀬の上。アワビは瀬の上にはいない。昔は瀬の上にもいたが・・・今は隠れたところにいる。志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・夏磯はアワビとサザエ、冬磯は主にサザエとナマコ。アワビとサザエは海藻の下にもいる。志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・先輩海女のアジロを覚えながら、その地形と似た場所を探していった。志摩市大王町畔名85歳 P046

26現在まで主要な漁獲対象はどのように変わってきましたか。その都度どのような漁場を利用してきましたか。

- ・わからない。イソ遊びの時はイソモノ、海女になって、アワビ、サザエ、ガンゼ。蛸は逃げられた。アワビは3年目の今年初出荷をした。鳥羽市神島39歳 P001

- ・ここ10年は変化なし。鮑と栄螺が中心。アワビは減少した。特に昨年は少なかった。磯焼け、泥で岩場が埋る等、棲息環境が変化。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・漁獲物に変化はないが、漁獲量は減少した。特にアワビの減少が著しい。男の海士で岩牡蠣を採る人が出てきた。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・昔はアワビが中心。今はアワビが減少しサザエも採る。特に深場のアワビが減少。最近では岩牡蠣を採る海士(男)が多くなってきた。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・昔はアワビが中心。今はアワビが減少、サザエも採る。最近では岩牡蠣を採る海士(男)が多くなってきた。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・アワビ→サザエ→イワガキ (イタボ) 鳥羽市神島66歳 P044
- ・最初の頃は、浅いところでサザエ、マンメ、アワビをとっていたが、深く潜れるようになって岩ガキ中心にとるようになった。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・最近では磯場が荒れて海に力がないと感じる。マンメ、ガセ、ウニをアワビがいなくなるときはとる。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・荒布がなくなるなど磯場が荒れてきて、アワビが少なくなっている。マンメ、カゼ、ウニをとるようになった。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・昔はアワビが多くいたが少なくなったので、サザエやウニ等とる。浅い磯場から深い磯場になってきた。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・アワビが少なくなってきたのでイタボ (イワガキ) やウニなど獲るようになった。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・昔はいの貝がたくさん獲れたが現在はほとんどとれない。アワビも少なくなってきた。船人はイタボ (岩ガキ)、徒人はサザエ、ウニをとる。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・昔はいの貝がたくさんとれたが今は少ない。アワビも少なくなってきた。イタボやウニなどをとっている。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・アワビは少なくなった。サザエやウニをとるようになった。船人はイタボをとるようになった。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・変わらない。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・変わらない。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・アワビが減ってきた。年々、磯ヤケをしている所が多くなってきた。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・以前はアワビ、サザエ、イノカイなど取っていたが、アワビ、イノカイが減り、サザエが多くなってきた。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・以前はアワビ、今はアワビが減ってきたのでサザエ。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・変わっていない。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・どんどん少なく、獲れなくなっている。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・変わっていない。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・わからない。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・昔と捕るものは変わらないが少なくなっている。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・その年によって違う。去年はサザエが多かった。今年はサザエが少なかった。アワビは例年通り少なくなっている。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・アワビは激減、サザエは年によって漁・不漁がある。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・平成元年頃は、どこにでもアワビがいた。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・変わっていないが、アワビは激減している。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・その年によって違う。去年はサザエが多かった。今年はサザエが少なかった。アワビは例年通り。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・ 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・漁獲対象も漁場も変わらないと思いますが、地形は変わって来ている様です。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・毎年変わる。獲れる場所が違う。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・ひじき。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・ナマコからサザエに。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・むかしから主なものアワビ、サザエ。以前は、春から順番に、ナマコ、ワカメ、ヒジキ、アワビ、サザエ、天草、アラメ、伊勢えびなどがあったが、いろいろな理由で口開けしない種類が大幅に増えた。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・アワビ、サザエなどは変わらないが、最近ではアラメ、ワカメ、天草は採らなくなった。 志摩市志摩町和具77歳 P035

- ・変わらない 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・3年か4年でイソバがかわる。磯ヤケで海藻なくなってきたり（海水温度が高い場合）。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・昨年、今年はフクダメは少なかった。（そのかわり、値段は今年はよかった）昔はフクダメがたくさんとれた。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・昨年（H23年）はサザエが少なく、アワビ、フクダメはいた。今年はサザエが多く、アワビ少なめ。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・アワビが減った。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・アワビからサザエに変わってきている。アワビの漁獲量が減ってきている。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・海女を始めたころはサザエなど肉眼で確認できるものを何でも採っていった。その時期を過ぎるとクロアワビを主に狙い、60歳代になってからは広く漁場をまわり、なんでも採るようにした。 志摩市大王町畔名85歳 P046

27漁場利用には、どのような権利がありますか。それは一時的なものですか、永続的なものですか。譲渡される場合もありますか。

- ・イソに行くのは特に何も言われなかった。採ってきた漁獲物は自分の名前では出荷せずに、母の名前で出荷する。売上金は自分の講座に振り込まれてくる。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・漁業組合の正組合員か準組合員なら誰でも潜れる。死亡又は組合員を脱退すれば潜れなくなる。海女個人には特別な権利はない。権利の売買は認められていない。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・神島に籍があつて、漁業組合員なら誰でも海女が出来る。特別な届は必要ない。潜る場所は、禁漁区が定められる6月11日の祭の日以外は、何処でもいい。組合員の資格は生きている間だけ。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・漁業組合と係の決め事（磯を開ける日、潜く回数・時間、止磯等）を守れば、神島の組合員なら何処で潜ってもよい。海女個人に漁場の権利はない。基本的に組合員資格は一代限り。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・神島の者なら誰でも海女が出来、祭りの日以外は何処でも潜れる。海女個人に権利はないし、権利を売ったりもしない。潜る場所は海女が決める、船頭は海女の言う場所で船から降ろす。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・神島では漁業権は家単位で永続的に利用できる。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・漁協の許可しているところ、組合員は口があいていたらどこでも潜れる。鳥羽磯へは行ってない。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・組合員なら答志の漁場はどこでも潜れる。鳥羽磯には行ってない。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・組合員なら答志の磯場なら禁漁区の小築海島以外ならどこでも海女漁できる。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・答志の磯なら組合員はどこにでも潜れる。鳥羽磯へは行ってないのでわからない。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・組合員なら、答志の磯ならどこでもよい。鳥羽磯は鳥羽漁協と1年ごとに契約している。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・答志の組合員なら、小築海島以外ならどこでもよい。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・答志の組合員なら、答志のイソどこでもとってよい。鳥羽磯は3/1～12/1まで鳥羽漁協と契約している。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・答志のイソは組合員ならどこで取ってもよい。鳥羽磯（三ツ島、佐田浜周辺）は鳥羽漁協と1年契約。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・決まってはいるが、くわしくは知らない。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・住民票が 鳥羽市菅島にある人のみ潜れる。（今年から） 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・ない。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・永続的。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・鳥羽市菅島にいれば、いつまでも潜ることができる。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・株を持っていれば権利が得られる。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・組合で、 鳥羽市石鏡に住めばもらえる。永続的。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・90日以上漁に出て、ある程度以上の株をもっている人。昔はなかった。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・権利はないので関係なく誰でも行けるが、いつも漁場としている人の所には口りよして行かない。 鳥羽市国崎63歳 P023

- ・磯の口明けがあればどこの磯に行っても良いが、皆常に漁をする磯を持っていてお互いわきまえている。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・永続的。土用の丑の日、アラメ口明け7月盆前まで。それ以降は自由。ワカメは2月3日から。(問29へ→あり) 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・組合員の資格のある家の者が、海女漁ができる。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・永続的。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・組合員だけが海女漁ができる。譲渡はない。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・永続的。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・漁業権・・・永続的。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・漁業権。譲渡はされません。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・永続的。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・年間費を払っている。これは永続的なもの。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・権利はなく永続的なものです。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・漁協に組合員になれば海女として和具の漁場を利用できる。組合員の資格は親子で引き継がれる場合もある。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・ない。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・ない 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・御座に住んでいて、漁業権を取得して組合員になる。御座にいれば永久的に続く。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・漁業権。23才位の時、大敷をやっている時の配当金をもらっていた時、500円払った。漁業権は10万円になるまで払う。1軒に漁業権があれば家族みんなOK！漁業権を持ってない人が（漁場で海藻などを採りに）行くと嫌われる。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・漁業権あり。御座の海域ならどこでもよい。(禁漁区以外) 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・御座に住所がある人でないと権利はない。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・漁業権。夫が大工のため、よしさん自身で漁業権を購入した。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・畔名では全戸が漁業権を持っていた。 志摩市大王町畔名85歳 P046

28他の漁場に入るには、どのような手続きや取り決めがありますか。

- ・わからない。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・漁場は神島の周囲。それ以外の漁場で海女漁をすることはない。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・神島以外で海女をすることはない。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・現在では、島周辺の漁場以外で海女漁をすることはない。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・島の周囲は何処で潜っても良い。島周辺の漁場以外で海女漁をすることはない。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・ドンボリはタカ（浅瀬や沿岸）の海域には入れないことになっている。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・知らない。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・他の漁場には行かないので知らない。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・トバイソには行ってないのでわからない。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・わからない。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・鳥羽磯は4/1～12/1まで、三ツ島や佐田浜周辺を潜る契約を現在6～7人で年間35万円で契約している。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・現在6～7人で鳥羽漁協と契約して三つ島、佐田浜周辺の磯場の権利買っている。毎年4/1～12/1まで。(約35万円) 鳥羽市答志79歳 P011
- ・鳥羽磯は、鳥羽漁協と1年契約で今は6～7人で契約している。3/1～12/1まで35万円。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・鳥羽漁協に6～7人で4/1～12/1の期間潜る権利1年契約で買う。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・他のところへはいかないので、知らない。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・場所によってちがうが、他の漁場に入ることはない。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・ない。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・よそのところでは潜らない。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・組合の指定した場所にもぐる。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・ない。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・特になし。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・ニューカイ（本浦との共同漁場）があるが、特にきまりはない。 鳥羽市石鏡71歳 P021

- ・ない。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・別がない。入合いのアダコ（天草、ナマコ）漁場は組合が決めてくれる。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・ない 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・禁漁区以外には特がない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・なし。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・禁漁区以外にはない。禁漁区の解禁は組合で決める。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・ない。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・他の漁場は入れない。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・他の地区には行きません。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・入らない。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・他の漁場には入ることがない。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・入らない。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・法的にそのようなことはないが、年齢や体力で磯の住み分けがされるので、いつも深い所へ行く海女が浅い磯で漁をするといつもそこで漁をしている海女からクレームがでることもある。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・ない。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・ない 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・絶対入れません。ありえない。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・隣の越賀地区の漁場には入れない。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・他地区は、住んでいないからムリ。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・御座の海なら、どこでもよい。(禁漁区以外で) 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・安乗の漁場内であれば、とくにない。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・他人のアジロを利用する場合は早い者勝ち。 志摩市大王町畔名85歳 P046

29海藻類の採取に関する慣行がありますか(採取法、採取権、採取期間と口明けの時期、磯の管理規定など)。

- ・荒布は採る技術が無い。深場で綺麗な物必要。母の採った物の運搬や清掃等を手伝う。若布、ヒジキは採りに行く。鎌で刈り取る。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・今年は、荒布は8月末1日2時間。若布は4月に2週間。ヒジキは若布の後2日間。鎌で刈取る。誰でも。口開けは組合が決めた。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・アラメ、ワカメ、ヒジキの口開けがあるが、採りには行かない。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・荒布採取は8月中下旬、年1回1日約1時間半程度。若布は3月末約1週間。共にウェットスーツ着用。鹿尾菜は3月末1～2日。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・ワカメは4月。アラメは8月。共に潜って鎌で採取。ヒジキは浅場で潜らずに鎌で刈り取る。採取場所は自由。口開けは組合が決定。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・口開け制度による。ワカメは2週間、ヒジキは4月中旬から5月にかけての2日間、アラメは8月に2時間のみ 鳥羽市神島66歳 P044
- ・ヒジキは家が入札したところを刈る。3/1～4/末日。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・ヒジキー3月1日～4月末日まで、漁協が決める。ヒジキの時だけ行く。若布はノリ業と重なるので行かない。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・若布、ヒジキー3月1日～4月末日まで、漁協が決める。ヒジキは行くが若布は海苔と重なるので行かない。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・3/1～4/30にヒジキの採取には行っている。若布は行かない。テングサは夏ならいつでもとれる。イワテイソで採取する。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・若布は3/1～4/末日解禁。ヒジキは3/1より1日だけ。大間は誰がとってもよいが、それ以外は、入札して場所決める。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・若布、ヒジキー3月1日～4月末日まで。漁協が決める。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・慣行ある。若布、ヒジキは3/1～4/末日まで。ヒジキは1日だけ全組合員に公開、その後は入札（磯ごとに） 鳥羽市答志81歳 P012
- ・若布、ヒジキは3/1～4/末日、ヒジキは1日だけ一般に公開。他は入札、漁協が決める。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・組合が決める。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・採取期間6月～8月の大潮。組合が決める。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・組合が決める。 鳥羽市菅島43歳 P016

- ・組合が決める。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・組合の指示に従う。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・口明け式。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・1日2回。午前1回、午後1回。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・ヒジキ→3月に2回ほど口明け。共同で手伝った人の数で割る。アラメ→出た人の数で割って、それぞれの株に入れる。ワカメ→3月初、各自で出す。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・ある。組合が決める。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・①ワカメ口明け3回（3月末）②ヒジキ口明け1回（5月連休）③天草1回（6月末）④アラメ1日（7月末）が通例。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・ヒジキは漁場を買う。毎年入札を行う。11月末～3月末までで4月からはオープンになる。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・9時～11時（第1回）、休けい、12時～2時（第2回）。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・夏の土用に入ってからアラメは採る。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・9時～11時。休けいのもと、12時～2時。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・ヒジキは漁場を買う。毎年入札を行う。11月末～3月末まで。4月からはオープン。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・あり。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・ワカメ、3月頃。天草、夏場。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・漁協と仲間で決める。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・ひじき3月～5月、天草5月～10月、ワカメ1月～5月。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・ワカメ2月24日以降、アラメはその年による。ヒジキは10月～5月まで。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・海藻類は時期によって口開けが決まっている。ヒジキ、ワカメは春先（ワカメは最近是不漁）、天草は初夏（以前は潮かけ祭りの翌日（旧6月2日）とされていたが、最近は違う=あとの処理がややこしいので漁をしない海女が多くなった）アラメは夏（和具では最近は口開けはしないが、台風などの荒天時には広の浜辺りに大量に打ち上がり収穫する） 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・以前は、テングサなどは潮かけ祭りの翌日など決められていたが、今は同盟会などで決定する。アラメなどは口開けしなくなった。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・漁期の前に一同で決める 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・ある。ヒジキ→天気、潮時、のびぐあいを見て毎年、その時その年で、状況がちがうから、その時にあわせて。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・ヒジキ（3月末頃～）ヒジキは口明けの放送がある。今年は自分の家の分だけ採った（→自分が食べる分だけ）。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・ひじき、てんぐさは決められた期間がある。口明け、口閉めある。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・あります。ヒジキは個人の組合があつて、その代表者が決める。ワカメは海女組合がのび具合をみて決める。ナマコ、ワカメは海女組合で。みんなで相談して決める。ワカメは3月1日～、なまこは11月～12月末。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・アラメ7月20日、ワカメ4月16日～9月14日、テングサ6がつ、ヒジキ3月10日と11月初旬 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・ワカメ・ヒジキは3月に口をあけた。 志摩市大王町畔名85歳 P046

30漁場の口明けの時期は、どのようにして決められていますか。

- ・わからない。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・組合が船頭の中から世話人を依頼、世話人が天候や潮時を見て日時を決める。昔は磯部組合が全て取り仕切ったが解散し今は無い。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・係の船頭が決める。漁場では5人程の係が無線で連絡し合い、漁の開始終了を赤い旗を揚げて知らせる。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・海女漁に携わる船頭が2人1組・1年交替で決める。5月20日以降は毎朝6時頃、係の者がニワノウラで風や波の様子を見て判断。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・船頭等で係を決めて口明けの日や漁の時間を決める。漁の開始・終了を知らせる旗揚げの係も入れると5～6人がその役に就く。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・磯の世話人と磯当番との協議による 鳥羽市神島66歳 P044
- ・漁協の運営委員たちが決める。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・漁協で運営委員の会議で決める。 鳥羽市答志46歳 P007

- ・漁協で運営委員らの会議で決める。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・組合の運営委員の会議で決める。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・漁協の運営委員が決める。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・漁協で運営委員らの会議で決める。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・漁協で運営委員が決める。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・漁協の運営委員が決める。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・組合が決める。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・組合が決める。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・組合が決める。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・組合が決める。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・組合の指示に従う。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・組合で決める。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・組合で決める。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・日柄、天候をみて役の人が決める。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・組合の決定。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・組合が海女代表も含んだ役員会で決めている。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・漁協と海女で決める。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・組合で決める。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・天気と海の状態を見て。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・組合で決める。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・漁協と海女で決める。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・昔からの決まり。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・毎年2/1から。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・2月1日に自分達の仲間で決める。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・漁協。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・ワカメ、海女の元方と海士の元方と漁協とで決めます。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・海女同盟会の役員が相談して決める 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・同盟会などで決定する。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・漁期の前に一同で決める 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・隣の越賀地区の海女組合と双方が相談して決める。3/16頃。死人があつたら、口明けの日がのびる。志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・エビ網の世話人が、海藻類のことを決めている。海女組合で3/15～9/14までときめている。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・越賀地区の海女組合と決める。黒いブイをおとしてやる。場所決まっている。御座と越賀の境の口明け(2日間かづく)→3日目→一般の口明け。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・ヒジキは個人の組合があつて、その代表者が決める。ワカメは海女組合(山下真千代さん大将)がのび具合をみて決める。ナマコ、ワカメは海女組合で。みんなで相談して決める。ワカメは3月1日～、なまこは11月～3月末。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・年間日程が決められているが、当日の海況により漁協が変更する場合がある。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・畔名漁協があつた当時は、潮周りをみて予め日程が決められており、当日に放送で周知していた。志摩市大王町畔名85歳 P046

31アワビの単価(/kg)はいくらですか。

- ・初出荷のアワビの種類、単価等を聞き取る事が出来なかった 鳥羽市神島39歳 P001
- ・今年は黒で8～9千円、赤で5～6千円。去年は黒が1万円台。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・1kg当たり黒アワビで8千円程度、赤アワビで5～6千円。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・1kg、黒アワビで8千円、赤アワビで5～6千円。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・海女漁の口が開く初めの頃、青でキロ9千円、赤で6千円くらい。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・クロは8000～9000円、アカは5000～6000円 鳥羽市神島66歳 P044
- ・黒9千円、赤6千円。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・1kgー黒が9千円、赤が6千円。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・1kgー黒が9千円、赤が6千円。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・1kgー黒9千円、赤6千円。 鳥羽市答志49歳 P009

- ・1kg一黒が9千円、赤が6千円。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・1kg一黒が9千円、赤が6千円。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・1kg一黒9千円、赤6千円。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・1kg黒が9千円、赤が6千円。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・黒アワビ9,000円前後、赤アワビ7,000円前後。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・9,000円。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・組合が決める。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・5,000円ぐらい。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・黒8,000～9,000円。赤5,000～6,000円。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・8,000円/kg。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・8,000円/kg。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・アカ→5,000～7,000円、クロ→6,000～10,000円。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・その時によってちがう。ふつうkg当たり7,000～9,000円。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・クロアワビ(8～9千円)、アカ(6～7千円)、トコブシ(2,500円)キロ当たり。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・3,000～10,000円 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・黒9,000円ぐらい、白7,000円ぐらい。サザエ800円ぐらい。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・5,000～8,000位。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・黒9,000円ぐらい、白7,000円。サザエ800円。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・3,000～10,000円。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・毎日の変動なので3,000～10,000円ぐらい。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・その日により違います。シロとクロでも違います。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・その日で値段が違う。(15時過ぎに漁協に札値が決定。当番で連絡する。) 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・その日の単価に合わせて漁市場に出す。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・黒9,000円、白6,000円位。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・シロが約6,000円、クロが約8,000円位。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・その日の相場が違う。白で約6,000円前後。黒はそれより約2,000円程度高い。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・市議により入札で決める 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・1kg一黒が9,000～10,000円、白が5,000～7,000円。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・始め(はな)～終わりまで、単価変わる。黒7,000～10,000円、白5,000～7,000円。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・商人の都合、ニーズにより上がったたり下がったり、時期によって変動。お盆前は値上がりする。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・毎年違うが、H24年は黒(最初は安い) 6,000～7,000円→9,000～10,000円→おわり頃7,000円 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・クロ9000円、アカ5000円～4000円 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・昭和50年代、クロアワビは5000円から6000円だった。 志摩市大王町畔名85歳 P046

32ノリアイの船代はいくらですか。

- ・わからない。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・一応は1/5。漁獲量が少ないと1/2～1/4になったりする。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・徒人なので解らない。昔は歩合制で1/5とか1/6を船頭に渡した。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・夫婦で操業なのでわからない。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・鮑・栄螺共に1/5が船頭の取り分。重量ではなく数で分配する。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・各海女の一日の稼ぎの1/5 鳥羽市神島66歳 P044
- ・家の船で行っているので祓ってない。(2千円ぐらい) 鳥羽市答志31歳 P006
- ・1人1500円。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・1人1500円。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・1人1500円。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・答志の磯1人1500円。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・答志の磯の場合1人1500円 鳥羽市答志79歳 P011
- ・答志の磯、1人1500円。 鳥羽市答志81歳 P012

- ・答志のイソ、1人1500円。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・無料。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・ない。お礼程度。家の人に乗っていくのに、一緒に乗せてもらう。今年は1隻に3人だった。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・三ヶ月で約2,000～3,000円。御礼で渡す。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・特にない。気持ちでお礼をする。(畑でとれたトマトやパンなど) 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・気持ちで物をわたす。(お金は払わない) 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・泳いで行ける漁場のみ。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・泳いで行く。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・フナチン1日1,500円。船に乗る時渡す。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・1回5～600円。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・1人1,000円。自分らの船は4人なので船頭は4,000円。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・水揚げの12%。昔は一律で多い時は気持ちで渡す。小屋別に集金してトマエさんの家に支払いに行く。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・海女の水揚げの12%。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・水揚げの12%。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・それぞれの海女の、その日の水揚げの12%。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・水揚げの12%。昔は一律で多い時は気持ちで足す。皆から集金して順番でトマエさんの家に持って行く。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・ノリアイはしていない。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・3,000円程度だと思います。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・夫。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・カチド、カチロです。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・漁獲金額の15% 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・漁(売り上げ)の15パーセント 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・漁の15パーセント 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・海女の腕によって違う。3/16～9/14のほぼ半年間でアワビ(1人30万)、ナマコ(1人5万円)。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・徒人なので払っていないが、1日2,000円と聞いている。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・年間20万円。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・今は徒人なので払っていないが、ノリアイをしていた頃は1人2,000円。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・カチドのため、ない。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・一日あたり1500円だった。 志摩市大王町畔名85歳 P046

○衣装

33昔の白いイソギは持っていますか。着用する機会はどのような時ですか。

- ・持っていない。海女漁と関係する内容で着る機会は無い。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・海女を始めた頃に、母のイソギを一度着たことはあるが、今は持っていない。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・持っているいない。結婚する前後の頃は白の磯着を付けていたが、徒人になってからは着用したことがない。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・持っている。6月の「御供上」、8月の「うら様」の祭事するとき。普段は着用しない。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・持っていない、今は着る事はない。今も祭事するときには着るが、役に付いていない人は着ない。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・所有している。イベント時に着用する。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・持っていない。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・持っていない。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・持っていない。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・持っている。イベントがある時着る。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・持っている。催物がある時着る。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・持っている。催物があるとき。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・持っている。催物がある時着る。 鳥羽市答志81歳 P012

- ・持っている。イベントがある時。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・持っている。しろんご祭のときに着る。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・持っている。しろんご祭の時。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・持っている。しろんご祭。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・持っている。しろんご祭のとき。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・持っている。しろんご祭。ふだんでもウェットスーツの上に古いイソギを着たりもする。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・ある。今は着ない。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・持っている。 鳥羽市石鏡75歳 P020
- ・持っているが着ない。撮影の時くらい。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・持っている。着用は行事、祭の時だけ。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・持っている。観光海女に行くとき。祭典（浜祈祷）。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・持っていない。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・持っている。行事などのとき着る。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・着用していない。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・持っている。撮影のときなどに使うだけ。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・昔は着用していたが、もう持っていない。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・なし。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・持っていません。今は着る機会はありません。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・はい。もう着る時はありません。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・持っていない。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・持っています。撮影の時。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・持っていたが、最近、人にあげてしまった。白いイソギは潮かけ祭りで和具大島の神社に参る時には使用する。あとは神宮のアワビ奉納など(これはその年に海女の役員に当たっている者など特定の海女しか行かない=調査員注)。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・潮かけ祭りのときに着るが、最近は祭りにさ参加しないので着る機会が少なくなった。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・持っている。祭り(潮かけ祭り)の時。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・持っている。海女撮影会や観光目的での雑誌やテレビの撮影や海女小屋体験の撮影時に着ます。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・持っています。知人は畑仕事に使っている人もいる。海女撮影会用に作った。(3、4年前にも作ったことある)→親元のおよめさんが、お盆(盆踊り)の仮装に着るかもしれないから、置いてあります。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・持っています。海女撮影会のみ着用。海女撮影会のために、自分用を作りました。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・持っています。写真撮影の時などに着る。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・天竺木綿で自作したものを持っている。イベント用に用いる。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・稽古を始めた頃は白のイソギだった。畔名で縫ってくれる人がいた。 志摩市大王町畔名85歳 P046

34昔の白いイソギは、いつ、どのような理由から着るようになりましたか。

- ・今年、島の敬老会の様な催し物があり、イソギを10着借りて踊った。初めての着用。大切な物として借用・返却には気を遣った。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・わからない。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・時期も理由も知らない。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・いつ頃からか時期も理由もわからない。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・時期は不明だが「サメ避け」だと聞いた。この人もサメで亡くなった人がいる。「魔除け」の意味の「白装束」と違うか。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・サメ除けのためだという伝承がある。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・わからない。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・わからない。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・わからない。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・わからない。サメよけと聞いたことがある。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・いつから着るようになったかは知らない。裸だと岩にこすれてケガする。白いものはサメよけになるから。 鳥羽市答志71歳 P010

- ・サメが白いものには寄ってこない。裸だと岩などにこすってケガしやすいから。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・いつからかは知らない。サメは白いものによってこない。裸だと岩にぶつくと危ない。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・いつかは知らない。サメよけに白いものを着るようになった。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・サメよけ、魔よけとして着られている。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・小さい頃からサメに食われないよう着せられていた。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・青年団で、祭の時に着るようになった。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・魔よけのために着る。サメよけ。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・いつ頃かわからないが、サメよけとして昔から着ている。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・子どもの頃、親は上半身裸。自分たちは着ていた。まよけにもなる。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・魔除け。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・中学。潜りはじめた時から。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・昔からあり。いつ頃からかわからない。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・昔から着用している。自作した。手首はヒモ止め、前はホック止めだった。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・分からない。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・サメを追うためときいている。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・分からない。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・白いのでサメにおそわれないから。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・分からない。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・知りません。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・身体を覆う物。サメよけとかの説もあります。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・当初3年位着ました。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・海女を始めた頃は、昔の白いイソギで潜っていた。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・最初から。始めた時から磯に行くスタイルはほぼ決まっていた。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・最初から。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・いつからかは、わからないが、昔（祖母が着ていた時）は黄色っぽい色の木綿のイソギだった。←今の木綿よりも黄色っぽい木綿（この方が保温性あり）洗っているうちに白くなってくる。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・昔、若い頃には、もらったり、作ったりした。サメよけにもなる。昔は白いイソギだけで寒かった。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・持っています。海女撮影会のみ着用。海女撮影会のために、自分用を作りました。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・昔は、白いイソギ（チョキ）←イソギのことをチョキといった。ウェットは禁止だった。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・海女を始めた30年前には、すでに着ていなかった。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・不明 志摩市大王町畔名85歳 P046

35昔の白いイソギの形は、変わってきていますか。それは、いつ変わったのですか。

- ・借りてみて判ったのは、みんなチョットづつ違っていた。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・わからない。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・わからない。「ノセノセ」の頃は、襟の無い丸襟で、カッターシャツ同様、上から下までボタンを付けていた。自分で縫って作った。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・平成元年頃「おおかずき」から貰った磯着は白のカッターシャツのような物。今は丸襟で働き着のような形。自分で縫って作る。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・昔から形は大概決まっている。腰巻きと合わせて自分たちで作る。腰巻きは股の所に紐を付けて、結べるようにする。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・コシマキからイソギ（上下）に変わったが、変わった時期は不明である。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・わからない。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・わからない。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・わからない。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・わからない。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・白い腰巻きから、白いズボンになる。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・白い腰巻からズボンになる。 鳥羽市答志79歳 P011

- ・白い腰巻きから、白いズボンになる。いつからかは知らない。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・白い腰巻が白いズボンになる。いつからかはわからない。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・かわらない。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・少しかわった。今は白のTシャツなどになった。上のみ着用で、下はウェットスーツのまま。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・変わらない。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・変わらない。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・昔からのイソギを着る人もいるが、洋服のようにボタンをつけている服の人もいる。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・変わっていない。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・変わらない。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・変わらない。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・変わらない。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・自分が結婚した昭和43年にスポンジになっていた。当時は黒色で今も変わらない。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・分からない。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・変わっていない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・分からない。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・変わっていない。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・分からない。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・知りません。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・2、3年前だと思います。自分で袖が引っかからないように絞る。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・変わっていない。(昔から) 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・変わっていないように思う。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・変わっていない。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・変わっていない。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・変わらない。腕の部分は紐付きが当たり前。昔の人はうまく作っていると思う。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・変わっていない。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・変わっていない。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・知らないけど、変わりなく一緒だと思う。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・海女を始めた30年前には、すでに着ていなかった。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・イソギの形は変わらなかったが、イソギの下にジャージのようなものを着こむようになった。 志摩市大王町畔名85歳 P046

36昔の白いイソギ以外のもので、現在、イソギといっているものはありますか。どのようなもので、どんな色のものですか。

- ・ない。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・ない。ウェットスーツ以外のものを着ることがない。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・ない。昔は白のイソギの下に、毛糸のセーターの様な物で、水切れの良い物を着て、地の厚い下バッチを履いて潜っていた。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・ない。海女を始めた頃は、古い毛糸の服のようなものを着ていたような記憶がある。今はウェットスーツ以外のものを着ることはない。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・ない。今はウェットスーツ以外のものを着ることはない。スーツを着る以前は、白いイソギの下に古い毛糸の服や古い厚手の物を着ていた。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・ウェットスーツ 鳥羽市神島66歳 P044
- ・知らない。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・ない。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・ない 鳥羽市答志48歳 P008
- ・ない。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・ない 鳥羽市答志71歳 P010
- ・なし 鳥羽市答志79歳 P011
- ・ない 鳥羽市答志81歳 P012
- ・なし 鳥羽市答志82歳 P013

- ・白いワイシャツをえりの部分を改造したもの（じゃまになるので）。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・Tシャツ。白色。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・白色。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・白色。カッターシャツなどの古いものをつかっている。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・白色。洋服のようなもの。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・ない。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・ない。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・ない。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・ない。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・下はズボン。上半身は体操服にウェットスーツのチョッキを着用。動きやすいからこれが良い。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・分からない。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・ない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・分からない。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・ない。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・分からない。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・知りません。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・ないです。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・コットンのもの。肌着。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・ウェットスーツ。夏場シャツとズボン下です。足ヒレ（黄色）。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・ない。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・ウェットスーツの大きな意味で磯着と言うことも。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・ない。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・ない。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・白いイソギは着ていない。徒人は白いもめんをきる。白いイソギは寒い。ウェットスーツの黒の方が安いし、強い。太陽の熱を吸収して暖かい。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・スポンジ（ウェットスーツ）。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・今は、ウェットスーツ（スポンジ）。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・海女を始めた頃からウェットスーツ。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・ジャージ 志摩市阿児町安乗61歳 P045

- 37 ウェットスーツを使うようになった時期は、いつごろですか。ウェットスーツは何色を使っていますか。また、ウェットスーツを使っているうちに、色を変えたことがありますか。それは、何故ですか。
- ・結婚直後（平成12年）は、スーツ無しで貝を拾いに行く程度のイソ遊び。徒人海女を始めた平成22年にスーツを貰って初めて着用。今年、母の上下ツナギのスーツを切って下だけ再利用。上はこれまで着ていた物を神島に来る業者に修理を依頼し着ている。色は黒。 鳥羽市神島39歳 P001
 - ・島に戻り海女を始めた時からスーツを着用。初めは母親の物を借りて。その後4～5年して自前のスーツをオーダーメイドで注文。現在3着目。色は黒。黒色以外の物は着用したことは無い。特に理由はない。 鳥羽市神島44歳 P002
 - ・ウェットスーツを着用しだしたのは昭和45年に結婚して、しばらくしてから。色は黒色。これまでに色を変えた事はない。ゴムで肌が擦れないように、ウェットスーツの中には、シャツやタイツの様な物を着たり履いたりする。 鳥羽市神島62歳 P003
 - ・昭和45年に結婚して、それ程時期が経たない内にウェットスーツを着るようになった。色は黒。色を変えた事はない。 鳥羽市石鏡で1着とと、神島に来た業者から1着購入した。ゴムが3ミリの物と5ミリの物、各1枚。身体のサイズを測って作るオーダーメイド。 鳥羽市神島63歳 P004
 - ・いつ頃からか覚えていない。色は黒で裏付きの物。色を変えた事はない。初めから 鳥羽市石鏡で身体の寸法を計測しオーダーメイドで購入。現在3着目。 鳥羽市神島77歳 P005
 - ・自分自身は昭和60年頃から着用した。色は好みで、取り決めもない。現在は紺色を着用。神島では昭和50年頃から着用されるようになったらしい。 鳥羽市神島66歳 P044
 - ・最初からウェットスーツ、黒色で変えたことはない。ウェットスーツは体に合わせてオーダーメイドで 鳥羽市石鏡で買う（注文して）。 鳥羽市答志31歳 P006
 - ・海女になった時からウェットスーツ。黒い模様の入っている市販のもの。色は変えたことはない。 鳥羽市答志46歳 P007
 - ・海女になった時から、市販のものを使っている。黒に模様が入っている。色は変えたことはない。

- 鳥羽市答志48歳 P008
- ・最初から着ている。黒色のウェットスーツを 鳥羽市石鏡にオーダーメイドで注文して買っている。色は変えたことはない。 鳥羽市答志49歳 P009
 - ・昭和39年頃より着るようになった。黒色を着ていて、変えたことない。最初は半ズボンのウェットスーツだった。上は長ソデ。 鳥羽市答志71歳 P010
 - ・昭和39年頃から着るようになった。半ズボンのスポンジ、上は長ソデ→黒色。色を変えたことはない。 鳥羽市答志79歳 P011
 - ・昭和39年ぐらいから着るようになった。黒色で変えたことはない。 鳥羽市答志81歳 P012
 - ・昭和39年頃より着るようになった。今は黒色だが、ウェットスーツが解禁になる前に白いイソギの下に白のウェットスーツを着ていたこともある。 鳥羽市答志82歳 P013
 - ・黒色。ウェットスーツ上下を着用し、その上に白色のシャツを着て、下は綿のものをはく。 鳥羽市菅島45歳 P014
 - ・23, 24歳頃。黒色やグレー。それまでは水着の上にジャージ。ウェットスーツは1年置くと縮んだり、割れてきたりするので、新しくする時がある。 鳥羽市菅島48歳 P015
 - ・平成3年。貢ぐときに親にはじめて買ってもらった。黒色。 鳥羽市菅島43歳 P016
 - ・15年ぐらい前から着ている。黒色。組合で注文して買った。いたんだら直して使う。今まで変えたことがない。 鳥羽市菅島70歳 P017
 - ・組合でつくった黒いのを着ている人もいるし、釣具屋で、ねずみ色のを着ている人も。 鳥羽市菅島56歳 P018
 - ・昭和42～3年。スポンジという。黒色。 鳥羽市石鏡76歳 P019
 - ・昭和42～3年頃。黒。色は変えていない。 鳥羽市石鏡75歳 P20
 - ・40才くらい。黒。厚さが2mm、3mm、5mmとあり、夏は2mm、冬は5mm。それぞれの厚さ、4～5着ずつある。 鳥羽市石鏡71歳 P021
 - ・45年前。黒色。昔から黒のみ。 鳥羽市国崎63歳 P023
 - ・S43年（クロ色）。今も同じ黒色。真珠島の観光海女は白いウェットスーツを下に着ている。 鳥羽市相差67歳 P022
 - ・20年以上前。子どもの頃から着用していた。おしゃれやこだわりで黒にライン柄を入れている。 志摩市阿児町志島40歳 P024
 - ・平成4年ごろ。志島は、それまでは着用しないという申し合わせであった。 志摩市阿児町志島66歳 P025
 - ・ウェットスーツ。 志摩市阿児町志島71歳 P026
 - ・平成4年ぐらいから。それまでは志島では着用しないという、とり決めがあった。 志摩市阿児町志島75歳 P027
 - ・20年以上前からウェットスーツを着用している。黒。 志摩市阿児町志島82歳 P028
 - ・S45～47年と聞いた。黒色。なし。 志摩市大王町波切42歳 P029
 - ・黒。夏と冬では厚みが違います。昭和43年頃らしいです。 志摩市大王町波切57歳 P030
 - ・2, 3年前。ウェットスーツ、黒色のみ。 志摩市大王町波切64歳 P031
 - ・漁を始めた時には、すでにウェットスーツでした。黒色です。 志摩市大王町波切71歳 P032
 - ・31才から。黒色。ない。 志摩市大王町波切73歳 P033
 - ・昭和37, 8年頃に出始めた。最初は黄色、今は黒色。ジェット（足ひれ）を使うのは海女の中でも一番遅かった。 志摩市志摩町和具77歳 P034
 - ・昭和38年頃。足ひれは少しあとか。 志摩市志摩町和具77歳 P035
 - ・昭和37, 8年頃。全体的に黄色～黒色に変ってきた。 志摩市志摩町和具77歳 P036
 - ・お正月に大阪から来てくれる。38年前からウェットスーツはあった。小学生の頃はイソギ。中学生の頃イソギ。17～18才位までイソギをきていた。24才で海女を始めた頃にはウェットスーツだった。色は黒。 志摩市志摩町御座63歳 P037
 - ・63才位から海女した時は、ウェットスーツ。(浜島にお店ある)大阪から買ったこともある。(セイコウという会社だったと思う)サイズをはかってくれたりする。色は黒。 志摩市志摩町御座78歳 P038
 - ・ウェットスーツの色を変えたことはない。黒色。 志摩市志摩町御座53歳 P039
 - ・海女を始めた頃からウェットスーツ。色は黒。色は変わらない。2着持っています。ウェットの厚さ、夏も冬も4mm～5mm。薄いと寒い。冬のなまこ漁の時も着る。破るのでジャージ付きを着ている。 志摩市志摩町御座54歳 P040
 - ・平成24年12月の冬磯で海女の事故があり、其の事故を契機にウェットスーツを着るようになった。

志摩市阿児町安乗61歳 P045

- ・昭和60年代には着られるようになったが、引退するまで、ウェットスーツを着用しなかった。 志摩市大王町畔名85歳 P046

38ウェットスーツを利用するようになって、操業時間帯にどのような変化がありましたか。

- ・変化は判らない。濡れても良い服でイソに行っていた時と比較すると格段に温かい。服だけでは、真夏でなければ海には入れない。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・時間に変化は無いと思う。ワカメを刈る時期は寒いので5ミリを、夏場のアワビ時期は3ミリのスーツをと言うように使い分ける。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・昔は一日三潜で年間15日、今は一日2潜で年間20日。1潜の時間は1時間。(ウェットスーツ導入との関係は判らない。) 鳥羽市神島62歳 P003
- ・一潜1時間は今も昔も同じだが、寒さが違う。5月の口開け時は5ミリ、気温が高くなると3ミリへと使い分ける。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・変化はない。昔は1日三潜で15日、今は一日二潜で20日に変化しているが、ウェットスーツとの関係は判らない。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・ミカヅキ（3時間）からフタカヅキ（2時間）に短縮された。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・変化なし。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・最初からウェットスーツなので変化なし。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・最初からウェットスーツなので変化なし。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・最初からウェットスーツであるので変化なし。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・白いシャツの時は1時間潜っているのが限界だったが、今は2時間でも平気になった。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・白のイソギだったら1時間潜るのは無理だったが、ウェットスーツになって2時間でも平気になった。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・白いイソギの時は1時間が限界だったが、ウェットスーツのなっからは2じかんでも平気になった。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・ウェットスーツになって、2時間でも連続して潜ってられるようになった。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・特にない。ウェットスーツを着ると、寒くない。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・操業時間は、組合で決められているので変わらない。寒くなくなった。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・特にない。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・時間はかわらないが、寒くなくなった。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・操業時間（1時間半）は変化ないが、1潜りをする時間が長くなった。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・寒くないので長く潜れる。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・長時間潜れるし、資源が獲れる。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・体が暖かいので漁ができる。イソギでは寒くなってきて、体の動きがわるくなり、漁ができなくなってくる。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・長くなった。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・一昨日から今まで2時間だったのが1時間半になった。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・ない。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・少し短くなった。体がかたれない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・30分くらい短くなった。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・昔は船にカマドもなく寒くて震えていた。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・分かりません。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・時間は決まっています。1日3時間。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・寒くないので、何度も長く潜る。仕事ができる。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・長時間操業ができる。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・長く入れる事。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・操業時間が短くなった。以前は日時に長い時間潜っていた。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・時間が短くなった。ウェットスーツを着る前はずいぶん長かった。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・潜る時間(乱獲防止のため短くなった) 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・昔は白いイソギをきていた頃、アサカヅキ、ナカカヅキ、ユカヅキの1日3回。ウェットスーツをきるようになってから、午前1時間、午後1時間の1日2回。(夏は1時間半) 志摩市志摩町御座63歳 P037

- ・ウェットスーツを着る時は、決められている。3月、4月（50分間）なまりを腰につける。ヒレもつける。白いイソギの時代には、なまりはつけない。寒くなるまで潜っていた。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・最初からウェットスーツなので、特にない。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・時代と共に、いいものが出てくる。海女を始めた時からウェットスーツ使用。ウェットを着ていると寒くない。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・ヒトクラあたりの実働時間が10分ほど伸びた。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・昭和60年代には着られるようになったが、引退するまで、ウェットスーツを着用しなかった。 志摩市大王町畔名85歳 P046

39呪符（ドーマン、セーマン）の扱いは、どのように変化しましたか。

- ・借りたイソギで初めて目にした。意味を知らないので付けなくても気にならない。八代神社のお守りは道具を入れる鞆に付ける。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・変化は判らないが、祖母がサメで命を落とした事もあり、呪符を付けたハチマキは身に付けるし、メガネ箱にも呪符は入れてある。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・「ノセノセ」の頃は呪符を縫った「カミアゲ」を付けていたが、徒人になってからは付けていない。ノミには自分の名前を書く。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・ノミには付けない。呪符を付けた手拭いは祭事するときだけ。伊雑宮の手拭いは手放さない。最近はあまり気かけない人もいる。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・付けていない。八代神社で毎年行う祈願祭で配られる木の「お札」をイソメガネに付ける。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・現在は八代神社の手拭いで代用している。神社の御守札をメガネ箱に納めている。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・ドーマン、セーマンは付けていない。帽子には青峰さんの印を押してもらっている。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・帽子に書いている。母が帽子に青峰さんの印も押してきてもらっている。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・帽子にかく。帽子に青峰さんの印も押してもらっている。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・帽子に書いている。青峰さんに海女たちが祈祷してもらいにいくときに、祈祷代出してあずけて印押してもらっている。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・昔は頭にかぶる手ぬぐいや白いシャツにつけていたが、今は帽子にかいている。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・昔は頭にかぶる手ぬぐいやシャツに書いていたが、今は帽子につける。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・頭にかぶる手ぬぐいやイソギにつけていたが、今は帽子にかいている。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・昔は頭にかぶる手ぬぐいやシャツの下につけていた。今は帽子にかいている。青峰さんの印も押す。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・変化なし。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・変化していない。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・変化していない。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・変わらない。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・変化していない。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・手ぬぐいの前の部分につける。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・手ぬぐいに付ける。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・イソギの頃はテヌグイに書いていた。ウェットスーツは、頭の白い部分にマジックで書いている。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・黒のウェットスーツの帽子になったので使っていない。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・祖母の時代（S20年代）はニシでコシマキ、テヌグイにつけていたが、自分らはしない。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・ない。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・特にない。帽子をかぶるようになった。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・変化はない。帽子をかぶるようになった。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・黒色で縫いつけてある。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・不使用。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・使用していない。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・当初は3年はしていた。しなくなった。 志摩市大王町波切73歳 P033

- ・頭に巻く日本手ぬぐいに黒糸で縫いつけている。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・むかしはニシガイの生殖腺で書いたが、今は黒糸で縫いつける。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・志摩にはなかったはず。鳥羽にだけある。鳥羽の相差から志摩へ嫁いだ海女さんがマークをもちこんだ。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・していない。他の海女は帽子に星印をマジックで書いている人もいる。昔の人はニシコのおしりの液で書いていたらしい。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・ドーマン、セーマンは聞いて知っているけど、しない。したことはない。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・星マークを帽子（ウェットスーツの上や下にかぶる帽子のこと）の前の部分にマジックで書いています。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・手拭いを使っていた時期は呪符をつけたが、帽子を被るようになってやめた。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・手拭いに書いていたが、ウェットスーツになって、やらなくなった。 志摩市大王町畔名85歳 P046

○漁具

40潜水漁にはどのような漁具を、どのくらい用いますか。

- ・スーツ、メガネ、タンポ、タコカギ。浅い所なので足ヒレは使わない 鳥羽市神島39歳 P001
- ・スーツ、重り、足ヒレ、タコカギ2本、コノミ、タンポ。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・タコカギ、コノミ、磯メガネ、タンポ、スーツ、アシヒレ、オモリ 鳥羽市神島62歳 P003
- ・ドンボリ、磯メガネ、マエスカリ、オオノミ。20年以上使用。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・スーツ、足ヒレ、バンド、メガネ、タンポ、タコカギ、コノミ、ヨモギ 鳥羽市神島77歳 P005
- ・コノミとタコカギを主に用いる。オヤノミも所有するがほとんど用いない。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・パールや金づちは市販のもの、なくすまで。イソモノオコシは家の物使う。コノミは持っていない。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・タンポと網は主人に作ってもら。10年ぐらい使う。イソモノオコシはなくすまで。メガネは市販のもの4~5年使う。(サビてくる。ゴム硬くなる。) 鳥羽市答志46歳 P007
- ・タンポと袋→おじいさんに作ってもら。10年ぐらい使う。イソモノオコシはなくすまで。メガネは市販のもの、4~5年使う。(サビてきたり、ゴム硬くなる) 鳥羽市答志48歳 P008
- ・イソモノオコシ・コノミ→なくすまで。メガネは 鳥羽市石鏡のものをかう。(ゴムがちがう) 10年使っている。タンポと網袋→なおしなおしで20年ぐらい。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・スカリは1つ作ると10年ぐらい使う。イソモノオコシやコノミはなくすまで。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・イソオコシ2本、コノミ→なくすまで用いる。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・スカリは10年ぐらい、イソモノオコシやコノミはなくすまで。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・船人は腰にスカリをつける。自分で作る10年ぐらい使う。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・かんぎのみ2つ、メガネ、ウェイト、フィン、タンポ、ふんどう。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・ノミ、カンギノミ。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・カンギノミ2ヶ、ノミ1ヶ、タンポ。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・カギノミ1つ。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・カンギノミ1つ、ノミ1つ。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・ノミ (カギノミ、コノミ)、たんぼ (スカリと重りとロープ付)。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・コノミ、カギノミ。タンポとスカリ。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・ノミとスカリの付いたタンポ。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・ノミ・小ノミ・中ノミの三種を使う。メガネ。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・カギノミ (アワビ、サザエ、魚突き)、カマ、軍手 (海藻刈)。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・3~4本。ノミ、中ノミ、エノミ。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・ノミ3種 (柄のみ、中、大)。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・ノミ。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・ノミ3丁。(柄ノミ、中、小) 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・3本。昔は1本。ノミ、中ノミ、エノミ。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・のみ、2本。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・ノミ。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・1本のみ。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・カマ、オケノミ。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・ノミ、寸法、スカリ。 志摩市大王町波切73歳 P033

- ・手ノミ、カギノミ2〜3種類、軍手 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・ノミを数種類。以前はヒシ(モリ)は良かったが今は禁止。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・ノミの長さの違うものを数種類。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・フクダメを取るのにたくさん持っている。10丁以上持っている。潜る時は3丁持っている。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・主にノミ→自分の使いやすい長さを使う。減ったら作り直す。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・たとえばアワビ用なら、ノミ←(長い)、コノミ←(短い)。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・イソノミ2本、コノミ2本。冬磯は短いイソノミ1本 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・イソノミは腰に差し手潜った。 志摩市大王町畔名85歳 P046

41 漁獲物により、漁具の使い分けがありますか。また、その理由はあるのですか。

- ・アワビやガンゼ等はタコカギ。サザエは手で拾う事が多い。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・アワビとイタボはタコカギとコノミ。サザエ、イノカイ、ホラ貝は素手とタコカギ。コノミは使い方に特別の技術がいる。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・アワビもサザエも使うのは主にタコカギ。サザエは素手で採る場合もある。アワビの居る場所によってコノミを使う。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・採るのはアワビとサザエ。使用するのはオオノミだけ。アワビはノミ、サザエは素手。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・採るのはアワビとサザエ。使用するのは主にタコカギ。たまにコノミ。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・アワビにはコノミを使用、サザエは素手かタコカギを使用。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・岩ガキ→カナヅチ、パール。アワビ、ウニ→イソモノオコシ。マンメヤトコブシ、イノケは手でとる。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・狭い穴のアワビをとるときはコノミを使う。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・アワビが狭い穴にいるときはコノミを使う。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・アワビやトコブシ→イソモノオコシの平たい部分。ウニなどは先端のカギの部分、コノミは狭い穴のアワビをとるとき。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・アワビはイソモノオコシの平らな部分、ウニやカゼなどはイソモノオコシのかぎの部分、コノミは狭い穴にいるアワビをとる時。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・イタボ(岩ガキ)は、イソモノオコシかカキオコシ(イソモノオコシの太いもの)、アワビはイソモノオコシのカギの部分を使う。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・イワガキはカキおこしでとる。アワビはイソモノオコシの平らな部分、ウニやガゼなどは先のかぎの部分、コノミは狭い穴のアワビをとるとき。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・アワビはイソモノオコシを使う。コノミは穴の狭いところのアワビをとるのに使う。ウニなどはイソモノオコシでとる。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・ある。アワビ、サザエのいる場所によって、使いやすいのをつかう。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・場所によって使いわける。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・使いわける。アワビをきずつけないようにするため。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・アワビやサザエのいる場所によって、使いわけたりもする。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・漁獲物というより場所により使い分ける。目で見える場所→カンギノミ、手でさぐる場所→ノミ。ノミは手のひらにのせて、押して使う。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・アワビのいる場所で使い分ける。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・場所で使い分ける。岩の下は手さぐりとコノミ。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・ない。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・小ノミは見えない所のさぐり捕りに使う。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・小ノミはさぐり漁に使うが、ほとんど今は使わない。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・ある。アワビの居場所や石や岩の隙間に合わせて使い分ける。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・ある。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・ある。アワビの居場所で使い分ける。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・ある。貝(アワビ)に傷をつけないため。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・ある。アワビの居場所で石や岩の隙間に合わせて使い分ける。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・短い、長い。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・フクダメはノミの先。アワビは平らいところ。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・ない。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・アワビはノミ。ワカメ、アラメはカマ。 志摩市大王町波切71歳 P032

- ・ない。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・アワビは普通の手ノミ、カギノミで採るがほかは手の場合も多い。以前はヒシ(もり)は許可されていたが、今は禁止。だから、魚やタコを採る時もノミの曲がった部分で、急所を突く。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・ノミはもともとアワビを取るようにならされている。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・アワビ等のいる場所によって使う分ける。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・アワビ、サザエ、なまこはノミ。魚は二本ヒシ。ワカメはカマ(ノコギリカマ)。それぞれ使いやすいもの。てんぐさは手でむしる。ヒジキ、ワカメはカマ。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・アワビ→石の下にいたりする時、どこにいるかで、ノミの大きさを変える。奥にいる時(長ノミ)近くにいる時(中くらいのノミ) 石の下にいる時(コノミ) 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・ウニ・・・長いノミ、アワビ・・・ノミ、サザエ・・・手でとったり波がある時はノミを使う。トコブシ・・・ノミ、アラメキリは手で獲る。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・獲りやすいところの場合→短いノミ。獲りにくいところの場合→長いノミ。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・みてとるものと、手探りで獲るものとの使い分け。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・クロアワビを採るときにはコノミを用いた。 志摩市大王町畔名85歳 P046

42漁具のどの部分を使って、漁獲物を採集しますか。(アワビ、サザエ、海草等)

- ・アワビはタコカギの平たい方で、ガンゼは鉤の方で岩からはがして手で拾う。サザエは素手の時が多い。若布・ヒジキは鎌を使う。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・鮑はタコカギの平な方で、先端が身に触れないように力を入れる。若布の屑を掻き出して栄螺を採る時は鉤の方を使用。海藻は鎌。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・アワビはタコカギの平たくなつた方でおこす。反対側のカギ状になつた方で岩場の隙間などに居るサザエやウニを掻き出す。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・オオノミは反つた方を手の内側に向けて握る。アワビの居る場所によって採り方は色々。サザエは手で直接取る。海藻は鎌。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・使うのはタコカギ。アワビは平たくなつた側でおこす。サザエは手でも拾うが岩の隙間の物は鉤状の方で掻き出す。海藻は鎌。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・コノミでアワビを採る場合は、コノミを掌に納めるようにして持ち、アワビの吸着状態に応じて、手首や肘、肩を支点にして剥がし採る。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・岩ガキはカナヅチで、隅を割って、スキマにパールを入れてたたく。アワビはイソモノオコシの平ら部分、サザエは先のまがつたところ。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・アワビはイソモノオコシの平らな部分、ヒジキはカマで刈る。狭いすき間のサザエやウニは先のひっかけ部分。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・アワビはイソモノオコシの平たい部分を使う。ウニはイソモノオコシのかぎの部分使う。ヒジキはカマで刈る。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・アワビやトコブシ→イソモノオコシの平たい部分。ウニなどは先端のカギの部分、コノミは狭い穴のアワビとるとき。ヒジキは鎌で刈る。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・アワビはイソモノオコシの平らな部分、ウニやカゼなどはイソモノオコシのかぎの部分、コノミは狭い穴にいるアワビをとる時。イタボ(イワガキ)は、カキおこし(イソモノオコシの太いもの)を使う。海草はカマで刈る。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・アワビはイソモノオコシの平たいところを使う。ウニやガゼは、イソモノオコシのカギの部分を使う。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・アワビはイソモノオコシの平らな部分、ウニやガゼなどは先のかぎの部分、コノミは狭い穴のアワビとるとき。海草はカマで刈る。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・アワビはイソモノオコシの平らな部分、ウニ、ガゼは、まがつている部分を使う。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・アワビ・・・のみ、サザエ・・・かんぎ、海草・・・かま。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・アワビ→ノミ。サザエ→手かカンギノミ。海草→かま、手。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・アワビは平たいところ、サザエは尖つたところ。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・アワビは平たいところ、サザエは尖つたところ。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・アワビは平たいところ、サザエは尖つたところ。海草はカマ。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・先の部分。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・先の部分。 鳥羽市石鏡75歳 P20

- ・ノミの両側でアワビ(はがす)サザエ、ナマコ(ひっかける)。海草は小ガマ。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・ふつうノミの平たい部分でおこす。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・自分はずべてカギ先で、しゃくりはがす方法で捕っている。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・絵で表記(サザエは先端、アワビはその反対側) 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・柄のみを使ってアワビをとる。傷がつかない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・先がサザエ、平らな所アワビ。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・柄ノミを使う。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・絵で表記(サザエは先端、アワビは反対側) 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・サザエなどは、のみの先。アワビは、のみのしり。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・絵で表記(サザエは先端、アワビは反対側) 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・アワビはノミ。ワカメ、アラメ、ヒジキはカマ。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・アワビは平、サザエはカギ。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・要る場所によってさまざまだが、アワビはカギノミの平たい部分。サザエは手が多い。届きにくい所などはノミのかぎのところで手繰り寄せる。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・アワビ・・・ノミのかぎの部分と平たい部分。サザエ・・・ノミのかぎの部分魚、たこ・・・カギの部分で引っかけたり、つついたりして取る。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・時と場合による。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・カマ(ノコギリカマ)の、ノミとカギの間に黄のテープを巻く。(海の底におちた時わかりやすい) ウェットが切れないように。やぶらないように。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・アワビ(ノミの平の部分)→アワビはノミの先、使わない。サザエ(手やノミの先でとる)。ヒジキはカマ(ノコギリガマ)で取る。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・サザエはノミのつがった側で。アワビは平たいところで。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・コノミについては、手首や肘や肩などを支点にしてアワビを剥がし採る。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・主にアワビを剥がし採るのにノミを用いた。サザエは手づかみするが、石の間にいるサザエをかきだしたりするときにはノミを用いた。 志摩市大王町畔名85歳 P046

43各道具の素材は、どのようなものですか。

- ・ステンで新調したタコカギは紛失。貰い物の今使っているのは鉄。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・タコカギ、コノミは共に鉄。メガネは二つ折れのもの。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・タコカギ、コノミとも鉄、スカリは発砲スチロールとナイロン。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・ドンボリは鉛、オオノミは鉄、スカリはナイロン、メガネはゴム。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・タコカギはステンレスを使用。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・鉄 鳥羽市神島66歳 P044
- ・鉄製。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・鉄製のもの。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・鉄製のもの。(ステンレス製も持っているがすべるので使わない) 鳥羽市答志48歳 P008
- ・イソモノオコシ・コノミ→鉄製。スカリ、網袋はナイロン製。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・ステンレス製のものも持っているがすべるので使わない。鉄製のもの。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・ステンレスのものもあるが、すべるので鉄製のもの使う。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・鉄製(ステンレス製は使わない) 鳥羽市答志81歳 P012
- ・鉄製のもの、網の糸はナイロン製。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・鉄。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・鉄、ステンレス。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・鉄。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・鉄。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・鉄。ステンレス。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・鉄とステンレス。鉄の方が重みがあり、手にそぐう。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・鉄とステンレス。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・鉄。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・鉄。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・カギノミ(鉄で先がハガネ)、イキカゴ(竹)、スカリ(ナイロン)。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・先は刃金、ステンレス。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・鉄、ステンレスが多くなった。しかし、すべりやすい。 志摩市阿児町志島66歳 P025

- ・ステンレス。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・金属。ステンレス製が大事である。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・先は刃金、ステンレス。昔は鉄製でしたが、さびる。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・ステンレス。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・アルミニウム、鉄。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・鉄からステンレス。先は鉄、グリップに糸を巻く。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・ステンレス、鉄。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・ステンレスに鉄。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・ノミの場合、以前は鉄。今はステンレス製が多い。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・鉄からステンレスに変わった。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・ステンレス。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・①ステンレス②ハガネ(ノミ)③鉄。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・ノミは(鉄、ステンレス)。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・ステンレスも持っているが、鉄が多い。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・鉄(ステンレスを使っていたが、よく海中に落としてしまう為、コストがかからない鉄にしました)。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・イソノミはステンレスのものに変えた。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・ノミは鉄製だった、ブイは発砲スチロールをくり抜いて作った。 志摩市大王町畔名85歳 P046

44道具の入手方法は、昔と変わりましたか。また、どのように入手していますか。

- ・変化はわからない。スーツ、ヒレ、オモリ、メガネ、タコカギ等使っている道具は全て引退した海女達や母から貰った物。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・購入先が変わった。スーツは 鳥羽市石鏡から豊橋へ。ゴムが3ミリと5ミリの2種類に。メガネは 鳥羽市石鏡のオタフクから業者の二つ折れに。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・購入先は変化した。ノミ、メガネ等昔は 鳥羽市石鏡。今は東京や島内へ注文。タンポは自分達で作る。ノミ、メガネ、ウェットスーツは購入。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・変わっていない。ウェットスーツ、磯メガネは 鳥羽市石鏡と神島に来た業者から購入。ノミは 鳥羽市石鏡。寸法はドンボリ用と言えばそれで判る。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・購入する漁具、自分等で作る漁具の内容はほとんど変わっていない。購入先は 鳥羽市石鏡から名古屋等に変わってきた。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・個人購入で、従前どおり。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・わからない。メガネ、バール、金づちは市販のもの。タンポと網袋は義父が作ってくれる。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・イソモノオコシは 鳥羽市石鏡の人が売りにきたものを母が買って、それをもらう。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・鳥羽市石鏡の人が売りにきたものを母が買い、それをわけてもらう。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・変わっていない。 鳥羽市石鏡に注文して買う。腰につけるナマリのオモリは釣具屋で買う。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・昔は答志のカジヤに作ってもらっていたが、今は 鳥羽市石鏡の人が売りにきたものを買う。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・昔は答志のカジヤが作ったり、店で売っていたが、今は、 鳥羽市石鏡の人が売りにきてくれるので、それを買う。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・昔は答志のカジヤや店などで買っていたが、今は 鳥羽市石鏡の人のものを買う。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・昔は答志のカジヤで作ったものや店屋のもの買った。今は 鳥羽市石鏡の人に注文して買う。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・昔から家にあった(代々使われている)。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・あまり変わらない。店でかう(組合や相差の店)。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・変わらない。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・昔のものを使っている。購入は組合か、杉田商店(鳥羽市菅島の店や)。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・組合や 鳥羽市菅島の店屋(スギタ商店)。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・鉄は 鳥羽市石鏡のかじ屋、ステンレスはジロサかじ屋。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・鳥羽市石鏡のかじ屋。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・昔と同じ 鳥羽市石鏡のシロヤマ鉄工所製のもの。 鳥羽市石鏡71歳 P021

- ・地元の鍛冶屋に売っている。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・地元の鍛冶屋、職人が作ったものだったが、今は組合が磯部の鉄工所などから仕入れたもの。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・変わらない。カジヤ志島の「田畑鍛屋」コメリでも売っているが真っすぐで使いにくいそうです。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・変わらない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・カジヤ。志島の「田畑カジヤ」で入手。 志摩市阿児町志島71歳 P026
- ・変わっていない。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・カジヤ。志島の「田畑鍛屋」80才、跡継ぎがないので困る。コメリでも売っている。使いにくいそうです。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・手作り、注文。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・先輩海女さんから頂きました。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・海女を始めた時に譲ってもらったりして、いつも船に5本以上は準備してある。たくさんもっているなので購入していない。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・漁具店にて。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・変わっていない。かじ屋で作ってもらいます。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・手入れするものはウェットスーツ、メガネが主。磯メガネは以前は街のメガネ屋で取り扱っていたが、今はない。ウェットスーツは1年に1回よその業者が旅館などで出張の修理や販売に来る。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・鍛冶屋に頼む 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・鍛冶屋。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・変わらない。専門のかじやさんへ自分の好みの道具を作ってもらう。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・昔は木の桶。今はタンポ→発砲スチロール。アイロンでまるみをつける→ビニールをまく→あみを切つてまわす→ゴムつける→ひもをさしたりする。ノミは越賀の鍛冶屋（鶴丹谷さん） 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・ノミ屋さん。越賀にもあるが、布施田にもある。浅野鉄鋼所。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・越賀の鍛冶屋（鶴丹谷さん）でノミを購入している。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・イソノミは、以前は安乗の鍛冶屋が廃業したため、現在は磯部の鍛冶屋から購入している。 志摩市阿児町安乗61歳 P045

45道具を、自分あるいは注文して製作していますか。製作している場合、どのように作っていますか。

- ・自分で購入したのはスーツと同素材の帽子だけ。自分では作ることは出来ない。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・スーツはオーダーメイドで注文。メガネは既製品を購入。タンポは父が製作。タコカギ、コノミは母、祖母の物を使用。メガネ箱は大工 鳥羽市神島44歳 P002
- ・スーツは採寸、メガネは既成の物を東京の業者に、タコカギは 鳥羽市石鏡、コノミは神島の鍛冶屋に注文。タンポは自分たちでつくる。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・マエスカリは海女の身体に合わせて自分達で作る。メガネ箱は、神島に住む兄弟の大工に依頼して作製。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・メガネとスーツは 鳥羽市石鏡。タコカギは名古屋で作る。昔は海女の道具は全て 鳥羽市石鏡から購入。メガネ箱やタンポは主人が作る。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・コノミの場合は、掌の大きさに合わせて作ってもらう。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・ウェットスーツは 鳥羽市石鏡で注文して製作してもらう。他は市販のものや義父母に作ってもらう。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・ない。タンポとそれにつける網は主人に作ってもらう。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・ない。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・鳥羽市石鏡で注文して買っている。コノミは答志のカジヤに長さ調整して作ってもらう。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・イソモノオコシはいろいろな長さのものを持ってきてくれるので、自分にあった長さのものを買う。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・いろいろな長さのものを持ってきてくれるので、自分に合うものを買う。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・いろいろな長さのものを持ってきてくれるので、自分に合うものを買う。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・イソモノオコシはいろいろな長さを持ってきてくれるので、自分に合ったものを買う。ウェットスーツは注文して作る。 鳥羽市答志82歳 P013

- ・していない。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・していない。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・していない。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・売っているものを買う。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・いつものしないが、今年度は志摩でつくってもらった。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・既製品を買う。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・既製のものを買う。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・既製のもの。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・鍛冶屋まかせ。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・カギノミの先がつぶれると磯部の鍛冶屋で光らしてもらい、修理する。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・自分に合わせて使いやすい様に曲げてもらう。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・ノミは志島のカジャにたのむ。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・志島のカジャに注文して作ってもらう。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・自分の使いやすい様に、たたいて曲げてもらう。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・はい。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・自分に合った磯めがね。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・同上 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・ノミは越賀地区に鍛冶屋があって製作してもらう。鍛冶屋で作ってもらうと値段は張るが曲がった部分の強度が断然違う。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・鍛冶屋に頼む 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・鍛冶屋。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・自分にあったサイズを注文。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・ノミは鍛冶屋で売っているものを買う。従姉妹やおばさんにもらう。海女をやめた人にもらったりして、うち直す。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・注文ではなく、自分で選ぶ。自分にあうサイズを選ぶ。売っている物から選ぶ。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・注文している。自分の使い勝手がいいものを選ぶ。 志摩市志摩町御座54歳 P040

46道具の使い方は、変化しましたか。

- ・わからない。道具もあるが、いろんな人がくれるので道具だけは増えてきた。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・特に変化は無いが、スーツは季節により使い分けるようになった。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・変化していない。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・海女の命綱は手で手繰り上げていたのが、機械に代わった。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・鮑が減少。栄螺を採る為にオオマミからタコカギに変更した。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・変化していない。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・変化していない。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・変わらない。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・変わらない。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・ない。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・ない 鳥羽市答志71歳 P010
- ・ない。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・変化なし 鳥羽市答志81歳 P012
- ・変化はない。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・していない。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・していない。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・していない。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・変化しない。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・していない。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・なし。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・変化していない。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・変わらない。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・しない。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・しない。 鳥羽市相差67歳 P022

- ・していない。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・しない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・磯桶から、網のスカリに変化。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・していない。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・いいえ。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・変わらないと思います。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・変化していない。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・変わりはありませんが、磯めがねに度が入りました。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・しない。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・変化していない。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・変化していない。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・変わらない。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・かぎのみ変わらず。道具、全く変わっていない。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・変化していない。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・変わらない。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・変化していない。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・ステンレス製のイソノミに変えて重量が重くなったが、現在はそれに慣れてしまった。 志摩市阿児町安乗61歳 P045

47道具へどのような加工を施していますか、また、加工は自分で行っていますか、注文していますか。

- ・貰った時のままで使っている。ただ新調したタコカギを紛失した後は落としても判るように黄色のビニールテープを巻いている。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・ウェットスーツは、水中で脱ぎやすいように斜めにチャックをつけるなど注文するときに指示をする。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・特別な加工はしない。購入した物をそのまま使用する 鳥羽市神島62歳 P003
- ・特別な加工はしない。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・タコカギは滑らないように手で握る部分に糸を巻く。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・ノミの滑り止めのために、握る部分に自分で紐を巻いている。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・自分はしていない。義父母や主人がしてくれる。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・サビてくるととぐ。注文はしていない。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・イソモノオコシはサビてきたらとぐが、ふだんはしない。タンポと袋はおじいさんが加工して作ってくれる。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・上がったときにトイでいる。コノミは自分に合うように注文して作ってもらう。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・自分でとぐ（イソモノオコシやコノミなど）。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・自分でとぐ。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・自分でとぐ。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・自分でとぐ。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・白や黄のペンキを塗ったり、テープを巻いたりして、さび止め、また目立つようにしている。自分でする。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・していない。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・ペンキでぬる。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・目じるしとなるように、テープ（カラーテープ、白色など）をまく。テープを巻くと、その部分だけが酸化し細くなってしまう。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・していない。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・していない。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・加工はしない。名前を書いたりテープを貼って目印を付ける。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・していない。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・ノミの長さを注文して作ってもらう。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・先がつぶれてくるとなおす。→磯部（カジヤ）。又、夫に削ってもらうこともある。ヤスリ削り。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・1ヶ月に1回、先が傷むので手入れをしている。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・ノミはカジヤ、他は組合など。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・スカリの網は自分で作ることがある。他はほとんど購入。 志摩市阿児町志島75歳 P027

- ・1ヵ月に1回手入れをする。先が傷む。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・注文しています。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・ノミの先は尖らせませす。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・グリップは、にぎりやすく、すべらない様に糸を巻いている。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・ほとんど主人が買って来ます。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・普通で注文しています。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・網の袋は自分でナイロン糸で編む。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・加工を行うことは少ないが、するときには鍛冶屋に注文する。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・名前を刻むなど注文して加工してもらう。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・1年に1回、かじやさんで手入れしてもらう。注文している。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・タンポは自分で作る。(誰かのを見て作った) ノミは鍛冶屋さんに直してもらう。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・ノミ屋さんでもらっている。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・自分ではしていないが、1年使えばなしの後、1年に1回位鍛冶屋さんにといでもらう。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・ノミに名前を彫ってもらった。 志摩市大王町畔名85歳 P046

48道具にどのような手入れを施していますか、また、手入れは自分で行っていますか、注文していますか。

- ・水洗いして乾燥させる。ペンキ等は塗らない。古くなったウェットスーツは業者に頼んで直してもらった。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・漁期終了後ノミ類は錆を落とし、白色のペンキを塗る。水中での紛失防止。他の漁具は水洗いして乾燥して保存。身内で手入れをする 鳥羽市神島44歳 P002
- ・錆を落として、黄色のスプレーを吹いておく。タコカギが折れた場合は新しい物を購入する 鳥羽市神島62歳 P003
- ・水洗い。漁が終わるとノミは、ペーパーをかけて錆を落としてペンキを塗っておく。ノミの柄が割れたりすると修理は大工に頼む。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・漁が終わるとコノミは水洗いして錆止めを塗る。タコカギはステンレスなので水洗い。スーツが破れると 鳥羽市石鏡へ修理に出す。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・塩抜きをしている。刃先はサンダーをかけている。漁終いの時期には全体にペンキを塗っておく。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・漁期がおわれば、潮ぬきして、サビ止めなど義父がしてくれる。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・おじいさんがといで、サビどめにマジックをぬってくれてから、しまっておく。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・海女漁がおわると、おじいさんがといでサビどめにマジックをぬってしまっておく。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・袋網などはつくろっている。イソモノオコシは漁期おわったら、主人にサビどめのラッカーなどぬってもらっている。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・漁期がおわると砥石でといで、サビ止めてマジックかラッカーぬってしまっておく。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・漁が終わったら、砥石でとぐ。サビが出ないようにラッカーかマジックをぬっておく。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・漁期が終わったら、といで、サビどめに、ラッカーかマジックをぬっておく。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・漁期が終わったら、潮ぬきしてといで、サビ止めのラッカーぬってしまう。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・していない。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・あまりしてない。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・水洗いをして、乾かしてしまう。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・その年の口明けが終わったあとは、テープをはがし、きれいに水洗いをする。よく乾かしてペンキをぬって、しまっておく。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・海の中に落ちてわかるように白いペンキをぬる。白いテープも巻く。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・サビできたら石で砥ぐ。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・使えばなし。3~4日漁に出ないと砥石で砥ぐ。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・使いはじめに砥ぐ。普段は船に積んだまま。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・ノミの先を鍛冶屋で「サキガケ」といって直してもらう。 鳥羽市国崎63歳 P023

- ・カギノミは常に使っているのでサビないので手入れしない。ほかの道具手入れは自分でしている。鳥羽市相差67歳 P022
- ・カジヤさんに頼んでいる。志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・スカリの網などは自分でつくることもある。志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・ノミは漁が終わってから、かじやで修理。先端部分を。志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・志島の「田畑鍛屋」は安乗や甲賀の方も注文にくる程、腕がよいそうです。志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・注文しています。志摩市大王町波切42歳 P029
- ・鍛冶屋に行きます。志摩市大王町波切57歳 P030
- ・昔から波切のカジヤ「田畑さん」に1年1回手入れをしてもらっている。志摩市大王町波切64歳 P031
- ・自分が出来ない物は主人がやってくれます。志摩市大王町波切71歳 P032
- ・サビ取り、カギ先の手入れ。自分で。志摩市大王町波切73歳 P033
- ・浮輪の上にチューブでゴムで止める部分を作って常時使用しない道具はそこへ挿しておく。志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・特にしない。志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・注文。志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・ノミの先はヤスリで研ぐけど、今年はフクダメが取れなかった（少なかった）ので、研がなかった。アワビはノミの先は使わない。志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・時々、軽く研ぐ。そのへんで（どこでも）ギザギザをなくす為。※砥石で研いでいる人もいる。志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・自分ではしていない。鍛冶屋さんにやってもらう。志摩市志摩町御座54歳 P040

○操業方法

49漁をする時に、道具はどのように持っていますか。

- ・使うのはタコカギだけ。使い方が正しいのか自分でも判らない。鳥羽市神島39歳 P001
- ・タコカギは右手に持ち、コノミは腰に差さずスカリに入れる。鳥羽市神島44歳 P002
- ・タコカギは右手で、コノミは使う時にスカリから取り出して使用。鳥羽市神島62歳 P003
- ・マエスカリを腰に付け、ノミは海底に着くまで腰にさす。鳥羽市神島63歳 P004
- ・タコカギは腰に差すとスーツを傷つけるため常に手で持つ。鳥羽市神島77歳 P005
- ・腰に差しておく。鳥羽市神島66歳 P044
- ・船に積んでいく。タンポも船にしばっておく。鳥羽市答志31歳 P006
- ・タンポのゴムヒモにイソモノオコシはさし込んで持っていく。鳥羽市答志46歳 P007
- ・イソモノオコシ、コノミはタンポのゴムヒモにさし込んで持っていく。鳥羽市答志48歳 P008
- ・タンポのゴムにさして持っていく。鳥羽市答志49歳 P009
- ・船につんでいく。鳥羽市答志71歳 P010
- ・船につんでいく。潜るときはイソモノオコシは外にむけてもぐる。鳥羽市答志79歳 P011
- ・船で持っていく。鳥羽市答志81歳 P012
- ・船につんで、タンポのゴムヒモにさして持っていく。鳥羽市答志82歳 P013
- ・手にもって潜る。右ききなので、左手にもって、右手では水をかいてもぐる。鳥羽市菅島45歳 P014
- ・右手にもっている。鳥羽市菅島48歳 P015
- ・右手に持つ。鳥羽市菅島43歳 P016
- ・手で持っている。鳥羽市菅島70歳 P017
- ・右手で持つ。(1つだけ持って潜る) 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・タンポにさして。鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・ノミをタンポの横に刺して持っていく。鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・片手にノミ。鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・手で持つ。タンポンに下がらしてある。鳥羽市国崎63歳 P023
- ・手にカギノミをもって潜る。腰にさすのは舟人海女。鳥羽市相差67歳 P022
- ・タンポに挟む。志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・ノミ3丁を船へ持って行く。柄のみの他は船の上。志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・ノミ3丁を持って船に乗る。志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・タンポに、はさむ。志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・右手ににぎる。志摩市大王町波切42歳 P029

- ・ノミ、タコ引きなど浮輪に結び、使う時は手に持つ。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・網袋の中と腰にさしている。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・手に持っている。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・人それぞれくせがあると思うが、ふつうは利き手にノミ、ほかの手は持たない。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・手で持つ。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・手で持つ。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・たんぼにさいてある。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・ノミを持って潜っていく。タンポにもさしてある。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・タンポに乗せていく。常に2丁～3丁かえのみを持っています。35cmのもあります。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・タンポ（うき）につんでいる。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・腰に差している。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・潜る際には、ノミは手で持って潜った。 志摩市大王町畔名85歳 P046

50潜る時の姿勢はどのような形ですか。また、海上に上がったときの姿勢はどのような形ですか。

- ・潜れない。深場は怖い。足の着く所で足ヒレを付けずに。初めは海藻とかに掴まり頭を浸ける。重りが無いと沈まない事が判った。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・頭から水中へ入る。上がってきたら立ち泳ぎをしながらタンポに掴まって休む。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・頭から潜るが特別な事はしない。海面からは「ミズカガミ」でアワビを探し、潜る準備をする。疲れればタンポに掴まり休む。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・命綱を付け、右手で重りのロープを握り、手足は動かさずに潜る。命綱の合図で引き上げ、船腹に結わえた木の棒に掴まり休む。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・イソメガネで海底を覗き、潜る場所の見当を付けて、タコカギを手に持って頭から潜る。上がった後は立ち泳ぎでタンポにつられる。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・頭部を下にして潜水し、頭部を上にして浮上する。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・頭からさか立ちして潜る。上がったらタンポにつかまって立泳ぎ。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・頭から逆立ちしてもぐる。上がったら、タンポにつかまって立泳ぎする。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・潜るときは、頭から逆立ちしてもぐる。海上に上がったらタンポにつかまって立泳ぎする。疲れたら島の上に立つ。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・逆立ちして頭から潜る。上がったら、タンポにつかまって立泳ぎしている。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・ブドウ持って頭からさか立ちして潜る。上がったら船かタンポにつかまって立ち泳ぎする。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・頭からさか立ちして潜る。船人はカンドウにつかまって潜る。上がったら船かタンポにつかまって立泳ぎする。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・頭からさか立ちになってブドウもって潜る。上がったら船かタンポにつかまって立泳ぎする。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・頭からさか立ちして潜る。上がったらタンポにつかまって立泳ぎする。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・頭が下で、手でかいてもぐる。あがってくるときは、上に何も無いかを確認しながら上を目掛けて頭が上であがってくる。頭が上であがってくる。あがってからは、手でタンポをささえる。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・頭が下で、手と足でこいで潜る。海上に上がった時は、タンポにつかまる。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・頭が下で、足が上になり潜る。タンポにつかまって、やすむ。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・頭が下で、足が上になり潜る。上がってくるときは、上が頭で、足が下となる。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・頭が下で足が上になり、潜る。あがってくる時は、頭が上で足が下。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・すかり付きのタンポにつかまって休む。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・頭から逆立ちで入る。スカリ付きのタンポにしがみついで休む。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・逆さまに、手で水をかいて潜る。潜ることを「回転する」という。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・足ヒレで下に向かって泳ぐ。浮上の時はその逆。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・足ヒレで頭を下に向け海底に向かう。腰からのコシズナをたぐりながらタンポに向かって浮上。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・頭から逆立ちで潜る。 志摩市阿児町志島40歳 P024

- ・逆立ちの体形。スカリをつかんで立ち泳ぎ。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・逆立ちの体形、スカリにつかまって立ち泳ぎ。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・頭から逆立ちで潜る。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・立ち泳ぎ、うきわにつかまる。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・逆立ちのよう。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・逆立ちで潜り、岩場の下をのぞく時は、横になったりする。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・頭を下げて下へ。頭が上に。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・海底(目標とする岩)に向かって真っすぐに潜る。最近潮の流れが早く大変疲れる。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・基本、まっすぐに潜る。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・深いところに潜る時は船につかまる。浅い時は、立ち泳ぎ。疲れている時は、タンポにつかまる。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・さか立ち。頭から潜っていく。タンポにつかまって休憩。徒人は息が切れるとヒレを付けて、割ってしまうことがある。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・海上に上がったときは、タンポに必ずつられます(つかまります)。頭から、さか立ちをして潜ります。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・頭からさか立ちして潜る。上がったらタンポにはつられない(つかまらない)。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・倒立状態で真下に潜るようにしている。頭を上を真上にあがる。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・頭から潜り、頭から上がる。海底に対して垂直に移動するようにした。 志摩市大王町畔名85歳 P046

51潜りに入る前の呼吸の整え方は、どうしていますか。また、海上に上がってきた時の呼吸はどうですか。

- ・顔を水面に付ける直前に大きく息を吸い込む。水中から顔を上げると「ハア」と息を吐き出す。音を出すような事はしない。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・意識して大きく息を吸い込む事はしない。潜る深さによる違いも無い。水中にいる時間で息の出し方は異なる。音は出さない。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・特に意識しない。潜る時に特別大きく息を吸い込むようなこともない。息を吐く時も同じで、音は出さない。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・意識して大きい息を吸うとか吐くとかはしない。あまり意識していない。上がると口を窄めて息を吐くが音は出さない。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・呼吸は意識をした事がない。「ア」と息を吐き出すだけで、音は出さない。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・大きく吸った後潜りにくいとしり吐く。上がった時は普通に吐く。「ア」という時もある。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・アビをみつけたら、何回も深呼吸して潜る。上がってきたら「ア」と大きく息を吐く。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・アビを見つけた時は何回か深呼吸してもぐる。海上に上がってきた時は「ア」と息を吐く。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・深呼吸して潜るが、あまり吸いすぎると潜りにくいので、潜りかけの時に少し吐く。上がる時は息のこして普通に吐く。回転、早く潜るように。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・自分の体調に合わせて息を吸う。上がったら「ア」といって大きく吐く。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・潜る前は、おもいきり息吸う。自分の体調に合わせて吸う。体調悪いと息続かない。クーラーはさけている。上がってきたときは「ア」といって大きく吐く。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・深呼吸をして潜る。(2回ぐらい) 上がってきた時は「ア」といって大きく吐く。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・深呼吸して潜る。上がってしてから「ア」といって吐く。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・自然な深呼吸をする。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・吸って吐いてを何回かくりかえし、吸って潜る。潜っている時は息を止めている場合が多く、上がったとき、息があらければ、何回かくり返し息を整える。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・普段より息を長くはく。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・「フッ」とはいてから息を止めてもぐる。深い所へいく時は、と中で鼻から息をぬく。あがってきた時は「フッ」と一息する。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・潜りに入る前は、大きく息をすう。潜りながら息をはき、体の中で息をすい、上にあがってから、は

- く。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・上がってすぐ、ひと息声を出す。その後ゆっくり吐くと、いそぶえになる。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・上がった時、声を出すと楽。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・あがってきたとき、フーッと吹く。(磯笛) 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・自然にイソブエが出てくる。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・深呼吸すると出るイソブエをして潜水して、上がってくるとまたイソブエを吹く。そうすると楽になる。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・上がってきた時は苦しくて「ハアー」という。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・上がってきたとき、アーと大声をだす。磯笛は吹かない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・磯笛は吹かない。アーと大声を出す。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・上がってきた時は苦しいので「ハアー」という。おなかから息を吐く。磯笛が出来るのは1人になってしまったそうです。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・いつもと同じ。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・深呼吸。息を整える。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・特にないが必死なので「アー」という感じ。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・気を落ちつかせるだけです。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・数回呼吸をして整える。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・大きく吸っても潜るが、吐きだすときに一気にしない。(磯笛は一気に吐かないから出る、上がった時には鳴咽が漏れる=調査員注) 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・大きく吸ってから潜る。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・その時の体調によって、口呼吸。苦しい時(過呼吸)は、「ハッハッハッハッ」とする。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・海上に上がると「アーッ」という。磯笛する。自然に身についた。苦しい時、大きい声を出す。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・磯笛はならさない。海上に上がった時、「あ〜っ」と声を出す。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・深いところには行かないので、ふ〜っと吸うだけ。深さによって変わる。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・大きく息を吸い込み、吐き出すようにしている。磯笛を練習してみようと考えている。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・一息ゆっくりと息継ぎをして潜るという程度。 志摩市大王町畔名85歳 P046

52緊急時に、水中での対処法はありますか。

- ・目眩が起きたという話を聞いた。焦らず対処する事が必要と思う。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・重りが足に絡んだ時ノミでヒレを外した。重りの端で漁をしない。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・寒いときは痙攣が起りやすい。大急ぎで上がってタンポに掴まる。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・特にない。夫の動きにあわせて冷静に対処する。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・冷たいと痙攣が起りやすい。その時は足と足を擦り合わせる。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・あわてないで、落ちついて行動する。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・足がつった(ケイレン)ときはタンポにつかまって島にいき、もむ。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・足がつった時はタンポにつかまって島に行く。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・足がケイレンした場合は近くの岩に上がって休む。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・あぶないと思ったら、すぐ引き綱ひいてすぐ上がる。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・危ないと思ったらすぐ引き綱ひいて合図する。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・危ないと思ったら引き綱ひく、岩にひっかかったらゆるめてもらう。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・危ないと思ったら早い目に上がる。あわてない。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・特にない。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・いきあたりばったりで、これというのはない。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・ない。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・船にいそいであげる。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・特になし。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・ない。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・経験がない。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・タンポに乗って、じっとしておく。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・わからない。 鳥羽市国崎63歳 P023

- ・海藻にコシツナがからまったりすると、はずして浮上する。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・落ち着く。いつも通り。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・綱を張った状態にしておく。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・綱がアラメなどに、からみつかないよう、ピンと張っておく。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・落ち着く事。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・自分を落ち着かせ慌てない。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・落ち着く。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・命綱を引く。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・自分次第で具合の悪い時は、お休みします。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・ありません。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・あわてない。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・落ち着く。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・自分で体調を整えて心がけているからない。マイペース。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・特にない。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・船のトマエさんに合図する。タンポにさしてある旗をぬいてふる。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・岩の間に手のはいり、ぬけなかったことがある。縄がひっかかると危ないので、体に縄をつけない。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・テグスにからんだ場合は、すばやくテツナを外す。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・水中で足をつることがあった。周りの海女に声をかけて指を引っ張ってもらった。 志摩市大王町畔名85歳 P046

53緊急時に、船上での対処法はありますか。

- ・徒人の海女なのでわからない。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・直ぐに他の海女にも知らせ。船頭が船を港や診療所に走らせる。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・徒人なのでわからない。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・命綱を状況に応じて操作する。海流の速い所は避ける。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・周りの船頭にも連絡をして、人工呼吸をし病院へ運ぶ。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・トマエに合図をおくる。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・気を失った人にはスーツぬがせて、たたいたり、よびかけたりしていた。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・ない 鳥羽市答志46歳 P007
- ・ない。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・今までない。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・インギぬがせて、たたいたり、よびかけたりする。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・潜水病などで気を失ったら、インギぬがせて、たたく。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・気を失ったら、インギぬがせて、たたいたり、大声でよぶ。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・ウェットスーツぬがせて、たたく。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・特にない。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・いきあたりばったりで、これというのはない。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・ない。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・人工呼吸。すぐに組合にレンラクする。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・特になし。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・ない。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・経験がない。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・わからない。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・事故が発生すると船は黄色旗を揚げることになっている。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・海から陸の方（家の人）に叫び救急車を呼ぶ。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・特にない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・特にない。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・海から陸の方へ叫ぶ。救急車を呼んでもらう。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・落ち着く事。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・なし。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・分かりません。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・時と場合による 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・状況に応じて対処する。 志摩市志摩町和具77歳 P035

- ・人工呼吸、AEDの使い方などの知識を持っている。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・徒人だから船上はない。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・今まで経験ない。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・徒人なので船上はなし。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・トマエに合図する。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・ない。船に乗る前に十分に体を休めておくようにした。 志摩市大王町畔名85歳 P046

○海況等の予測

54天候の急変を予測するのは、どのような方法ですか。

- ・わからない。今は一緒に行っている海女さんについて行くだけ。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・波の変化。波が出てきて、急にうねりが始めると天気が崩れる。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・「暗やんでくる」ので大体わかる。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・係が毎回早朝に天候を見て出漁を決めるため、急変はない。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・「ハヤテ」が来る時になると雲でわかる。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・天候については、磯当番等が事前に十分に検討して口をあけているので、とくに無い。むしろ、漁場ごとの潮の流れに留意している。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・黒雲が出たり、風出たりする→早い目に上がる。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・急に黒い雲が出たり、風が出てきた時、早い目に上がる。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・急に風が出てきたり、黒雲が出てきたとき、早い目に上がる。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・満潮になると風出る。潮によって磯場かえている。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・風が出たり、黒雲がわく。船頭が判断して早く上がる。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・船頭が判断する。口開けるととき海女頭がみる。急にかわることは今はほとんどない。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・風が出たり、黒雲が出る。急にかわることはほとんどない。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・急に風が出てくる。急に変わることはそんなにない。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・風、雲の変化で。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・潮時とか風。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・空をみる。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・空をみて予測。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・雲ゆき。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・波と風。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・波と風の向き。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・風や波。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・組合にまかす。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・波の変化。波が大きくなって来ると沖から変わってくる。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・潮、風、空。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・船頭がきめる。テレビの天気予報を必ず見る。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・船頭、組合の役員。各自は気象情報に注意する。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・潮、風、空。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・空を見る。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・風、雲。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・長い経験から。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・天気予報と、一度浜に見に行くこともあります。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・雲行きと波。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・朝の天気予報。急変の場合は海女は気づかないので、トマエが無線で漁協などと連絡を取っていて対処する。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・風が出てきたり、黒っぽい雲が広がってきたり。基本トマエが教えてくれる。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・トマエが無線で漁協や同僚の船と連絡を取り合う。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・雲の動き。風がふいてなくても白い雲の風雲に注意する。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・うら海にいたので心配してない。特に見ない。船の人がみるらしい。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・沖から風が吹いてくる。雲を見る。集まっておく。みんなで合図（旗で合図）。トマエさんに。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・雲を見る。 志摩市志摩町御座54歳 P040

- ・風向や風速の変化 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・波の高さと風向。 志摩市大王町畔名85歳 P046

55海上を吹く風には、どのようなものがありますか。また、どのような名で呼ばれていますか。

- ・マゼ(南)、しっとりとしている風。マゼの日に家の窓を開けていると怒られる。ニシ(西)、サラッとしている風。他はわからない。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・コチ(東)、マゼ(南)、ニシ(西)、西の返し。コチになると波が高くなり始めて、天気が良くなるとニシの返しが吹いてくる。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・「ニシノカゼ」、「キタッポ」、「マゼ」、「コチ」程度の呼び方しかない。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・ベッコウ(北)、マゼ(南)、ニシノカゼ(西)、コチ(東)、西の風やけど北へ振るとる＝ナカニシの風(北西)。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・キテッポ(北)、マゼ(南)、ニシ(西)、コチ(東)。西と南の間「ヒカタノカゼ」。夕方吹く南風「ヒヨリマゼ(翌日天気が良い)」 鳥羽市神島77歳 P005
- ・ニシ、ヒガシ、マゼ(昼から吹き出す) 鳥羽市神島66歳 P044
- ・マゼ(南風)、夕の風(北風)、ニシ(西風)。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・マゼ(南風)、ニシ(西風)、夕の風(北風) 鳥羽市答志46歳 P007
- ・マゼ、ニシ、夕のかぜ。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・マゼ(南風)、ニシ(西風)、夕の風(北風)。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・マゼ(南風)、夕の風、ニシ。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・マゼ(南風)夕の風(北風)西(西風) 鳥羽市答志79歳 P011
- ・マゼ、夕のカゼ、ニシ。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・マゼ、ニシ、夕のカゼ。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・マザー(南風)、コチー(東風)、北(きた)っぼー(北風)、西の風、 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・まぜー南風、コチー東風、西の風、北(きた)っぼー北風(答志から吹く風)。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・南風ーマゼ、東風ーコチ。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・西の風、南風(マゼ)、北の風(北っぼ)、東の風(コチ)。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・南風ーマゼ、東風ーコチ、北東ーハガチ、西の風。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・コチ=東の風(潜れない)、マゲ=南の風、ニシ=西の風。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・コチ、マゼ、ニシ。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・「ヒガシノカゼ」悪くなる。「ナギ」風なく、おだやか。「ニシノカゼ」好い時。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・コチ(東風)、マゼ(南風)。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・コチ(東の沖から)→恐ろしい。マゼ(南風)。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・西の風、東の風、南の風、ニシ、コチ、マゼ。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・ヤマゼ、イナサ。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・ヤマゼ、イナサ。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・西の風、東の風、南の風。ニシ、コシ、マゼ。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・コチ、マゼ。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・東風→コチ、南風→マゼ。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・西風、南風、コチ、イナサ。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・まぜの風、こちの風、北っぼの風。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・東風、ヤマ瀬、ハヤテ。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・南風(まぜ)、東風(こち)=波が荒れて漁ができなくなる風向。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・まぜ、こち、にし 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・東風=こち南風=まぜ西風=にし等。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・マゼ(南)コチ(東)イナサ(コチからマゼへ変わる方向)ナントウ、マニシ、キタゴチ、キタッポ、ナカニシ。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・ニシの風。マゼの風。ニシ、マゼ、大波、台風の時、他の海女が漁に行っても、自分には行かない。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・まぜ、コチ、きたっぼ(北風)、いなさ。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・マゼ(南)、ニシ(西)、コチ(東)、キタ(北)。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・ニシ、ヒガシ、マゼ 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・マゼが吹くと水が澄むが、オオマゼは波が高くなる。南東の風も波が高くなる。 志摩市大王町畔名85歳 P046

56潜水漁に適する海況はどのようなものですか。

- ・波やうねりが有ると気持ちが悪くなる。潮がよく引いた静かな時。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・大潮の干潮で潮が静かな時。大潮でも干満の激しい時は漁が難い。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・風の無い、潮が澄んで潮流が緩やかな時。大潮の干潮時。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・潮が動かない小潮。徒人や船人が好む大潮の干潮時とは異なる。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・大潮の干潮。干満の差は2尋近くある。漁獲量も一番多くなる。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・風、風に対しては風下に 鳥羽市神島66歳 P044
- ・波、風がなく、透明度があり、潮がよくひいて、ゆるんでいる。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・風や波がなく、よく潮が干いて、透明度がある。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・波風がなく、透明度がよい。潮ときがよい。よく潮が干き、流れがゆるい。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・波や風がなく、潮よく干いて、透明度が高い。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・波、風がない、潮がよく干いて、透明度がよい。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・波や風がない。潮よく干いている。透明度がよい。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・波、風がない、潮がよく干く、透明度がよい。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・波、風がない、潮がよく干いている。透明度が高い。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・波のない時。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・大潮。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・大潮。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・波がなく、にごっていない時。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・波がなく、風も強くないほうがよい。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・潮がおとなしい日。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・平らな日。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・ナギ。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・潮がよくひき風がよい。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・ナギの大潮。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・ナギの日、最高。風がなく透明である。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・赤潮のないとき、。風のないとき。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・透明度のよいとき。波の少ないとき。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・ナギの日、最高。風がなく透明。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・風、波がないこと。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・穏やかな波。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・風のない流れが少なく透明である。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・なぎが一番です。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・波や風がない事。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・波静か(流れの緩やかなことが大切)で、真潮(海が澄んでくる流れ)、干潮など 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・波が静か、潮が澄んでいる(最近潮の流れが非常に速いことか瀬多い)、干潮 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・波が静かで澄んでいること。また、干潮の時が良い。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・「三拍子揃た」海が澄んでいる。潮が引いている。無風。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・風もなく、濁りなく、(赤潮など)潮が引いている時。晴れている方が海の中、見やすいし温かい。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・無風。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・渚よし。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・波の高さや風向に左右される。北西の風は良いが、ヒガシの風だと沖の漁場には出られない。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・風で、伊勢湾からの濁った水が流れてこない時がよい。 志摩市大王町畔名85歳 P046

57水がにごっている時は、どのように対処されますか。

- ・アワビやサザエを採ることを諦めて、イソモン採りをする。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・深い所はスカリの重りを落としながら海底の様子を予測する。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・それでも潜る。途中は見えなくても海底に着けば見える。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・漁場を変更する。潮の流れによって濁りの少ない漁場がある。 鳥羽市神島63歳 P004

- ・濁っている所へは行かない。濁りの少ない所へ移動する。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・汽水域から離れた漁場に移動する。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・注意してもぐる。イッキに潜らない（前見えないと危ない）。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・海女の口あかない。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・海女の口が開かない。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・底が見えないので注意する。できるだけ潮の速いところはさける。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・にごっている時は海女漁あかない。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・海女漁は中止となる。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・海女漁は中止となる。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・海女漁は中止になる。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・特になにもなし。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・気をつけて、ボチボチ潜る。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・岩場をもぐる。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・全体が、にごっている時は、口明けをしない。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・場所をかえる。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・行かない。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・行かない。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・にごっていても潜る。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・近くまで顔を近づける。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・にごりのひどい時は組合が口明けしないが、顔を近づける。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・一気に潜らない。勘。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・中止する。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・中止する。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・危ない日は潜らない。一気に潜らない。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・対処出来ない。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・アラメの色を目印に潜ります。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・凸凹のない所で仕事をする。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・漁が出来ないので上がります。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・見る範囲を狭くする。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・普段よりも慎重さが必要(海水がにごっている状態をドロガイという=調査員注) 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・注意して潜る(潮がにごっている状態をドロガイと呼ぶ) 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・目を凝らして見るしかない。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・底が澄んでいることもある。あまり海の中で動かない。気をひきしめて、かつぐ。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・にごっている時は漁に出ない。危ない為。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・注意して潜る。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・注意して潜る。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・濁っていない場所を探す。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・濁りのひどいときには休漁にした。 志摩市大王町畔名85歳 P046

○潜水漁の予兆

58大漁または不漁の前ぶれとして、現われる魚などがありますか。

- ・わからない。深いところに潜る海女からは、水温が高すぎるとダメだと言っていたのを聞いたことがある。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・ない。叔母はアワビ漁の時期に「鮑の夢を見ると鮑が取れる」と言う話をしていた。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・ない。昔(S40年代初)「ヤマユリが咲く時なになるとデガイや」と言っていた。(山百合が咲く頃になるとアワビが出てくる) 鳥羽市神島62歳 P003
- ・ない。「ユリが咲いてくると赤(赤鮑)が出てくる」。季節で漁獲物を推測することはある。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・ない。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・無い 鳥羽市神島66歳 P044
- ・ない。 鳥羽市答志31歳 P006

- ・ない 鳥羽市答志46歳 P007
- ・ない。サメが出たときは海女の口開かない。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・ない。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・ない 鳥羽市答志71歳 P010
- ・ない。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・ない 鳥羽市答志81歳 P012
- ・ない 鳥羽市答志82歳 P013
- ・わからない。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・ない。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・ない。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・タコやヒトデが多いと、サザエ、アワビは口をふたしてしまい、息ができなくなってしまう。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・わからない。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・カンだけ。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・関係ない。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・ない。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・わからない。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・別にない。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・ない。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・知らない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・特にない。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・ない。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・なし。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・ない。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・なし。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・ない。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・特にない 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・ない 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・ない 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・わからない。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・わからない。(知らない) 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・ない。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・ない。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・ない。 志摩市大王町畔名85歳 P046

59 出漁時や海にいる時に、使ってはいけない言葉や嫌われる行為がありますか。

- ・わからない。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・特に無いが、海女の期間は「去る」等と言う縁起の悪い言葉は使わないようにしている。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・特にない。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・漁の時間が終わる間際になって「もう一入りしてこい」と言っはいけない。欲を出すと悪いことが起こる。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・出漁の前には人の死や不幸事と関わる事は言わない。海で亡くなった人の命日を「ケタイビ」と言い、気をつけて海に入る。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・ない。無理をしないようにしている。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・ない。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・「いくにー」と言うな、「いってきます」と言えという。船に乗るときはとりかじ（左側）から乗る。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・海へ行った時「腹へった」と言わない→海坊主にねられる。船にのるときはとりかじ（左側）から乗る。カスのもの持っていけない。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・「一回だけいってくるわ」などもうかえってこないような言い方さける。とりかじ（左側）から降りする。(海へ入る場合も) 鳥羽市答志49歳 P009
- ・「いこかい」と言わない。「いってこうかい」という。最後の漁の時「もういっぺんもぐれ」など言わない。 鳥羽市答志71歳 P010

- ・「いこかい」とは言わない。「いてこうかい」ならよい。最後の漁の時「もういっぺんもぐれ」「ものいれてこい」と言わない。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・「いこかい」とは言わない。「いってこうかい」という。最後の漁の時「もういっぺんもぐれ」「ものいれてこい」と言わない。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・「いこかい」と言わず「いってこうかい」という。行って帰ってくるという表現にする。とりかじから乗りおりする。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・船への乗降は、とりかじ側（左）からする。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・特にはない。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・人の近くに寄っていき、潜水する行為。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・船に乗ったり降りたりする時は、トリカジ側（左側）からする。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・船に乗る時は、トリカジからのる。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・サル＝去る。獲物が去る。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・サルの話はきらう。猿を見るときらう。 鳥羽市石鏡75歳 P020
- ・「サル」「頭をおさえる」「肩をおさえる」船をつかない。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・サルはダメ。話も見るといけな。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・「赤サル」といって肩を押さえる行為。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・ない。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・死人のことは話さない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・死人のことは言わない。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・ない。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・なし。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・ないと思います。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・ない。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・なし。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・死人事等。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・特にない 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・ない 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・船に乗ってからは特に気をつける。→相手の肩に手をおく（勝負をかけているととられる）←祖母から聞いた。竜宮さんはさるの映像をみない。→さるを見ないようにする。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・特にない。気にしない。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・わからない。(知らない) 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・ない。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・とくにない。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・猫の供養をしたら大漁、いいことをすると大漁、などと言われた。 志摩市大王町畔名85歳 P046

60捕獲を避けたり、していけない（忌む）漁獲物がありますか。また、それはどうしてですか。

- ・わからない。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・わからない。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・特にない。「稚魚稚貝」は採らない。今は無いが、以前は子どもたちが「稚魚稚貝」のポスターを作ったり、島の中を触れて回ったりした。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・(忌む)漁獲物はない。採るのを控えるのは「稚魚稚貝」だけ。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・(忌む)漁獲物はない。禁漁期間のイセエビ、ナマコや稚魚稚貝は採らない。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・夏季のナマコ 鳥羽市神島66歳 P044
- ・稚魚、稚貝、解禁でないイセエビ。忌むものはない。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・稚魚、稚貝、解禁していないイセエビ。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・稚魚、稚貝、解禁されていないイセエビ。忌むものはない。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・稚魚、稚貝、解禁でないイセエビなど。獲ってよいものにしか意識がいかない。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・寸足らずのもの、解禁でないイセエビ。忌むものはない。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・寸足らずのものやイセエビ（漁期でない時）。忌む漁獲物はない。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・寸足らずの貝や解禁でないイセエビ。忌むものはない。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・寸足らずのもの、解禁されていないイセエビ。忌むものはない。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・稚魚はとらない。 鳥羽市菅島45歳 P014

- ・小さいものは獲らない。他は特になし。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・小さいアワビ、サザエはとらない。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・稚魚はとらない。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・稚貝。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・季節はずれの獲物、小さいもの。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・寸法より小さい物。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・わからない。オコゼやウツボは危ないから捕らない。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・ウツボ、オコゼはさける。刺される。その他はとくになし。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・稚貝、スンボ。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・ない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・ない。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・稚貝。スンボ。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・大きさに注意。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・ない。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・ない。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・なし。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・ない。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・規格サイズ以下の物。毒、棘があるもの等。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・寸足らずはもちろん取らない。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・規格サイズ以下の物。毒、棘があるもの等。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・寸足らずはもちろん取らない。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・一度にアワビを三つ採ってはいけないという。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・クロアワビを探すときにウツボに噛まれないようにした。 志摩市大王町畔名85歳 P046

61漁に出てはいけない時期はありますか。(含む、生理)

- ・わからない。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・わからない。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・ゴサイの日3日間。ヒガンノイリ、ヒガンアケは畑、磯に行かない。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・生理等を含めてない。ゴサイの日は漁に出ない。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・ゴサイの3日間は出漁しない。昔は出産直前まで海女漁に出た。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・生理でも沖に出ていたが、サメが怖かった。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・市あがりの日やお盆、体調悪い時。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・妊娠していたら行かない。生理の時は体調によって。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・若い人は妊娠していたら行かない。生理の時は体調によって行かない。7月15日と21日は天候よくても海女漁はあかない。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・生理でも行く。妊娠中はいかない。市あがりの日(7月15・21日)天気がよくても口があかない。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・昔は小築海さんの時は忌回りの人は潜らなかった。今はちがう。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・昔は小築海島の解禁の時は忌回りの人は、潜らなかったが、今は関係なく潜っている。今は妊娠していると潜らない。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・生理や妊娠しても潜っていた。イチアガリの日には潜らない。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・生理でも産み月でも潜った。市あがりの日には潜らない。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・ない。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・特にない。しろんご祭の時は忌まれ、生理の時はさける。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・ない。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・組合の口明けの放送があった時だけ行ける。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・特にないが、しろんご祭の時だけは生理の場合、潜らない。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・ない。出産直前まで出る。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・ない。妊婦も潜る。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・ない。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・特にない。カゼひきでも行く。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・冠婚葬祭。生理中でも太平洋で洗うと言って気にしなかった。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・お盆、葬式、初七日、ヒマチ毎月3日。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・ない。生理のときも出漁した。 志摩市阿児町志島66歳 P025

- ・ない。臨月でも潜った。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・お盆、葬式、初七日、ヒマチ毎月3日。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・ある。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・ない。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・生理でも妊娠中でも潜っていた。体調の悪い日は休む。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・土曜日は休み。決められた日です。おてんのうさん(海に入れない)。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・体調が悪い時。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・ゴサイ(サメが来る日とされる)、御田植え際、土曜日(市場が休み)、荒天時など 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・ゴサイ、同僚(海女=海などでなくなった場合など)の葬儀 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・ない。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・天王さん(6/14)、お盆休み、おみた(6/24、6/25)、荒天時。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・漁業組合(漁協)の階段の高いところに赤い旗が上がっている日。→世話人が携帯電話で連絡くれる。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・体調悪い時、お盆、ごさい、磯部のお御田、天王祭。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・土曜、お盆、お御田、ゴサイ、天王祭。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・生理の時も漁に出ていた。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・生理中でも出漁した。 志摩市大王町畔名85歳 P046

○海女の信仰

62カミヤホトケ等へのお参りや願掛けをする場合がありますか。もし、あるとすればどのような機会ですか。

- ・しない。八代神社のお守りは、母が貰ってきてくれる。「行った方が良いのかな」と思う事はあるが、まだ行ったことはない。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・漁に出る前に家のエビスさんにお詣りして仏壇に手を合わせる。帰宅後、仏壇に報告をする。漁協前のエビスさんにもお詣りする。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・朝晩、仏壇に手を合わせ「漁の安全」を祈る。「仏様のご飯を食べると勝負に強い」と言われている。朝食べたり、昼食のお握りにする。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・毎朝、仏壇に手を合わせる。メガネを拭くヨモギを取った後、八代神社の鳥居前で「海上安全・大漁満足」と手を合わせる。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・(海女)あまり縁起を担ぐ様なことはしない。(船頭)朝晩、八代神社の鳥居前で手を合わせる(操業安全と大漁祈願)。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・八代神社の方角に向かって拝む。メガネ箱に入れた御守札を意識している。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・海女漁が開く前に海女の人たちは青峰さんに祈祷してもらいにいく。その時帽子の印たのむ。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・毎日、フクダメ(トコブシ)の貝ガラ3個にごはんをもって供える。神棚、仏壇はおがむ。潜る前洗米をまく。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・毎日潜りにいくときは、神棚、仏壇おがむ。潜る前に洗米をまく。毎日エビス貝2段にごはん入れて供える。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・毎回はしていないが、初磯の日とか、小築海さんなどの祭りごとの日には洗米まく。毎日フクダメ3個にごはんそなえて拝む。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・朝起きて、仏壇、神棚拝む。「今日も1日、家中、しんせき中皆なつともなしにまぶってたんもいやー、おいもなつともなくいらってたんもいやー」といって拝む。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・必ず、漁に行く前に、神棚、仏壇を拜んでから行く。「竜神さん、稲荷さん、八幡さん、各々の神様、今日は安全に海女作業させて下さい」 鳥羽市答志79歳 P011
- ・朝起きて、仏壇・神棚に拝む。「えびす、だいきくさん、大漁さつて一なー、まぶってくださいやー、めしくわさいやー」と拝む。海女漁の前後は青峰さんに行く。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・朝、必ず神棚、仏壇は拝む。出港の時八幡さん拝む。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・初めての海女漁解禁の時、おみきとして酒、米、あずきを海へ流す。(船の上でする。) 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・ある。毎朝、エビス棚、神棚、仏壇に飯をそなえる。海女だけに関しては特にない。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・年のはじめの潜水漁の時、洗米する。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・海女漁が始まる1日目に、おみき、米、小豆等を浜に供える。カンギノミの先でコベリをトントンと

- たつき「無事にすごせますように」と心の中で思い、ノミの先をなめる。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・かまどに洗米（米とあずき）を供える。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・自宅の仏さん。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・毎朝、仏さんに参る。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・青峰山に年3回。オリリ（2月18日）、ナカサク（7月10日）、アガリノオリ←お礼参り（12月28日）。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・出漁の時に自分の家の仏だんに無事と大漁を願って手を合わせ拝む。不漁の時も海でとなえる。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・出漁時は家のエビス棚に守ってください、大漁さずけて下さいと手を合わせていった。青峯さんへは漁期前と後に参った。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・青峰山、3月18日、6月25日、9月15日お礼参り。志島神社お稲荷さんごさい。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・3月18日、青峰参り。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・3月18日、青峰参り。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・青峰山、3月18日、6月25日（ごさい）、9月15日、お礼参り。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・ある。その時期。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・地元波切の神社、青峰山で祈祷。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・船を降りる時に、海水を掛けて（塩で清める）2〜3回ノミでたたいてから潜る。船には青峰山の旗が付けてあるものは海女さんの船です。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・汗かき地藏さんだけ。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・毎日。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・1年に1度、青峰山・正福寺へ参る。潮かけ祭りのときに大島神社へ参ることもある。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・その年度の口開けの前に青峰山・正福寺へ参る。潮かけ祭りのときに大島神社へ参る人もある。潮かけ祭り際には、以前は必ず行ったが最近には行かない時が多い。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・青峰山正福寺へ口上げの前に参っていく。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・御座岬の大明神さん（山の上）、船で通る時に潮をかける。毎日、願かけ。徒人は海に入る時、願かけ。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・神社。不動尊。1年に1回、1,000円づつ寄付して、お守りをもらう。昔は、弁天様にも寄付していた。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・漁の前の3月におはらい→御座神社、不動尊、青峰山。御座岬の山に海の神様（大明神）祠←船の上から拝む。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・朝、漁に行く前、毎日家の神棚、仏さんに願掛けする。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・とくにない。 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・家を出るときにお地藏さんに手を合わせる。 志摩市大王町畔名85歳 P046

63海女が1日の中で、または、1年で習慣的に行っている儀礼がありますか。（漁業暦との関連で）。

- ・ない。わからない。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・5月の祈願祭・オケヅコ、6月の御供上げくらい。ゴサイは青峰山も伊雑宮も行かない。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・朝、仏壇に手を合わせて「無事」を祈り、漁に行く時に漁協前の恵比寿さんの腹を撫で、帰ってから仏壇に漁の報告をする。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・島内では、5月のオケヅコ、6月の御供上げ、8月のうら様。旧暦6月16日〜18日のゴサイには青峰山と伊雑宮参りをする。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・5月のオケヅコ、6月の御供上げ、8月のうら様。旧暦6月のゴサイ。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・5月のオケヅコ（海藻の種まき）、6月11日のゴクアゲ、8月のウラサマ 鳥羽市神島66歳 P044
- ・海女漁に行く時船から八幡さんおがむ。初磯の時と小築海さんのとき洗米する。毎回はしない。毎日神棚にフクダメ2個にごはんを供える。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・海女漁安全祈願祭に参加している。小築海祭の時は八幡神社に参拝している。 鳥羽市答志46歳 P007
- ・海女漁がはじまる前に海女漁安全祈願祭があり、おまいりする。小築海祭の時潜った後おまいりにいく。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・海女安全祈願祭には参加している。小築海さんの日には八幡神社におまいりし、カヤヤクワを玄関にさす。 鳥羽市答志49歳 P009

- ・神棚には、えびす貝2個にごはんを毎日供えて祈る。潜る前には洗米して、潮なめてから潜る。青峰さんに尼の前後いく。(夏2回、冬2回) 鳥羽市答志71歳 P010
- ・潜る前に洗米をまき、潮をなめて、体にかけてから潜る。神棚にえびす貝、ふくだめの貝がらにごはんを入れて、毎日供える。→海女漁の前後に音峰さんへいく。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・潜る前には毎日洗米をまく。出漁の時八幡さんを拝む。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・潜る前に、洗米まいて、潮なめてから潜る。海女漁が開く前と終わってから青峰さんに祈祷に行く。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・しろんご祭。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・1年に1回、しろんご祭のみ。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・しろんご祭。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・しろんご祭。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・しろんご祭。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・2月16日カズキオリ。組合に掛軸をかけ、米+小豆、石2こ、酒、もち、あずきごはんを供えて参る。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・2月16日かずきおり。毎朝仏壇にお供えして参る。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・フライキをもつ人(船頭)が毎回、海の上から神宮さんの方へ向かって、船をとめて米と御神酒をまく。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・年の初めに潜水する時、浜に餅、アズキ、お米を供え一年の無事を祈る。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・出漁時、家のエビス様、漁期前と漁期後(9月)青峯さんに安全祈願を礼参り。メガネに青峯さんのお守りをつけている。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・「つつい」と言って海、海女小屋、神棚、お稲荷さんに毎月3日ヒマチにお参りして集まって食事をする。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・6月25日、磯部のおみた。この日は休漁。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・6月25日、磯部のおみた。(この日は休漁日) 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・「つつい」「ついやしゃ」と言って事故のないように海と海女小屋、神棚、お稲荷さんに、お米やお神酒など供え、お参りする。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・ある。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・青峰山で祈祷、お礼参り。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・青峰山1月10日頃祈祷、9月お礼参り。磯部にもお参りに行く。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・なし。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・3月、6月神社、2月24日汗かき地藏、1月青峰山。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・海に潜る直前にまじないをすると人もいる。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・ない。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・御酒洗米(みきせんまい)米をかして、あずきを入れて、けずりぶし持って、アワビの貝ガラ、ワンカップ。ひまち(1/10、3/10)、おみた(6/24、6/25)、天のうさん(6/14)。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・ない。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・船の上から大明神さんを拝む(毎日、御座岬の山に向かって)。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・なし(徒人だから)。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・1月10日・11日ジンサイ、3月11日伊勢神宮、7月4日天王様、6月24日オミタ 志摩市阿児町安乗61歳 P045

64伊勢神宮(内宮・外宮)や伊雑宮へ奉納するために、特別に漁を行いますか。また、その時の漁獲物はどのようなものですか。

- ・わからない。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・ない。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・ない。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・ない。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・ない。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・無い 鳥羽市神島66歳 P044
- ・ない。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・ない 鳥羽市答志46歳 P007
- ・ない。 鳥羽市答志48歳 P008
- ・ない。 鳥羽市答志49歳 P009

- ・ない 鳥羽市答志71歳 P010
- ・ない。10年ぐらい前に国崎に神宮に奉納するアワビをとるのに潜ったことある。 鳥羽市答志79歳 P011
- ・ない 鳥羽市答志81歳 P012
- ・ない。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・ない。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・ない。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・ない。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・ない。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・ない。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・ない。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・ない。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・ない。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・伊勢神宮に献上するのしあわびに加工するアワビを捕る。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・神宮へ奉納するための漁はしない。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・ない。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・ない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・ない。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・ない。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・なし。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・ありません。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・しない。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・なし。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・しない。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・特に漁は行わない。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・アワビ、サザエを奉納するが、主催は観光協会であり、海女は特定の人たち(役員等)が頼まれていくだけである。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・あわび、さざえ。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・自分が行く時は3、4回10kgきふしていた。一昨年までで、 志摩市になってから予算なし。3/10くらいに海女組合全員、強制的にとめいそをかづく。御座神社、爪切不動山。個人的に→石仏へお参り。志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・ない。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・行わない。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・特にない。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・ない 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・ない 志摩市大王町畔名85歳 P046

65祭り・行事のためだけに開放される漁場はありますか。

- ・わからない。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・ない。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・ない。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・ない。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・6月11日は、「ヒガセ」のイソは禁漁。「ミナミ」は開放。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・漁協が決めた禁漁区の口開け 鳥羽市神島66歳 P044
- ・小築海さん。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・小築海島 鳥羽市答志46歳 P007
- ・小築海島 鳥羽市答志48歳 P008
- ・小築海島 鳥羽市答志49歳 P009
- ・小築海島 鳥羽市答志71歳 P010
- ・小築海島 鳥羽市答志79歳 P011
- ・小築海島 鳥羽市答志81歳 P012
- ・小築海島 鳥羽市答志82歳 P013
- ・ある。しろんご祭。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・ある。しろんご浜。 鳥羽市菅島48歳 P015

- ・ある。しろんご浜。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・ある。しろんご浜。 鳥羽市菅島70歳 P017
- ・ある。しろんご浜。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・ない。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・ない。 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・ない。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・ある。いつもは禁漁区となっている磯（前浜）がある。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・「マツリ磯」といってアワビ放流磯を役員のみが潜る時がある。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・タカノエ、禁漁区。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・ない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・ない。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・タカノエ、禁漁区。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・なし。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・ありません。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・ない。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・なし。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・ない。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・ない。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・ない。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・ない。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・なし。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・ない。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・ない。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・禁漁区（年に1回）。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・ない 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・トメイソ（禁漁区）の解放が行われたが、当時の漁協の判断で行われたもので儀礼に関わるものではなかった。 志摩市大王町畔名85歳 P046

66地域の祭り・行事の時に、奉納するための特別の漁を行いますか。

- ・わからない。 鳥羽市神島39歳 P001
- ・ない。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・ない。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・ない。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・今はない。以前は、8月の盆に行う芝居興業の資金等にする為の、青年女子が海女に行くイソの口開けがあった。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・ゴクアゲの際に、お供えするためのアワビを一人一個ずつ採る。 鳥羽市神島66歳 P044
- ・小築海さん。 鳥羽市答志31歳 P006
- ・小築海島、大築海島のまわり。（初磯のとき） 鳥羽市答志46歳 P007
- ・小築海島 鳥羽市答志48歳 P008
- ・小築海島。 鳥羽市答志49歳 P009
- ・小築海島。海女漁がおわったら、アワビかサザエの獲物を合祀してある八幡神社に供え、カヤとクワもらって玄関と船にかざる。 鳥羽市答志71歳 P010
- ・小築海島 鳥羽市答志79歳 P011
- ・小築海島。初磯の時、奉納するアワビをとる。 鳥羽市答志81歳 P012
- ・小築海島、初磯開きの祭典。 鳥羽市答志82歳 P013
- ・行方。しろんご祭。天王祭・・・漁でとれた魚やアワビ、サザエなどを奉納する。 鳥羽市菅島45歳 P014
- ・15年ぐらい前まで、7月のはじめに「潜き」という日があり、この日漁でとれた魚や、海女でとったアワビ、サザエの一部（3割程度）を天神祭へ奉納する（家単位）。しろんご祭の時に上がったものの、ほとんどが奉納された。一部のみがもらえた（個人単位）。漁がすくなくなってきたので、現金で寄付するようになった。サラリーマンも寄付する。今まではしていなかった。 鳥羽市菅島48歳 P015
- ・しろんご祭。 鳥羽市菅島43歳 P016
- ・行方。しろんご祭－漁でとれたアワビを奉納する。天王祭－漁でとれた魚、アワビ、サザエなどを奉納する。 鳥羽市菅島70歳 P017

- ・しろんご祭。一番とりの黒、赤アワビを供える。 鳥羽市菅島56歳 P018
- ・ない。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・組合で買ってある。(一对のアワビ) 鳥羽市石鏡75歳 P20
- ・昔はあったが、今はあるもので供える。 鳥羽市石鏡71歳 P021
- ・伊勢神宮奉納のノシアワビ用のアワビを捕る御潜神事が明治4年まであったが廃止。平成15年から4年復活した。 鳥羽市国崎63歳 P023
- ・「浜ギトウ」といって海上安全、大漁を願う行事が7月31日にある。 鳥羽市相差67歳 P022
- ・神社のお稲荷さんに魚、イセエビ、洗米、かつおぶしなど奉納する。 志摩市阿児町志島40歳 P024
- ・ない。 志摩市阿児町志島66歳 P025
- ・ない。 志摩市阿児町志島75歳 P027
- ・神社に魚やイセエビ、洗米、かつおぶし。無事でいれる様に、病気の人が元亀になる様に奉納する。11月23日。 志摩市阿児町志島82歳 P028
- ・なし。 志摩市大王町波切42歳 P029
- ・行いません。 志摩市大王町波切57歳 P030
- ・ない。 志摩市大王町波切64歳 P031
- ・なし。 志摩市大王町波切71歳 P032
- ・しない。 志摩市大王町波切73歳 P033
- ・潮かけ祭りの時に大島の西側の漁場(大島神社の下)で漁を行う。それを大島神社へ供える。 志摩市志摩町和具77歳 P034
- ・潮かけ祭りの際には、大島の祠の近くの漁場で漁をして神様に備える。 志摩市志摩町和具77歳 P035
- ・しない。 志摩市志摩町和具77歳 P036
- ・なし。(とめいそ、禁漁区100万(稚貝23万円))とつても、とらなくても、みんながとってきたものを頭わりにして、残った人でわって持っかえる。 志摩市志摩町御座63歳 P037
- ・ない。 志摩市志摩町御座78歳 P038
- ・行わない。 志摩市志摩町御座53歳 P039
- ・ない。 志摩市志摩町御座54歳 P040
- ・行わない 志摩市阿児町安乗61歳 P045
- ・ない 志摩市大王町畔名85歳 P046

(2) 平成25年度調査の成果

○経歴

- ・神島中学校を卒業後、一時、神島信号所に勤務。昭和45年結婚。結婚後、徒人→乗合の海女→ドンボリの海女になる 鳥羽市神島63歳 P004
- ・神島中学校を卒業後、ノリアイの海女に。20歳で結婚。夫と刺し網・蛸壺漁に従事。夫の死後、徒人の海女になる。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・神島で生まれて高校を卒業後、関東地方の会社に就職。10年程前の神島に戻り、30歳過ぎから徒人→船人海女になる。未婚。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・栃木県生まれ、自治医大看護学校を卒業、新潟大で養護教諭の資格を取り4年間勤務。平成12年結婚。平成22年から徒人海女。 鳥羽市神島40歳 P001
- ・神島で生まれ神島中学校を卒業。徒人海女→ノリアイ海女。20歳前後で結婚。一時工場勤め。現在、海女と一本釣りを営む。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・漁業と海女専業 鳥羽市答志72歳 P010
- ・高校卒業後大阪の商店販売員、結婚して答志のもどり、海女になる。 鳥羽市答志49歳 P008
- ・高校卒業後、大阪市の商店販売員となる。結婚後答志にもどって海女になる。 鳥羽市答志47歳 P007
- ・高校卒業後三重交通のバスガイドとなる。結婚して子どもの手が離れたころ32才に海女になる。 鳥羽市答志50歳 P009
- ・漁業と海女専門 鳥羽市答志80歳 P011
- ・海女専門(答志中学卒、結婚して本格的な海女になる。現在は楽しみで海女している) 鳥羽市答志83歳 P013
- ・海女専門(答志中学卒、結婚して本格的な海女になる。現在は楽しみで海女している) 鳥羽市答志82歳 P012

- ・鳥羽市石鏡生まれ中学を出てから、ずっと海女 鳥羽市石鏡80歳 P041
- ・鳥羽市石鏡生まれ中学を卒業して海女一時、展望台で働くが年をとってから海女をする 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・中学卒業後2年間岡仕事をし、18才よりカチド海女。2年間天草採りで伊豆へ。 鳥羽市国崎63歳 P042
- ・中学卒業後1年百姓をし、その後長島方面に出稼ぎもした。 鳥羽市相差75歳 P043
- ・町外で店員をしていたが、離婚後郷里へ帰り、海女を始めて9年目。 志摩市阿児町志島42歳 P024
- ・結婚までは、立神の真珠養殖場にやとわれて、珠入れをしていた。 志摩市阿児町志島67歳 P025
- ・真珠の珠入れ、ワカメの採取、秋仕として伊勢平野から愛知県まで出稼ぎ、のち、35歳から海女となった。 志摩市阿児町志島72歳 P026
- ・海女は結婚後、それまでは主として、海産物加工手伝いなど 志摩市阿児町志島81歳 P027
- ・小学校を出て、すぐ海女になり2012年の夏で終わった。紀伊長島町の白浦海野へ出稼ぎに行った。 志摩市阿児町志島88歳 P028
- ・海女になって4年。それまでは鳥羽水族館で魚の飼育の仕事をしていた。 志摩市大王町波切43歳 P029
- ・平成3年から海女になった。それまでは主婦（特に子育て） 志摩市大王町波切58歳 P030
- ・S、45年から海女、それまでは鳥羽国際ホテルで掃除婦などに従事。 志摩市大王町波切65歳 P031
- ・越賀の真珠養殖へ2～3年勤めてから海女になった。兄弟が多く、生活のため現金がすぐに入る真珠養殖へ行った。 志摩市志摩町和具78歳 P034
- ・6人兄弟の5女。女はみんな中学をでてから海女。 志摩市志摩町和具78歳 P035
- ・中卒後約66年余 志摩市和具78歳 P036
- ・現在1人暮らし。 志摩市志摩町御座79歳 P038

○海女小屋での過ごし方

67ご本人に聞きます。子どものころ、海女小屋にいましたか。

- ・海女小屋は無かった。囲いも無い所であっていた。ドンボリの人等は船の上で暖を取った。海女小屋に行った記憶はない。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・浜で火を焚いて其所であっていて、海女小屋というのは無かった。遊びに行った記憶と言うのは全然ない。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・海女小屋に遊びに行った記憶はあまり無い。母は東の磯の海女小屋を使っていたが、「此処へは来るな」と言っていた。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・栃木県で生まれたので、海女小屋は神島に来て初めて知った。 鳥羽市神島40歳 P001
- ・行っていない。その頃神島に海女小屋は無かった。ドンボリは船の上で、徒人は主にゴリノ浜で砂の上で火を焚いてあっていた。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・昔は海女小屋なかった。船の火床、浜でも火床であった。冬は椎シバでまわり囲った。遊びに行ったことある。 鳥羽市答志72歳 P010
- ・保育所や小学生低学年の頃は、海女小屋に行っていた。母の帰りがおそいのでむかえに行く。 鳥羽市答志49歳 P008
- ・保育所や小学生低学年の頃には小屋によく行った。 鳥羽市答志47歳 P007
- ・母の海女小屋にいった。そばの海辺でカニつりなどして遊んだ。 鳥羽市答志50歳 P009
- ・子どもの頃は小屋なかった。浜の火床に遊びにいった。
- ・サザエなど焼いてもらってよかった。 鳥羽市答志80歳 P011
- ・昔はなかった。ぐるりを囲った火場はあって、よく行った。あわび、さざえ焼いてもらった。「にみそ」もよくたべさせてもらった。 鳥羽市答志83歳 P013
- ・昔は海女小屋はなかった。回りを囲った火場はあった。ばあさんたちにつれられて行った。いろいろなもの食べさせてもらった。 鳥羽市答志82歳 P012
- ・行っていない、自分も潜っていた 鳥羽市菅島45歳 P016
- ・行ってない 鳥羽市菅島57歳 P018
- ・いかなかった海女小屋がない 鳥羽市菅島49歳 P015
- ・いっていた 鳥羽市菅島46歳 P014
- ・行っていない、自分も潜っていた 鳥羽市菅島71歳 P017
- ・行っていた。 鳥羽市石鏡80歳 P041
- ・行っていた。幼児の頃、さつまいもを焼いてくれた 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・行っていた。カマドで焼いてくれるサツマイモやモチがほしくて行った。うまかった。 鳥羽市国崎

63歳 P042

- ・母のカマドが遠かったので行った覚えがない。 鳥羽市相差75歳 P043
- ・行っていた。 志摩市阿児町志島42歳 P024
- ・母親が海女であったので、よく行った。 志摩市阿児町志島67歳 P025
- ・遊びに行った。 志摩市阿児町志島72歳 P026
- ・母親が海女であったので、よく行っていた。 志摩市阿児町志島81歳 P027
- ・行っていた。 志摩市阿児町志島88歳 P028
- ・行かなかった。 志摩市大王町波切43歳 P029
- ・ない。 志摩市大王町波切58歳 P030
- ・ない。 志摩市大王町波切65歳 P031
- ・いっていなかった。 志摩市志摩町和具78歳 P034
- ・行っていた。小さい頃は専門の小屋はなかった。 志摩市志摩町和具78歳 P035
- ・いってない 志摩市和具78歳 P036
- ・祖母が海女だった為、行っていた。 志摩市志摩町御座64歳 P037
- ・中学を出てから練習した。浜で潜ったり。子どもの頃は、海女小屋はなかった。木を持って行って外で。 志摩市志摩町御座79歳 P038
- ・行っていない。 志摩市志摩町御座54歳 P039
- ・行ってない。 志摩市志摩町御座55歳 P040

68今と昔と比べて、海女小屋に小さいお子（お孫）さんは来ますか。

- ・小さい子どもは誰も来ない。子ども達も少なくなったし、子どもや孫がいて海女をしてる人も少ない。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・今は、子ども達が海女小屋に来る事は無い。子どもも少なくなった。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・今も、小さな子ども達が海女小屋に来るようなことは無い。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・海女小屋はゴリハマ。遠いので小さな子どもが来ることは無い。漁港の近くの祖母の海女小屋には連れて行ったことがある。保育園に行くようになってからは預けられるので連れて行かない。 鳥羽市神島40歳 P001
- ・来ない。島に子どもが少なくなった。採ってきた栄螺などを海女小屋で焼いて島外に居る孫達に送ってやることはある。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・子どもが小さい頃（小学生くらいまで）来ていた。
- ・ウニナド食べて喜んでいた。 鳥羽市答志72歳 P010
- ・自分の子どもは小学生の頃はきていた。 鳥羽市答志49歳 P008
- ・子どもが小学生の頃はきていた。 鳥羽市答志47歳 P007
- ・子どもは来ない。海が港になってしまって水深が深く危ないと大人が寄りつかせない。 鳥羽市答志50歳 P009
- ・30年ぐらい前に自分の子は来ていた。今は来ない。
- ・子どもは煙の匂いを嫌うからこない。 鳥羽市答志80歳 P011
- ・来ない。昔は、ばあさんたちが子守りしていて、火場に行ったが、今は保育所や塾があり、子どもは来ない。 鳥羽市答志83歳 P013
- ・来ない。煙すいこむこときらってこない。保育所もあり、塾など忙しくてこない。 鳥羽市答志82歳 P012
- ・来ない 鳥羽市菅島45歳 P016
- ・こない 鳥羽市菅島57歳 P018
- ・海女小屋はないが
- ・たき火をしているところにくる 鳥羽市菅島49歳 P015
- ・来る 鳥羽市菅島46歳 P014
- ・来る 鳥羽市菅島71歳 P017
- ・昔は来ていたが今は来ない。 鳥羽市石鏡80歳 P041
- ・来ない。 鳥羽市国崎63歳 P042
- ・今は菓子がいっぱいあるので来ない。 鳥羽市相差75歳 P043
- ・行っていた。 志摩市阿児町志島42歳 P024
- ・母親が海女であったので、よく行った。 志摩市阿児町志島67歳 P025
- ・遊びに行った。 志摩市阿児町志島72歳 P026
- ・母親が海女であったので、よく行っていた。 志摩市阿児町志島81歳 P027

- ・行っていた。 志摩市阿児町志島88歳 P028
- ・来ない。 志摩市大王町波切43歳 P029
- ・よほど用があるときしか来まい。 志摩市志摩町和具78歳 P034
- ・来ない。 志摩市志摩町和具78歳 P035
- ・来てません用があれば来ます。 志摩市和具78歳 P036
- ・今は海女の年齢層が昔と違うので、来ない。みんな核家族で、他のところに住んでいる方が多い。現在（火場には韓国出身の女性と2名でいる） 志摩市志摩町御座64歳 P037
- ・昔は、浜へ、子守りしているおばあさんが、赤ちゃんを連れて行き、母親にお乳を飲ませる。今は見たことない。 志摩市志摩町御座79歳 P038
- ・今は、海女小屋には5人のノリアイの仲間という。今年の夏から、同じ火場の方が、毎日ではないが、お孫さん（2才）とお嫁さんが一緒に来ることある。自分の子どもは男の子だし、来ない。他人がいるから、海女小屋へ遊びに来ることはない。 志摩市志摩町御座54歳 P039
- ・煙たいし、暑いし、嫌がって来ない。海女を始めた頃（20年前）は、海女小屋には、1人ではなかった為、海女小屋には、連れていかないようにしていた。 志摩市志摩町御座55歳 P040

69お子さんと海女（海士）や漁について話をしますか。

- ・男の子が三人いたが、子どもに漁の話をするのは、あまり無かったように思う。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・テレビの「あまちゃん」を見て名古屋の孫が「お婆ちゃんも、こんなすんの」と聞いてくる。最近孫と話をする。自分の娘は、小さいときに1~2回、海女船に乗せていったことがある。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・（子どもはいない） 鳥羽市神島44歳 P002
- ・する。海女小屋で聞いた事等を家に帰ってから話すことはある。（鮑が夢の中に出てくる話とか、鮑を取り損ねた自分の失敗談など） 鳥羽市神島40歳 P001
- ・子どもに海女の仕事の話をした記憶はあまり無い。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・話す。磯についての話。アワビのいる良い所や悪いところなどの話を。 鳥羽市答志72歳 P010
- ・昔はどんなもの採ったかなど話したことはあるが今は家にいない。 鳥羽市答志49歳 P008
- ・今日は何とったの？などの話、晩の食べるものとして、ガゼやウニを持っていくのを楽しみにしていた。 鳥羽市答志47歳 P007
- ・話す。どんなものがとれるとか、海の底の様子の話。海の自然おぼえてほしいと積極的に話している。 鳥羽市答志50歳 P009
- ・海女や漁の話はする。獲れたたものや昔の話など 鳥羽市答志80歳 P011
- ・子どもはおばあさんにあずけて、仕事で忙しくあまり話はしなかった。今はよそにいていない。 鳥羽市答志83歳 P013
- ・今は、外に出ているのでしない。子どもが学校へ行っている頃は少ししたが、あまりしていない。 鳥羽市答志82歳 P012
- ・話す 鳥羽市菅島45歳 P016
- ・息子も2~3年海へ潜るので様子を話す 鳥羽市菅島57歳 P018
- ・話を 鳥羽市菅島49歳 P015
- ・話す耳に水が入るとぬけにくい、火にあたった石を耳にあてると水がぬけやすくなるなど 鳥羽市菅島46歳 P014
- ・話す 鳥羽市菅島71歳 P017
- ・子どもが海女ではないので話さない。 鳥羽市石鏡80歳 P041
- ・しない。 鳥羽市国崎63歳 P042
- ・娘が1人いるが家業の雑貨屋を継いでいるので、海女の話はしない。 鳥羽市相差75歳 P043
- ・しない。 志摩市阿児町志島42歳 P024
- ・孫が来たときは話をして聞かせる。 志摩市阿児町志島67歳 P025
- ・しなかった。 志摩市阿児町志島72歳 P026
- ・娘とはよく話した。会ったときに話しをする（孫に） 志摩市阿児町志島81歳 P027
- ・しなかった。 志摩市阿児町志島88歳 P028
- ・しない。 志摩市大王町波切43歳 P029
- ・ない。 志摩市大王町波切58歳 P030
- ・しない。 志摩市大王町波切65歳 P031

- ・あまりすることはない。 志摩市志摩町和具78歳 P034
- ・昔はよくしたが今はしない。 志摩市志摩町和具78歳 P035
- ・しない 志摩市和具78歳 P036
- ・子どもが近くにいないし、しないが、帰省した時は、たまに少しは話す。 志摩市志摩町御座64歳 P037
- ・子どもいない為しない。 志摩市志摩町御座79歳 P038
- ・子どもは今は、社会人になっていて、よそに住んでいる。たまに家へ帰ってきたら、たまに話すくらい。子どもからも聞いてこない。 志摩市志摩町御座54歳 P039
- ・しない。 志摩市志摩町御座55歳 P040

70そのお子さんは、海女（海士）になりましたか。

- ・海士をやっている子どもはいない。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・子ども達は、みんな海女（海士）にはならなかった。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・（子どもはいない） 鳥羽市神島44歳 P002
- ・現在、小学生。子どもが漁師や海士になることに反対はしない。その子がやりたいと思えば、その道に進めばいいと思っている。 鳥羽市神島40歳 P001
- ・ならない。子ども等は私等が朝の2時頃漁に出て、帰って着替えて海女に行くのを見てきた。その仕事を引き継ぐとは言わなかった。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・二人の娘は海女になった。 鳥羽市答志72歳 P010
- ・子どもは4人いるが家に残っていない。 鳥羽市答志49歳 P008
- ・なっていない。 鳥羽市答志47歳 P007
- ・男1人、女2人の子どもいるが、なっていない。 鳥羽市答志50歳 P009
- ・息子は漁師になっているが、娘は白山町に嫁にいつてなっていない。 鳥羽市答志80歳 P011
- ・息子はえびひきの漁師になった。他の男の子は伊勢に就職、娘は大阪に嫁いでいる。 鳥羽市答志83歳 P013
- ・息子は漁師を継いでいるが、娘は愛知県へ就職し、そちらに嫁いで海女になっていない。 鳥羽市答志82歳 P012
- ・まだ未成年のため遊びでもぐる程度 鳥羽市菅島45歳 P016
- ・魚の漁がない時に潜る程度 鳥羽市菅島57歳 P018
- ・休みの日に、口開けされると行くぐらい 鳥羽市菅島49歳 P015
- ・まだ小さい（保育所）のでどうなるかわからない 鳥羽市菅島46歳 P014
- ・海女になった 鳥羽市菅島71歳 P017
- ・ならない。 鳥羽市石鏡にもいない。 鳥羽市石鏡80歳 P041
- ・ならなかった。女の子2人子どもがいるが生活が不安定な海女はさせようと思わなかった。 鳥羽市国崎63歳 P042
- ・ならなかった。 鳥羽市相差75歳 P043
- ・ならない。 志摩市阿児町志島42歳 P024
- ・娘にもよく話したが愛知県へ出たので海女にはならなかった。 志摩市阿児町志島67歳 P025
- ・海女にならなかった。 志摩市阿児町志島72歳 P026
- ・ならない。他出（桑名で生活している）。 志摩市阿児町志島81歳 P027
- ・ならなかった。しかし孫が海女になった。 志摩市阿児町志島88歳 P028
- ・わからない（これからのことであるので） 志摩市大王町波切43歳 P029
- ・ならない。 志摩市大王町波切58歳 P030
- ・ならなかった。 志摩市大王町波切65歳 P031
- ・子どもは男で海女にはならない。 志摩市志摩町和具78歳 P034
- ・違う仕事に就いた。 志摩市志摩町和具78歳 P035
- ・してない 志摩市和具78歳 P036
- ・なっていない。 志摩市志摩町御座64歳 P037
- ・子どもいない為しない。 志摩市志摩町御座79歳 P038
- ・なっていない。 志摩市志摩町御座54歳 P039
- ・なっていない。 志摩市志摩町御座55歳 P040

○技術の伝承

71海女漁について、先輩世代や同世代の方から、見て学んだことや教えてもらえることを具体的にあげ

て下さい。

- ・ノミの使い方は母親から。鮑の居そうな場所や採り方等は主人の叔母や従兄弟から。細かいことは口で教わらなくても見ている間に自然と覚えた事の方が多い。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・誰からも教えてもらわなかった。潜り方も採り方も道具も、自然と覚えた。初めはも採れんこともあるけど、人の潜るのを見ていると独りでに覚えていくもの。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・母に教えられたものは少ない。最初は見よう見まねで始めた。父から磯を、泳ぎ方や鮑が居そうな場所、ノミの使い方は叔母から教わった。後は回りの人が潜っている動作を見て覚えた。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・海女に関することは全て。水中メガネをヨモギ等で拭くと曇らない事やメガネの付け方、身体に付ける重りの数、鮑の居る場所や危険な場所、ノミの使い方、寒さから身体を守る方法など。 鳥羽市神島40歳 P001
- ・母親が海女が好きで、潜り方や鮑の居そうな場所は教えてもらったが、採り方は自然と自分で覚えた。鮑は住む場所があって同じ場所に居る。採った後が白く残るので他の海女が採った場所も判る。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・教えてもらったことはあまりない。見よう見まねでおぼえた。イソモンオコシや小ミノの使い方など 鳥羽市答志72歳 P010
- ・イタボの採り方や磯場のこと、潜る時の注意点など 鳥羽市答志49歳 P008
- ・母や義母にイタボやイノカイの採り方や磯場について教えてもらった。 鳥羽市答志47歳 P007
- ・道具の使い方、潮や風によって潜る場所を変えることなど。 鳥羽市答志50歳 P009
- ・先輩に人に聞くことはよくない、自分で見てむねすめと教えられた。
- ・採り方もあまり教え合いしなかった。 鳥羽市答志80歳 P011
- ・友だちに、あわびがどのような所にいるか教えてもらった。(具体的な場所は秘密) 鳥羽市答志83歳 P013
- ・親からは、フンドウとすかりがひっかからないように注意されたり、獲物のいる場所教えてもらった。 鳥羽市答志82歳 P012
- ・潜る場所、潮の流れや早さ 鳥羽市菅島45歳 P016
- ・のみの使い方、アワビのいる場所など 鳥羽市菅島57歳 P018
- ・母や先輩らが入っている所の島を覚えて、一人で入れるかためしてから漁する 鳥羽市菅島49歳 P015
- ・あらめの生えている所の根の部分にサザエがいること、みつけたらノミを即入れる。入れまちがえたら、ひっついてとれなくなってしまう、体で覚えるしかない 鳥羽市菅島46歳 P014
- ・サザエやアワビのいるところを覚えてもらった 鳥羽市菅島71歳 P017
- ・自然に覚えた。 鳥羽市石鏡80歳 P041
- ・アワビの居そうな沖の石や瀬を覚えてもらったことがある。 鳥羽市国崎63歳 P042
- ・海女仲間同志では教えてくれない。よくとる人を観察して学んだ。カンを働かせるという。 鳥羽市相差75歳 P043
- ・すべてのことを覚えてもらった。 志摩市阿児町志島42歳 P024
- ・覚えてもらった。特にサナエさんに覚えてもらった。 志摩市阿児町志島67歳 P025
- ・潜き全般を年長者から教えて貰った。 志摩市阿児町志島72歳 P026
- ・覚えて貰った。磯場の様子など。 志摩市阿児町志島81歳 P027
- ・すべてのことを見たり聞いたりして習った。 志摩市阿児町志島88歳 P028
- ・漁場の様子など。 志摩市大王町波切43歳 P029
- ・すべてのことを覚えてもらった。 志摩市大王町波切58歳 P030
- ・泳ぎ方から、潜き全般を習った。 志摩市大王町波切65歳 P031
- ・子どもの頃から見よう見まねで海女の様子を見ていた。トマエから覚えてもらうことが多かった。 志摩市志摩町和具78歳 P035
- ・海女についてルールみたいなこと 志摩市和具78歳 P036
- ・今では、自分が教える立場で、覚えてもらえそうな方はいない。 志摩市志摩町御座64歳 P037
- ・中学卒業後、海女少ししたけど(ミキモト真珠島)、耳を悪くして一旦やめて、結婚、真珠養殖していた。 志摩市志摩町御座79歳 P038
- ・昔も今も、休憩中、潮の流れが今日は、こういう感じだから、こう行った方が楽だよ、島の陰だったら・・・など、その時の海の状態の話をして、危険をみんなで回避する。ここにサザエがいるから・・・
- ・など話して、船から降りるところを決めたりする。 志摩市志摩町御座54歳 P039
- ・場所(どこどこに行けば・・・)とり方(アワビなどがこんなところにいる場合ノミをこう使うとい

いヨ) など年輩の海女さんに教えてもらった。 志摩市志摩町御座55歳 P040

○潜水の技術

72 1回の作業時間内で、何回、海に潜れますか。

- ・19回 (一潜、1時間をストップウォッチで計測した結果)。水深約9m。開始時間・午前11時45分。ドンボリを落とす時に何時も時計を見る。大体1分位。あまり長いと心配になる。それでも昔と比べると短くなった。年には勝てない。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・45回 (一潜、1時間をストップウォッチで計測した結果)。水深1.5m。開始時間・午前9時15分。この日は、海に酔った。潜ると海に酔うことがある。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・ハッキリとは判らないが30回は潜ると思う。鮑が岩にくっついてしまうと採れるまで3回、4回同じ場所を潜ることもあるから、30回は越えると思う。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・深いところはまだ怖い。自分の背くらいの場所で採っているの、潜って直ぐ顔を上げてと言うのを繰り返しているだけ。すぐ上がってくるから何回くらいなのか判らない。 鳥羽市神島40歳 P001
- ・約26回 (一潜、1時間の内、30分間をストップウォッチで計測した結果)。水深3~5m。開始時間・午前9時15分。若い頃はもっと潜る回数も多く、潜る時間も長かった。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・今は作業時間は1時間半で、数えてことはないが50~100回の間だろう。 鳥羽市答志72歳 P010
- ・数えたことはないのだからわからないが、およそ100回ぐらいか 鳥羽市答志49歳 P008
- ・数えてことはないが、息が短いので、1時間半の操着時間の間にも約100回ぐらい。 鳥羽市答志47歳 P007
- ・数えたことはない。浅い所を潜るので、約100回ぐらいか 鳥羽市答志50歳 P009
- ・数えたことはない。約100回までぐらいか 鳥羽市答志80歳 P011
- ・数えたことはないが、約50回ぐらい。 鳥羽市答志83歳 P013
- ・数えたことないが、約50回ぐらいだと思う。 鳥羽市答志82歳 P012
- ・数えて潜らないが20~30回位 鳥羽市菅島45歳 P016
- ・数えたことがないが、場所を変えながら60回位かな? 鳥羽市菅島57歳 P018
- ・数えたことがない 鳥羽市菅島49歳 P015
- ・数えたことないのでわからない 鳥羽市菅島46歳 P014
- ・数えたことがないのでわからない 鳥羽市菅島71歳 P017
- ・数えられない。潜る場所の深さ、獲物によって違う。場所を移動すると回数も減る 鳥羽市石鏡80歳 P041
- ・わからない。 鳥羽市国崎63歳 P042
- ・数えた事はない。 鳥羽市相差75歳 P043
- ・70回ぐらい。 志摩市阿児町志島42歳 P024
- ・100回ぐらいまで。(9時~11時の間) 志摩市阿児町志島67歳 P025
- ・50回から60回ぐらい、海の状態や体の状態で一定していない。 志摩市阿児町志島72歳 P026
- ・100回ぐらい。 志摩市阿児町志島81歳 P027
- ・60回ぐらい。 志摩市阿児町志島88歳 P028
- ・80回~100回ぐらい。5mぐらいの浅い所を潜るので。 志摩市大王町波切43歳 P029
- ・100回ぐらい。浅い所を潜るので。 志摩市大王町波切58歳 P030
- ・80回~90回ぐらい。(体の調子に異なる) 志摩市大王町波切65歳 P031
- ・1回(「ひとかしら」という)で約3分弱ぐらいか 志摩市志摩町和具78歳 P034
- ・時期でいろいろ 志摩市志摩町和具78歳 P035
- ・時期によって作業時間が違うので一概には言えない。2~3分に一度ぐらい 志摩市和具78歳 P036
- ・おそらく、1時間半の作業時間で100回ぐらい。 志摩市志摩町御座64歳 P037
- ・数えたことない。他の人より少ないと思う。とのこと。 志摩市志摩町御座79歳 P038
- ・備考欄へ記入。 志摩市志摩町御座54歳 P039
- ・ものを入れる以外は、たんぼにつられない。(タンポにつかまらない) 数えたことはないが、浅いところに潜ることが多いので、他の人より潜る回数は多い。あまり息を整えない。 志摩市志摩町御座55歳 P040

73 1回の潜水で、何秒くらい潜れますか。

- ・約55秒 (上記の潜水回数の平均)。潜っている時間が長い時は鮑を採っている事が多い。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・約19秒 (上記の潜水回数の平均) 鳥羽市神島62歳 P003

- ・1回の潜水時間はハッキリとは判らないが、平均したら約40秒くらいかな。鮑が居ると一生懸命採ろうとするので長くなる。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・まだ、潜ると言えるところまでいっていない。直ぐに上がってくる。自分では全然判らないが、時間を計るところまで行かない。 鳥羽市神島40歳 P001
- ・約33秒（上記の潜水回数の平均）。鮑をみつけて採る時は時間が長くなる。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・50～60秒力入ると短くなる。 鳥羽市答志72歳 P010
- ・約30秒 鳥羽市答志49歳 P008
- ・約30秒 鳥羽市答志47歳 P007
- ・約40秒 鳥羽市答志50歳 P009
- ・1分から1分半ぐらい 鳥羽市答志80歳 P011
- ・約50秒 鳥羽市答志83歳 P013
- ・昔は1分ぐらいだったが、肺手術したので今は30秒ぐらい。 鳥羽市答志82歳 P012
- ・40秒 鳥羽市菅島45歳 P016
- ・60秒前後 鳥羽市菅島57歳 P018
- ・30秒位 鳥羽市菅島49歳 P015
- ・20秒くらい 鳥羽市菅島46歳 P014
- ・40秒ぐらい 鳥羽市菅島71歳 P017
- ・30～40秒 鳥羽市石鏡80歳 P041
- ・計ったことはないが、40秒くらい。 鳥羽市国崎63歳 P042
- ・計ったことないが、40～50秒。 鳥羽市相差75歳 P043
- ・50秒 志摩市阿児町志島42歳 P024
- ・45秒 志摩市阿児町志島67歳 P025
- ・60秒ぐらい。 志摩市阿児町志島72歳 P026
- ・50秒～60秒 志摩市阿児町志島81歳 P027
- ・50秒 志摩市阿児町志島88歳 P028
- ・50秒 志摩市大王町波切43歳 P029
- ・45秒（陸から行って潜る海女） 志摩市大王町波切58歳 P030
- ・50秒 志摩市大王町波切65歳 P031
- ・約30～40秒くらい。水深により違うし、最近潮が速くて短い。 志摩市志摩町和具78歳 P034
- ・4～50秒だと思う。 志摩市志摩町和具78歳 P035
- ・一分以内 志摩市和具78歳 P036
- ・30秒～60秒。 志摩市志摩町御座64歳 P037
- ・50秒位かな。（大体2m～3m位の深さのところを潜っている。） 志摩市志摩町御座79歳 P038
- ・裏海では長く潜れる。表海の方が負担かかる。30～60秒位だと思う。 志摩市志摩町御座54歳 P039
- ・30秒～40秒位。 志摩市志摩町御座55歳 P040

○組織

74みなさんの地区に、海女組合のようなものはありますか。

- ・漁業組合とは別に海女等の磯部組合というのが有った。具体的な仕事はハッキリしない。決め事は海女たちが集まって相談した。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・海女を始めた頃は「海女組合」言うのは無かった。「磯部組合」と言うにはあった。磯部さん（伊雑宮）へお参りに行きよった。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・私が海女を始めた頃には、もう海女組合と言うのは無かった。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・漁業組合はあるけど（海女の組合のことは）知らない。私が潜るようになってからは聞いたことが無い。 鳥羽市神島40歳 P001
- ・昔はあったが、今は無い。私らが覚えている組合は、日和を見る（海女の口をあける）だけが仕事みたいなものだった。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・漁協の組合員で海女業者として入ってる。100人ぐらいだろう。入ってないと潜れない。 鳥羽市答志72歳 P010
- ・漁協の海女業者に入っている。 鳥羽市答志49歳 P008
- ・漁協の海女業者に登録している。 鳥羽市答志47歳 P007
- ・漁協の海女業者に登録。3年ぐらい前は86名の登録であった。男の役員を世古で決めて、役員がいろいろ決める。 鳥羽市答志50歳 P009
- ・漁協の海女業者に登録。夏は100人ぐらい

- ・世古で男の役員4名ずつ選び、役員たちが海女漁のこと決める。 鳥羽市答志80歳 P011
- ・漁協の海女業者に登録。60人ぐらい。
- ・代表者が組合と口開け相談。 鳥羽市答志83歳 P013
- ・組合に海女業者として登録している。代表者が口開けについて漁協と相談している。 鳥羽市答志82歳 P012
- ・ない 鳥羽市菅島45歳 P016
- ・ない 鳥羽市菅島57歳 P018
- ・ない 鳥羽市菅島49歳 P015
- ・ない 鳥羽市菅島46歳 P014
- ・ない 鳥羽市菅島71歳 P017
- ・ある 鳥羽市石鏡80歳 P041
- ・特にないが漁業組合に海女の役員がいる。 鳥羽市国崎63歳 P042
- ・組合に海女の役員がいる。代表として。 鳥羽市相差75歳 P043
- ・ない。 志摩市阿児町志島42歳 P024
- ・特にない。 志摩市阿児町志島67歳 P025
- ・ない。 志摩市阿児町志島72歳 P026
- ・特にない。甲吹、畔名、志摩の海女がまとまっているが組合などはない。 志摩市阿児町志島81歳 P027
- ・ない。 志摩市阿児町志島88歳 P028
- ・ある。 志摩市大王町波切43歳 P029
- ・ある。 志摩市大王町波切58歳 P030
- ・海女仲間で作る会がある。(会費払う) 志摩市大王町波切65歳 P031
- ・海女同盟会年明けに総会がある。 志摩市志摩町和具78歳 P034
- ・和具には海女同盟会がある。 志摩市志摩町和具78歳 P035
- ・あります(海女同盟会) 志摩市和具78歳 P036
- ・あります。男女あわせて25名くらい。 志摩市志摩町御座64歳 P037
- ・あります。 志摩市志摩町御座79歳 P038
- ・あります。 志摩市志摩町御座54歳 P039
- ・あります。 志摩市志摩町御座55歳 P040

○漁場選択

75仲間の中で、漁をする場所をどのように選び、決めていますか。

- ・今は、ドンボリも1組だけ。潜る場所はその日の潮の流れや、風向き、水の濁りやこれまでの経験で二人で話しあって決める。ドンボリを始めてから長いので海底の地形は大体判っている。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・潮時によって行く場所を変える。以前から行っている海女は「ヤマテ」というのがあるが、私は無い。場所は何時も「ヒガシノイソ」が中心。彼方此方と場所を変えたりはしない。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・船頭が潮の加減を見て「今日は此处」、二潜目は「此处へ行こうか」と言う感じで決める。個人の場所が決まっているわけではない。
- ・自分が潜りたいところに潜ればいい。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・自分の得意な場所がある。同じ場所に他の海女さんが潜りに来ることは無い。ただ、一人では危険な離れた漁場は二人で行き、その岩の回りを二人で見る事は有るようだ。 鳥羽市神島40歳 P001
- ・その日の潮時や潮の流れ、前日の漁の加減等も見て、船頭と相談して決める。漁場はみんなのもの。早く行った者がその場所を潜る。一度船から下りたら、後は自分の経験で泳いで移動する。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・船人なので船頭(主人)と潮のかげんで決める。オケドとして鳥羽磯に行く場合、潮、風の具合で決める。 鳥羽市答志72歳 P010
- ・船の仲間たちと潮や風の様子で決めている。 鳥羽市答志49歳 P008
- ・船の仲間とその日の風や潮の様子によって相談して決めている。 鳥羽市答志47歳 P007
- ・相談して決める。年長者を中心に潮、風の様子を見て、潜りやすいところを決める。 鳥羽市答志50歳 P009
- ・潮、風のぐあいで船頭と決める。
- ・冬のナマコ漁のときは旗立ててある沖を潜る。 鳥羽市答志80歳 P011
- ・大まかには、今日は岩手の磯か、大築海の磯か、船頭と相談して決めるが、一人一人ちがうので相談

しない。 鳥羽市答志83歳 P013

- ・ だいたい船頭とその日の状況によって決めるが海女ごとに潜る場所は決める。 鳥羽市答志82歳 P012
- ・ 潮時で決める 鳥羽市菅島45歳 P016
- ・ 去年の漁があったような場所 鳥羽市菅島57歳 P018
- ・ たくさんとれるところをえらぶ 鳥羽市菅島49歳 P015
- ・ その日の海の状況をみてかえる 鳥羽市菅島46歳 P014
- ・ 潮時によって決める 鳥羽市菅島71歳 P017
- ・ 小屋ごとに決まっている。ずっと同じところ 鳥羽市石鏡80歳 P041
- ・ 冬磯は自由だがアワビとりは漁場が決定し、それに従う。 鳥羽市国崎63歳 P042
- ・ カチドは思い思い勝手に決め、船で行く人は前回とちがった所を選んで操業している。 鳥羽市相差75歳 P043
- ・ 海女と船頭で相談の上決める。 志摩市阿児町志島42歳 P024
- ・ 潮の流れを見てきめる。 志摩市阿児町志島67歳 P025
- ・ 海女と船頭で決める。 志摩市阿児町志島72歳 P026
- ・ その日の潮の流れを見て決める。 志摩市阿児町志島81歳 P027
- ・ 海女と船頭で決める。その日の海の状態による。 志摩市阿児町志島88歳 P028
- ・ 陸から行く海女であるが、1人では勝手には行かず、グループで相談してその日の潜る場所を決める。 志摩市大王町波切43歳 P029
- ・ 海女のグループが小屋に集まって相談して決める。 志摩市大王町波切58歳 P030
- ・ 舟人であるので、その日の海の様子を見て2人で相談して決める。 志摩市大王町波切65歳 P031
- ・ 相談して決めるが、どうしても行きたい場所があると一番最初にそこで下ろしてもらおう。 志摩市志摩町和具78歳 P034
- ・ 私は徒人（数人で乗り合い船で創業）なので皆で相談して決める。 志摩市志摩町和具78歳 P035
- ・ 潮の流れなどみて、みなで相談。どうしても行きたいときは、そこへおろしてくれる 志摩市和具78歳 P036
- ・ その時の、風、波、潮の速さ、濁りで決める。濁っている時は、海藻がすくない際のところへ行く。 志摩市志摩町御座64歳 P037
- ・ 特に決まってない。徒人で自分の場合は、あまり深いところへは行かない。 志摩市志摩町御座79歳 P038
- ・ その日の海の状況。波、潮の流れ、風、澄み具合。濁っている時は、浅瀬でないとダメ。 志摩市志摩町御座54歳 P039
- ・ 徒人なので、自分の好きなおところへ行く。 志摩市志摩町御座55歳 P040

76アワビやサザエ等、根付きのものがいる場所（海の底）は、どんな呼び方をしていますか。（裏面のイラスト参照）

- ・ 島の下は「シマシタ」、岩や島の横側は「島のハラ」、岩の割れ目は「ハッサクレ」とか「ミゾヤ」、テトラポットは「タコ」、岩の上は「テッペン」、岩が大きく窪んだ所は「ガマ」、洞窟は「ボラ」。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・ 洞窟は「ボラ」、岩の上は「テッペ」、その横は「ヨコタ」とか「ヨコタンボ」、岩の割れ目は「ハッサクレ」、島の下側は「シマシタ」、小さな島と島の間は「コダケシ」と行ったりする。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・ 岩の割れ目は「ハッサクレ」。岩の上は「シマウエ」。「島の横に居った。這い上がってきとる」と言ったりもする。洞窟みたいな所は「ボラ」、岩の下は「イワシタ」と言う。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・ 岩の隙間のことを「ハッサクレ」と言い、洞穴のような場所は「ボラ」って言っているようだ。 鳥羽市神島40歳 P001
- ・ 岩と岩の間は「岩のあいさ」。洞穴は「ボラ」。岩の上は「テッペン」鮑の居そうな島を「シマツキ」等言う。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・ 直接見えないところは「アナ」岩の側面など見えるところは「デンド」とよんでいる。 鳥羽市答志72歳 P010
- ・ 直接見えないところは「穴」、直接見えているところは「デント」という 鳥羽市答志49歳 P008
- ・ 直接見えないところは「アナ」、直接見えているところは「デント」という 鳥羽市答志47歳 P007
- ・ 直接見えないところは「穴」、見えるところは「デント」という。岩ばかりのところは「デコデコ」という。 鳥羽市答志50歳 P009

- ・直接見えるところは「デント」、見えないところは「アナ」、黒アワビは「アナ」に、赤アワビは「デント」にいる。 鳥羽市答志80歳 P011
- ・岩のすきまはアナ、岩の上はデントー、岩の側面はハラという。 鳥羽市答志83歳 P013
- ・アナと岩の上はデントー、岩の側面はハラという。 鳥羽市答志82歳 P012
- ・ガマ、ボラ 鳥羽市菅島45歳 P016
- ・ハサ、ボラ、ガマ 鳥羽市菅島57歳 P018
- ・ボラ、ハサ 鳥羽市菅島49歳 P015
- ・ボラ、はさくら 鳥羽市菅島46歳 P014
- ・ボラ、ハサクラ 鳥羽市菅島71歳 P017
- ・ツブレ、シタヤ、ハサ 鳥羽市石鏡80歳 P041
- ・セ、カワラ、石の下、セの穴。 鳥羽市国崎63歳 P042
- ・シマのアイ、狭いすき間を「ハサ」と呼ぶ。 鳥羽市相差75歳 P043
- ・根とっている。 志摩市阿児町志島42歳 P024
- ・根とっている。 志摩市阿児町志島67歳 P025
- ・根とっている。 志摩市阿児町志島72歳 P026
- ・漁場→網代岩の間→間（ま）岩の上→瀬（せ） 志摩市阿児町志島81歳 P027
- ・海の底は根という。 志摩市阿児町志島88歳 P028
- ・Fさんに同じ。 志摩市大王町波切43歳 P029
- ・アジロ 志摩市和具78歳 P036
- ・キレット 志摩市志摩町御座64歳 P037
- ・サザエは瀬に多い。フクダメは浅いところのキレットにいる。アワビは深いところに多い。 志摩市志摩町御座79歳 P038
- ・キレット、ボラ（穴のことをボラと言う）。 志摩市志摩町御座54歳 P039
- ・岩の穴（ゴボチ）、キレット、ゾレ（瀬のつけ根）。 志摩市志摩町御座55歳 P040

○衣装

77ドーマン、セーマンは、現在どこにつけていますか。

- ・祭りの時に付けるだけで、海女に行くときは付けない。伊雑宮の手拭いを髪上げに、八代神社のお札をメガネ箱の中に入れてある。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・磯着の頃はカミアゲに印を付けて髪の毛が落ちないようにハチマキのように頭に巻いていたが、今はもう何処にも付けていない。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・メガネ箱と、清めてもらったサラシに、大工に「クジ」をきってもらい縫い込んだものを身体（スーツの中）に付けている。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・初めから付けていない。「付けなさい」って言うような事を言われた記憶もあまり無いように思う。 鳥羽市神島40歳 P001
- ・何処にも付けていない。神島の八代神社の「御守り」は、今年のはメガネに、去年のは神棚に、その前の物は六日祭で燃やす。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・ウェットスーツの帽子につけている。 鳥羽市答志72歳 P010
- ・ウェットスーツの帽子に 鳥羽市答志49歳 P008
- ・ウェットスーツの帽子 鳥羽市答志47歳 P007
- ・ウェットスーツの帽子 鳥羽市答志50歳 P009
- ・ウェットスーツの帽子 鳥羽市答志80歳 P011
- ・ウェットスーツの帽子には青峰さんのハンコだけでつけていない。コノミの木の柄の表と裏にドーマン、カーマンをかいている。 鳥羽市答志83歳 P013
- ・昔は髪あげの手ぬぐいに書いていたが、現在はウェットスーツの帽子の青峰さん印だけで、つけていない。 鳥羽市答志82歳 P012
- ・つけていない 鳥羽市菅島45歳 P016
- ・カシラジメで頭につける 鳥羽市菅島57歳 P018
- ・カンキツミ、ミノ、テヌグイ、ウェットスーツのファスナーの内側 鳥羽市菅島49歳 P015
- ・イソテヌグイのおでこにあたる場所 鳥羽市菅島46歳 P014
- ・テヌグイのおでこにあたる部分 鳥羽市菅島71歳 P017
- ・ウェットスーツの帽子、額の上に白で書く 鳥羽市石鏡80歳 P041
- ・特につけないが、青峯山のお札をメガネに結びつけることもある。（海上安全のため） 鳥羽市国崎63歳 P042

- ・今はほとんどつけないが青峯さんのお守りをメガネにしばって海上安全のお守りとする。 鳥羽市相差75歳 P043
- ・白木綿の帽子の正面に星形（マジックで） 志摩市阿児町志島42歳 P024
- ・三つ折りにした手拭いのひたいの中央に来る位置。 志摩市阿児町志島67歳 P025
- ・白木綿の帽子があって、正面に星形えをマジックで書く。 志摩市阿児町志島72歳 P026
- ・手ぬぐいを三つ折りにして、ひたいにあたる所。 志摩市阿児町志島81歳 P027
- ・白木綿の帽子があり、それに星形を書く。（マジックで） 志摩市阿児町志島88歳 P028
- ・つけない。 志摩市大王町波切43歳 P029
- ・ない。 志摩市大王町波切58歳 P030
- ・していない。 志摩市大王町波切65歳 P031
- ・セーマンはあまりつけない（和具では少ない）
- ・ドーマンは全くない。 志摩市志摩町和具78歳 P034
- ・☆を黒糸で縫付けた。他に青峰山や信尊山の朱印の手ぬぐいを使用（漁協からシーズン始めに支給） 志摩市志摩町和具78歳 P035
- ・帽子 志摩市和具78歳 P036
- ・つけていない。 志摩市志摩町御座64歳 P037
- ・つけない。帽子につけている人いる。（相差からお嫁に来た方）黒色で縫い針で。 志摩市志摩町御座79歳 P038
- ・つけていません。 志摩市志摩町御座54歳 P039
- ・白の帽子は、その日の気分によって、ウェットの外か内にかぶるか決めている。→白の帽子（サメよけ）を、ウェットスーツの外側か内側にかぶる。その帽子に、マジックで、おでこ〜頭上近くを書いてある。 志摩市志摩町御座55歳 P040

78ウェットスーツを着ることで、漁で採るものや操業期間、一日の操業時間は、どう変わりましたか。

- ・一日三潜を二潜に、1年で15日間の操業を20日にした。以前は6月1日から海女の口を開けたが、スーツを着るようになって寒く無くなったので口開けを5月20日にした。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・磯着の時は三潜。午前中二潜、午後一潜。ウェットスーツになってから二潜になったかな。一潜の時間は1時間、それは変わらないが、漁の口が開く日数が15日から、20日になった。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・海女を始めた時からウェットスーツを着ていた。海女の口が開く期間も数回も時間も今と同じ。海女を始めた時と変化は無い。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・海女を始めてまだ5年ほど。スーツを着るようになってからは、操業の時間も何も変わってない。 鳥羽市神島40歳 P001
- ・以前は一潜1時間、一日三潜。今は一潜1時間、一日に潜。その代わり口を開ける日数は、15日から20日になった。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・木綿の着物の時は、すぐ寒くなるので時間も短かった。深く潜れなかった。昔は朝9時～午後2時まで何回も潜っても良かった。 鳥羽市答志72歳 P010
- ・潜りはじめてからウェットスーツなのでわからない。 鳥羽市答志49歳 P008
- ・最初からウェットスーツだったのでわからない。 鳥羽市答志47歳 P007
- ・初めからウェットスーツなのでわからない。 鳥羽市答志50歳 P009
- ・採るものはわからない。ウェットスーツ着るようになって操業時間や時間が決められるようになった。 鳥羽市答志80歳 P011
- ・寒くないので、答志では操業時間を午前中1回、午後1回の1時間半に制限、鳥羽磯では3～4時間潜っている。 鳥羽市答志83歳 P013
- ・寒くなくなったので、長く潜れるようになったので漁協が午前中1回午後1回に各1時間半に制限するようになった。 鳥羽市答志82歳 P012
- ・操業時間中寒くない 鳥羽市菅島45歳 P016
- ・ウェットスーツを着る事で1回の時間（1、5時間）いっぱいまで入ることができるようになったのでイソギの時は、1回潜ると寒くて船上にあがりドラム缶であたたまってからでない、次潜ることができなかった。2回潜るぐらいが精一杯だった。 鳥羽市菅島57歳 P018
- ・寒くないので、長い時間海に入っていられる
- ・一日の操業時間は一時間半 鳥羽市菅島49歳 P015
- ・かわらない、一日の操業時間は1時間半と以前から決まっている 鳥羽市菅島46歳 P014
- ・寒くなった、操業時間はわからない（一時間半） 鳥羽市菅島71歳 P017

- ・冷えないので長く潜れる 鳥羽市石鏡80歳 P041
- ・昔は1時間だったが今は1時間半になった。 鳥羽市国崎63歳 P042
- ・娘の頃から着用しているのだからわからない。 鳥羽市相差75歳 P043
- ・磯着で潜ったことがない。 志摩市阿児町志島42歳 P024
- ・春の潮のつめたいとき、能率が上がった。 志摩市阿児町志島67歳 P025
- ・長くなった。倍ぐらい。 志摩市阿児町志島72歳 P026
- ・春の海水温の低いとき、潜りの回数がふえ、とれるものも多くなった。 志摩市阿児町志島81歳 P027
- ・楽になった。それだけ長くなった。 志摩市阿児町志島88歳 P028
- ・磯着の経験がない。ウェットスーツ夏は3mmのもの。冬は4~5mmのもの。 志摩市大王町波切43歳 P029
- ・磯着の経験がない。 志摩市大王町波切58歳 P030
- ・磯着の経験がない。 志摩市大王町波切65歳 P031
- ・操業時間が決められるようになった。時間は1h~1h30m(1日2回)、伊勢えび漁のときは1日1回時間制限なし 志摩市志摩町和具78歳 P034
- ・深く潜れるようになった。作業効率がよくなった。 志摩市志摩町和具78歳 P035
- ・採るものは同じ操業時間1~1h半 志摩市和具78歳 P036
- ・海女を始めてから、ずっとウェットスーツ。 志摩市志摩町御座64歳 P037
- ・ウェットスーツ=スポンジという。徒人なので、6月から1日1回(2時間)、7月から1回(2時間半)一般的には、3月~5月は50分を2回。6月は60分を2回、クロウニ5月のみとる。ウニは(7月~9月14日まで) 志摩市志摩町御座79歳 P038
- ・海女を始めた20年前から、ずっとウェットスーツ。 志摩市志摩町御座54歳 P039
- ・最初からウェットスーツなので変わらない。 志摩市志摩町御座55歳 P040

79以前は採っていて、今採っていない漁獲物はないですか。それは、漁獲物が採れなくなったためですか。

- ・トコブシ、ウニ、イノカイは少なくなった。特にイノカイは「イノカイだけの口開け」があった。今は潜ってもほとんど見ない。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・ほとんど同じ。栄螺に鮑、フグダメ。イノカイは採れなくなった。赤ウニの以前は一日行ったら20個くらいは採ったが、その頃を思えば少なくなった。今年始めてホラ貝を採った。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・採れるものは変わっていない。鮑に栄螺、年に1~2個だが見つければイノカイ。今年はホラ貝を沢山とった。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・採る物も変わっていない。今は、潜れる所が限られているから採れる物も限られてくる。 鳥羽市神島40歳 P001
- ・採る物はあまり変わっていない。鮑と栄螺。採らなくなったのはフグダメとイノカイ。イノカイは本当に居なくなった。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・イノ貝がいなくなって採れなくなった。 鳥羽市答志72歳 P010
- ・イノ貝一ほとんどいなくなった。 鳥羽市答志49歳 P008
- ・イノ貝 鳥羽市答志47歳 P007
- ・イノ貝、テングサは商売にしないので採らなくなった。 鳥羽市答志50歳 P009
- ・イノ貝採れなくなった。15年ぐらい前は荒布の口あけあったが、今は生えていないのでなくなった。 鳥羽市答志80歳 P011
- ・イノ貝はいなくなったのでとれない。テングサ、フノリなどは金にならないので採らない。鳥羽磯ではヒジキとる。 鳥羽市答志83歳 P013
- ・イノ貝はいなくなったので採れない
- ・天草やオニグサ、フノリは、金にならないので採らない。 鳥羽市答志82歳 P012
- ・イノカイすくなくなった 鳥羽市菅島45歳 P016
- ・イノカイとれなくなった量も増えた 鳥羽市菅島57歳 P018
- ・イノカイ漁が減った 鳥羽市菅島49歳 P015
- ・イノカイいなくなった 鳥羽市菅島46歳 P014
- ・少なくなったが、今でも同じものをとっている(アワビ、サザエ) 鳥羽市菅島71歳 P017
- ・天草(面倒だから)全体的に獲物は減っている。 鳥羽市石鏡80歳 P041
- ・磯モノと呼ぶシリタカ(バテイラ)、シタダメはおらんようになった。 鳥羽市国崎63歳 P042

- ・イタブ（岩ガキ）は少なくなった。イギス（海草）は全く採れなくなった。 鳥羽市相差75歳 P043
- ・以前の経験がないのでわからない。祖母に聞くとアワビが少ないという。 志摩市阿児町志島42歳 P024
- ・特にない。強いていえば、クロアワビが減った。 志摩市阿児町志島67歳 P025
- ・アワビが激減。テングサが消えた。家庭の雑排水の流入で磯が汚したのも原因の1つ。 志摩市阿児町志島72歳 P026
- ・特にないが、クロアワビが減ってきている。 志摩市阿児町志島81歳 P027
- ・アワビが特に少なくなった。 志摩市阿児町志島88歳 P028
- ・アワビ 志摩市大王町波切43歳 P029
- ・アワビ 志摩市大王町波切58歳 P030
- ・アワビ、テングサ家庭排水によって磯が汚れ→磯焼現象 志摩市大王町波切65歳 P031
- ・獲物は変わらないが量が格段減った。 志摩市志摩町和具78歳 P034
- ・あまり変わらない。全体的にもものは少なくなった。 志摩市志摩町和具78歳 P035
- ・変わってない。 志摩市和具78歳 P036
- ・ない。全部40年前から同じもの。 志摩市志摩町御座64歳 P037
- ・ない。 志摩市志摩町御座79歳 P038
- ・アラメキリ（市場に売るほど、とれなくなった）。 志摩市志摩町御座54歳 P039
- ・同じ。変わらない。 志摩市志摩町御座55歳 P040

80潜る時に、おもりを身体に身につけますか。そのおもりの重さは、どのくらいのものですか。

- ・重り（ドンボリ）を抱えて潜っていくが、身体のも3ミリのスーツの時は4個、5ミリのスーツの時は5個付ける。1個1kg。ドンボリは鉛製で重さは12～13kg。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・重りは1個1キロの物を5個付けている。スーツは2着あるが厚みは同じ。（スーツや潜る深さで）重りを変えることは無い。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・重りは5個か6個。「潮の流れ」と言うか、深い所を潜る時は早く海底に着きたいので6個付ける。海女漁の口が開いた始めの頃は5個、後の方になると6個付ける事が多い。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・体重のゼロを1個取ったくらいを付けるのが良いと言われたように思う。初め4個付けていたが、今は5個。重り1個の重さは1キロ。重りは浮き上がれないような気がして怖い。 鳥羽市神島40歳 P001
- ・重りは1個1キログラムの物を5個付ける。若い時は6個付けていた。スーツの厚みで重りの数を変えることは無いが、以前は深さで変えた。深い所を潜るときは重りを増やした。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・ナマリのおもり、7～8kgを身につける。 鳥羽市答志72歳 P010
- ・おもりをつける。5～6kgのもの。 鳥羽市答志49歳 P008
- ・おもりをつける。5～6kg。 鳥羽市答志47歳 P007
- ・おもりつける。8kg。ウェットスーツは舟人は5ミリ徒人は3ミリの厚さのものつける。 鳥羽市答志50歳 P009
- ・おもりをつける。腰に10kg 鳥羽市答志80歳 P011
- ・10キロのおもりをつける。 鳥羽市答志83歳 P013
- ・10キロのおもりつける。 鳥羽市答志82歳 P012
- ・6kg（2kgのを2つと1kgのを2つ） 鳥羽市菅島45歳 P016
- ・3kg（1つ1kgで3つ） 鳥羽市菅島57歳 P018
- ・5kg 鳥羽市菅島49歳 P015
- ・体重によりちがう 鳥羽市菅島46歳 P014
- ・4kg 鳥羽市菅島71歳 P017
- ・5～6kg 鳥羽市石鏡80歳 P041
- ・ウェットスーツの厚さによりちがってくる。ジャージのみは4kg、スッポンジ（中）で5kg、厚物で6kgをつける。 鳥羽市国崎63歳 P042
- ・年をとると体が浮きやすくなり重りは多くなる。若い時で5つ半（5.5kg）老よりで六つ半（6.5kg）。 鳥羽市相差75歳 P043
- ・8kぐらい。 志摩市阿児町志島42歳 P024
- ・3kのおもりを腰につける。 志摩市阿児町志島67歳 P025
- ・ウェットスーツの厚さが3mmで2k～3kぐらい。5mぐらいまで潜るだけ。 志摩市阿児町志島72歳 P026

- ・3kのおもりをつける。 志摩市阿児町志島81歳 P027
- ・7k～8k ぐらい。 志摩市阿児町志島88歳 P028
- ・8k ぐらい。 ウェットスーツが新しいときは、浮力が大きいので、少し重いおもりをつける9k ぐらい。 志摩市大王町波切43歳 P029
- ・7k～8k ぐらい。 志摩市大王町波切58歳 P030
- ・ハイカラ潜りのため、17kの棒状の重り。 志摩市大王町波切65歳 P031
- ・浅いところほど浮力がある。 志摩市志摩町和具78歳 P034
- ・ウェットスーツの厚さによって変わる。 体型では余り変わらないが浅い所の方が体が浮きやすいみたい。 志摩市志摩町和具78歳 P035
- ・スーツの厚さにより3ミリ～3k～4k 志摩市和具78歳 P036
- ・必ずつけます。 その人の体重とウェットスーツの厚さによって変える。
- ・体重70kgの場合3mmのウエットの時は4kg+500g。 4mmのウエットの時は5kg+500g。 5mmのウエットの時8kgつける人いる。 志摩市志摩町御座64歳 P037
- ・黒いベルトを通して、おもりをつける。 60kgの体重で6, 5kg ぐらい。 志摩市志摩町御座79歳 P038
- ・つけます。 体重の10分の1以下。 5kg弱。 ノリアイなので、船の上で漁場に着いてから。 飛びこむ1分、2分前につける。 志摩市志摩町御座54歳 P039
- ・おもりをつけています。 体重の10分の1よりやや軽めの重さです。 志摩市志摩町御座55歳 P040

81昔と比べて、道具の形や素材は変わりましたか。また、ご自分で使い勝手のいいように変えたことはありますか。

- ・あまり気づかない。 ノミ、メガネ、マエスカリは形も材質も変わらない。 手袋は軍手からナイロン製に、ドンボリのロープはクレモナのような材質に、滑車は手から自動に、ドンボリは鉄から鉛に変わった。 ノミが少なくタコカギを使う人が増えた。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・以前は磯着で潜っていたがウェットスーツに替えた。 タンボは、初めから発泡スチロール。 メガネは今も「イジカメガネ」。 海女を始めた頃から形も素材もそんなに変化してないように思う。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・最初は細かいオオノミ（タコカギ）を使っていたが、幅の広いものと細かい物とコノミと三丁持っている。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・道具は海女を止めたお婆さん達から貰った物を使っている。 道具の変化はあまり判らない。 一度タコカギを落として無くしてから黄色のテープを巻くようにした。 鳥羽市神島40歳 P001
- ・オオノミからタコカギに替えた。 素材は変わらず鉄製。 タンボは木の樽から発泡スチロールに、スーツは厚みの違う物を持つようになった。 メガネは度の入った物や息の出来る物を使う人も居る。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・形や素材は変わらない。 大きなアワビがいなくなったため。「ノミ」（小ノミの大きなもの）は使わなくなった。 鳥羽市答志72歳 P010
- ・ステンレスのものも出たが、あまり使わない。 鳥羽市答志49歳 P008
- ・ステンレスのいそものおこしが出まわったが、あまり使わない。 鳥羽市答志47歳 P007
- ・コノミを普通より長くしてもらっている。（カジヤで） 鳥羽市答志50歳 P009
- ・変わらない。 鳥羽市答志80歳 P011
- ・素材はかわらない。 形も買った既成品をそのまま使っている。 鳥羽市答志83歳 P013
- ・素材はかわらない。 ステンレス製は使わない。 イソモノオコシも既成品買って、そのまま使っている。 鳥羽市答志82歳 P012
- ・ない 鳥羽市菅島45歳 P016
- ・イソオケ→タンボ志摩でつくってもらったのでノミを付けておくところやスニポウが取り付けられている 鳥羽市菅島57歳 P018
- ・磯オケ→タンボ 鳥羽市菅島49歳 P015
- ・変わらない 鳥羽市菅島46歳 P014
- ・イソギからウェットスーツにかわった 鳥羽市菅島71歳 P017
- ・発泡スチロールのウキワを自分達で作る。 カキ養殖の浮きを拾ってくる。 獲物によって大きさを変える。 鳥羽市石鏡80歳 P041
- ・ノミは変わらない。 S40年代よりカギノミ、タンボはS40年代は木製だった。 鳥羽市国崎63歳 P042
- ・地元のカジヤが居た頃はハガネの鉄製だったが今は組合が販売するステンレスノミである。 鳥羽市相差75歳 P043

- ・磯桶で潜った経験がない。 志摩市阿児町志島42歳 P024
- ・磯桶からタンポに変わった。 志摩市阿児町志島67歳 P025
- ・磯桶からタンポに変わった。 志摩市阿児町志島72歳 P026
- ・初めは、磯桶であったが、今はタンポ。
- ・磯のみは特注地元の鍛冶屋にたのむ。 志摩市阿児町志島81歳 P027
- ・磯桶からタンポに 志摩市阿児町志島88歳 P028
- ・特にない。 志摩市大王町波切43歳 P029
- ・磯桶の経験はない。道具を特注したことはない。 志摩市大王町波切58歳 P030
- ・初めからタンポ。 志摩市大王町波切65歳 P031
- ・磯めがねなどは使う人がいなくなったし、のみなども鍛冶屋が少なくなった。 志摩市志摩町和具78歳 P034
- ・ノミなどは鉄製がステンレスに変わった。 志摩市志摩町和具78歳 P035
- ・鉄からステンレスへ 志摩市和具78歳 P036
- ・桶から浮輪（タンポ）に変わった。ノミは同じ。 志摩市志摩町御座64歳 P037
- ・ノミは変わらない。めがねは歳をとり見えなくなってきた為、めがね屋さんで、老眼用のレンズをつけてもらった。 志摩市志摩町御座79歳 P038
- ・ウェットスーツの素材、昔はチタン入りではなかった。5年位前から内側にチタンがぬってあるウェットスーツ。外側にジャージの切れが貼ってある←やぶれやすすくないように！きりっぱなしの方があたたかい。内側がツルツルの素材じゃないと尿のにおいがつく。 志摩市志摩町御座54歳 P039
- ・ウェットスーツの素材は、変わりました。3年前位から、長持ちして温かい素材のものに変えました。ノミは砥石で、先っぽを整える。たまに、セメントなどで砥ぐ。 志摩市志摩町御座55歳 P040

82漁で得た収入は、記録を取られていますか。

- ・出荷の鮑の記録は何もしてない。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・漁獲量を記録する様なことはしていない。組合の伝票はあるが漁が終われば捨ててしまう。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・組合から渡される伝票を3～4年分は取ってあるが、特に記録はしていない。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・今年は、学校の仕事と重複する事が多く、まだ一度も出荷していないし、記録するほど採っていない。 鳥羽市神島40歳 P001
- ・組合から伝票を受け取るが、記録はしていない。お金は銀行へ振り込みになるし、以前とは違って伝票には金額が書かれていない。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・自分ではつけていない。漁協の伝票でわかる。 鳥羽市答志72歳 P010
- ・漁協の伝票で、自分ではつけていない。 鳥羽市答志49歳 P008
- ・漁協の伝票で登録。自分ではつけていない。 鳥羽市答志47歳 P007
- ・漁協の伝票と依頼された海産物を送るために多少はつけている。 鳥羽市答志50歳 P009
- ・自分の帳簿に記録している。どこで採ったかどれだけとれたかわかる。 鳥羽市答志80歳 P011
- ・10年ぐらい前の鳥羽磯に行くようになってからノートにつけている。1年ごとに残してない 鳥羽市答志83歳 P013
- ・毎日、日記につけている。おばあさんが死んだ時、ほとんど捨ててしまった。今は2～3冊残してある。 鳥羽市答志82歳 P012
- ・組合に水揚げをしたツケ 鳥羽市菅島45歳 P016
- ・組合に水揚げしたツケ 鳥羽市菅島57歳 P018
- ・していない 鳥羽市菅島49歳 P015
- ・組合に水揚げをしたツケが記録となっている 鳥羽市菅島46歳 P014
- ・組合に水揚げしたツケが記録となる 鳥羽市菅島71歳 P017
- ・組合の伝票をとってある 鳥羽市石鏡80歳 P041
- ・組合の伝票と大学ノートにもつけている。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・自分ではつけていない。組合が水揚げをつけてくれるから。 鳥羽市国崎63歳 P042
- ・いくらになったか楽しみなので帳面につけていた。 鳥羽市相差75歳 P043
- ・特にないが組合からの計算票でわかる。記録はしていない。 志摩市阿児町志島42歳 P024
- ・組合の伝票を集計する。 志摩市阿児町志島67歳 P025
- ・大体記録するだけ。 志摩市阿児町志島72歳 P026
- ・とってないが、市場の伝票を集計する。(所得税申告のため) 志摩市阿児町志島81歳 P027
- ・取っていない。2012年は30日しかでなかった。 志摩市阿児町志島88歳 P028

- ・つけている。大体年100万円ぐらい。 志摩市大王町波切43歳 P029
- ・10日単位の伝票があるが残してはいない。 志摩市大王町波切58歳 P030
- ・ない。 志摩市大王町波切65歳 P031
- ・つけている 志摩市志摩町和具78歳 P034
- ・詳しくつけていないがメモしている。 志摩市志摩町和具78歳 P035
- ・記録しています。(だいたいの事) 志摩市和具78歳 P036
- ・とってない。 志摩市志摩町御座64歳 P037
- ・漁協でも紙をもらうが、自分でノートに書いている。1ヶ月に1回位和具漁協に出す。 志摩市志摩町御座79歳 P038
- ・備考欄へ記入。 志摩市志摩町御座54歳 P039
- ・どこの場所に行ったなど、ほぼ毎日、自分で帳面につけている。市場でもらった伝票を重ねたりしている。 志摩市志摩町御座55歳 P040

83収入の使い途は、どうしていますか。

- ・組合から支払われる金は私の通帳に入るが、形がそうになっているだけ。二人で働いているので収入は二人で使う。普通の生活費。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・(一人暮らしなので)海女の収入は生活費。毎日の衣食住にあてている。 鳥羽市神島62歳 P003
- ・海女の収入は生活費。あとはウェットスーツを買い換えるときに使ったりするくらい。 鳥羽市神島44歳 P002
- ・去年の分は使わずに貯金。一応は自分が自由に使えるお小遣いのようなもの。 鳥羽市神島40歳 P001
- ・海女で採った金は生活費。自分の好きなように使うと言うことはない。年金が無くなれば出しに行く。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・家計に入れている。 鳥羽市答志72歳 P010
- ・家計に入れている。生活費たまに化粧品を買う。 鳥羽市答志49歳 P008
- ・家の生活費に 鳥羽市答志47歳 P007
- ・家計に入れている。 鳥羽市答志50歳 P009
- ・家計に入れている。 鳥羽市答志80歳 P011
- ・昔は、家計に入れていたが、今は船頭に払ったり、薬代に使っている。 鳥羽市答志83歳 P013
- ・昔は家計に入れていたが、今は船頭の支払いや「救心」「ノーシン」など薬代に使っている。 鳥羽市答志82歳 P012
- ・生活費夫の組合の口座へ入金される 鳥羽市菅島45歳 P016
- ・家計で生活費夫の組合の口座 鳥羽市菅島57歳 P018
- ・生活費夫の組合の口座に入金される 鳥羽市菅島49歳 P015
- ・生活費、ばあちゃん(木下こはるさん)の組合の口座 鳥羽市菅島46歳 P014
- ・食費自分の組合の口座に、娘(松口一富美)の分も入る 鳥羽市菅島71歳 P017
- ・生活費 鳥羽市石鏡80歳 P041
- ・生活費にしている。全部ひっくるめて良い年、悪い年あるが100万程は生活費。 鳥羽市国崎63歳 P042
- ・組合での買物や料金の引き落としで生活費に消えてしまう。 鳥羽市相差75歳 P043
- ・生活費に充当。 志摩市阿児町志島42歳 P024
- ・組合の通帳に振込。必要なとき使う。 志摩市阿児町志島67歳 P025
- ・生活費に充当する。 志摩市阿児町志島72歳 P026
- ・組合の貯金口座に入れておく。 志摩市阿児町志島81歳 P027
- ・家計に充当。 志摩市阿児町志島88歳 P028
- ・子どもの学費(高校)にあてる。 志摩市大王町波切43歳 P029
- ・家計に充当している。 志摩市大王町波切58歳 P030
- ・生活費。 志摩市大王町波切65歳 P031
- ・家計に入れる 志摩市志摩町和具78歳 P034
- ・生活費のたし 志摩市志摩町和具78歳 P035
- ・主に生活費 志摩市志摩町和具78歳 P036
- ・生活費と残りは貯金している。 志摩市志摩町御座64歳 P037
- ・主に生活費 志摩市志摩町御座79歳 P038
- ・割木の準備。漁期でない冬は、薪の準備(木を切ったり)している。生活費。自分の稼ぎが家計のす

- べて。冠婚葬祭すべて。 志摩市志摩町御座54歳 P039
- ・主に生活費。 志摩市志摩町御座55歳 P040

○備考

- ・海女が上手だった叔母の家は、今も息子が海士を、その孫も行っている。磯の上手な人は、その子ども等も上手で息子でも娘でも息の長さが違うみたいな気がする。そういうの（家系）は、確かにあるみたいや。／調査の日は大潮の干潮に近い時間なので、水深は約9メートル位だが、他の日だと10～11メートル位になる。／ドンボリの海女を始めた頃は、鮑自体の値段も良かった事もあるがその頃に比べると海女の収入は1/5以下に減少している。※護岸や消波ブロック用のテトラポットは「タコ」と呼ぶ。 鳥羽市神島63歳 P004
- ・正月の注意縄は、主人の父の家に子ども達が集まって作る。父とお兄さんと主人3人で作っている。注連縄を作る日は決まっていらないようだが、父の都合の良い日とか日柄とかを見て年末に作って、家に持ち帰る。 鳥羽市神島40歳 P001
- ・昔は、神島で海に潜るのは女の人（海女）だけ。男（海士）は一人も居なかった。男が潜りだしたにはイタボを採るようになってから。／小さい子ども等が海女の所へ行くことは少なかったが、若布やアラムの口開けになると学校休みして、子守等の手伝いをした。昔の人は皆「今日は若布の口開けやで、子の守をせんならんで」て言いよった。／密漁もあった。神島灯台に灯台守がいた頃は、夜密漁漁船が来ると村に連絡があった。／堤防を造る前は、「ミズメサマ」と言って、山から海に水が流れ込む場所が幾つかあった。「タテジマ」の辺りは「タキノミゾ」と言うて滝のように水が落ちていたが、今は無くなった。昔の人は「海・山、宝」と言いよったが、山が良くないと海も良くない。神島も山の松が枯れてしまったから、海も悪いように思える。 鳥羽市神島77歳 P005
- ・男の海士は答志では10人ぐらい。昔より多くなった。昔もいたがアワビはとってなかった。魚を主にとっていた。／小築海祭は去年は開祭でなかった。1昨年はアワビはほとんどいなかったののでイタボを採っていた。今年はアワビは浅瀬にいるとのことで舟人やめてオケドとして潜り2時間で45個採った。／鳥羽磯は4月～12月の契約で答志の磯が開かない時は鳥羽磯の潜っている。1ヶ月に約15ぐらい行く、今年は5人で行っている。鳥羽磯はサザエが多い。9月1回からはなまこ漁に行く。冬にならないと出てこない。 鳥羽市答志72歳 P010
- ・神祭、正月、節分に主人が船祝いとして、船と岸に、お酒、なます、洗米を供えに行く。正月はセツチも供える。／正月と神祭の間に青峰さんに夫婦でおまいりにいく。船のお札を受けている。海女用の小さなお札や金属のお守りも受け、帽子に朱印押ししてもらう。／神棚には、エビス貝を二段にして毎日ごはんを供えて祈っている。 鳥羽市答志49歳 P008
- ・男の海士は多くなった。だいたい10人ぐらい。昔の海士は魚をひっかけて獲っていて、アワビは獲ってなかった。／神棚にフクダメ（トシブシ）、エビス貝にごはん入れて、三段にして供えて祈っている。／青峰さんへは、正月と神祭（八幡神社例大祭）の間に夫婦でいく。／船のお札と海女用のお札やお守りも受ける。ウェットスーツの帽子に朱印押ししてもらう。 鳥羽市答志47歳 P007
- ・男の海士は和具は多くなったが答志は10人ぐらいだと思う。男の海士は60歳こえると潜らなくなる。／青峰ではセンマイは7個もらってきて、答志の海女漁安全祈願祭のときもらった米とまぜて、初磯の時、小築海祭のとき、しばらく休んでいてから潜るときに米をまく。 鳥羽市答志50歳 P009
- ・子どもの頃は海女小屋はなかった。船の火床、浜の火床にあたっていた。20歳代頃（約60年前）にカヤでまわりを囲むようになった。天井はなかった。20年ぐらい前からビニールシートで作るようになった。／冬のナマコ漁場は、箱メガネでナマコをひっかける人たち用の漁場として旗立てである。その外側をもぐる。大築海島にも立ててあるが、小築海島のまわりは立ててないので、どこでも潜れる。／伊勢湾が汚れているためか、満潮で太平洋側から潮がくると海中は明るくなるが、干潮で伊勢湾側から潮がくると海の中が濁ってくる。／青峰さんには、夏漁前、冬漁前、冬漁おわってお礼まいりに3回行く。もらってきた洗米はコメビツへ入れて潜る日は毎日もって行ってまく。／洗米、なます、お酒をもって12月31日と節分の日には海岸へ行って供えておまいりしている。／死人の出た家の海女は、初七日後か49日後まで潜りにいかない。家によってちがう。 鳥羽市答志80歳 P011
- ・昔は海女業者全員の寄り合いもあったが、今は名目だけで、代表者が組合と相談して決めている。代表者は寸足らずの検査もしている。／正月と節分に浜の岸壁に洗米、ナマス、お神酒供えて「1日元気でいるようにまぶってください」と唱えて祈っている。／神棚へはアワビの貝ガラ1個にごはん盛って毎日供えて祈っている。(1段)／昔は正月は、初めはぜんざいを食べる風習をしていたが、嫁は作らない。昔の風習はなくなりつつある。私たちの年代は昔は姑につかえ、今は嫁につかえて、損な役まわりである。／男の海士はふえてきている。現在40～50歳代の人が15人ぐらい。／青峰さんへは、楠木さんたち近くの海女小屋の仲間と6月と1月にいく。 P013 鳥羽市答志83歳

- ・昔は火場によく遊びに行き、あわび、さざえ、イノ貝、さつまいも、じゃがいも、兄がついてきた魚など焼いて食べさせてもらった。／正月と節分の時は、浜の岸壁に洗米、なます、お神酒供えて「竜宮さん船神さん、まめそくさいで大漁させてください」と唱えて祈る。／男海士はふえた。40～50歳ぐらいの人15人ぐらい。20歳代の男の人も潜るケイコしている。 鳥羽市答志82歳 P012
- ・毎年、同じ場所にアワビがいなくなった土用をすぎると海の中でサザエがやけている 鳥羽市菅島45歳 P016
- ・背の高さ位の浅いところにアラメがありそこにアワビがいる深いところはイソアレしていてアモトがない 鳥羽市菅島49歳 P015
- ・若い男の子が増えた一漁師として家にいるからよそ嫁（よそから来た嫁）さんが潜るようになった父親も昔、潜っていた今は、父は母と行き、船をあやつっている 鳥羽市菅島46歳 P014
- ・フナド海女のことを`ギリ`という。熊野や伊豆半島へ出稼ぎに行っていた時に`ギリ`といていた。・海女小屋のことを`アタリ小屋ともいう。80夏はトウシイカラ、冬はフンドウを使う。77ウェットスーツの中央に黄みどり色のラインが入っていて、そこにセーマン、ドーマンを書く 鳥羽市石鏡80歳 P041
- ・67実母（海女）が`ヨワシナ`＝体が弱く、よく海女を休んで寝込んでいた。そんな時は、海女小屋に行っても母がいない辺りをうろうろして親せきのおばさんに食べ物もらった。いつも海女小屋に母がいて、おやつもらえる友達がうらやましかった。 鳥羽市石鏡76歳 P019
- ・72、73について国崎では1分半ほど潜る人もいるが、そんな人は浮上して息を整えるに時間がかかるので回数は少なくなる。40～45秒で何回も潜る方が良い。ヤキイモはウラジロの串刺しでくれた。（話者）※国崎でもトップクラスの海女で、海女サミットにも参加している人。伊豆への出稼ぎは「イロウザキ」へ行った。仲間で部屋を借りて協同生活した。朝鮮アマもいた。自分たちが出稼ぎは最後だった。 鳥羽市国崎63歳 P042
- ・ウェイト（重り）は1つ1kgで、5. 5kgであれば五ツ半と呼ぶ。畔蛸境のニューカイ（入会）磯はコケのようなものが岩いっぱい生え何もおらんようになった。前の浜のテトラポットにアワビがついているが捕りようがない。「磯は医者する」といって海女していると体の悪いところに必ず症状が出てくるという。 鳥羽市相差75歳 P043
- ・海女をふやす目的から、ホームページなどで呼びかけている。地元の人になって、組合員になることが条件、今年（2013）は1人。来年は2人ふえる予定。男（海士）は4人ぐらいが他所から来て、組合員になり、海士をしている。男の場合は磯を荒らす傾向で、話しあって決めたことを守らない。これからは、海士が増えていくと思われる。海士は地元の者を含め10人ぐらい 志摩市阿児町志島42歳 P024
- ・磯の名前がある。ゼンマル、これが海女漁の中に漁場で昔から金になる磯といわれている。ほかに、ヨコジマ、チョッポリ、ウラゴ、サレイソ、オビラシ、イセズクシ、ナカイソなどと名前がついている。 志摩市阿児町志島67歳 P025
- ・平成2年がピークであった。それ以降はアワビが特にとれなくなった。この年、アワビを1日30キロとった人が何人かいた。1日10万円ぐらい。1人200万円以上稼いだ海女が大勢いた。舟人（夫婦船）で80日操業し、1夏で1, 900万円になった漁家もあった。700万円～800万円が普通であった。今は、若い人で1日3万ぐらいが最高である。男の海士が増え、磯が荒れて困るし、約束事を守らない。他地区の人を募集した。海士になった人で3年目が2人5年以上の人が1人いるし、10年以上の人が1人いて、この人は家も建てた。募集は今年の夏（2013）で終わったので、これ以上他地区からの人は増えないだろう。海女も高齢化で年々減ってきている。後継者はほとんどいない。とれるものが少ないから。 志摩市阿児町志島72歳 P026
- ・海女をふやす目的から、ホームページなどで呼びかけている。地元の人になって、組合員になることが条件、今年（2013）は1人。来年は2人ふえる予定。男（海士）は4人ぐらいが他所から来て、組合員になり、海士をしている。男の場合は磯を荒らす傾向で、話しあって決めたことを守らない。これからは、海士が増えていくと思われる。海士は地元の者を含め10人ぐらい 志摩市阿児町志島81歳 P027
- ・特にない。 志摩市大王町波切43歳 P029
- ・海士が増えてきている（17人ぐらい）。磯が荒れるし、海女、海士で決めた約束を海士は守らない。波切では舟人は「ふねど」という。 志摩市大王町波切58歳 P030
- ・海士が増えてきている（17人ぐらい）。磯が荒れるし、海女、海士で決めた約束を海士は守らない。波切では舟人は「ふねど」という。 志摩市大王町波切65歳 P031
- ・ウェットスーツは3mm厚さのときと5mm厚さでは当然浮力が違うため重りの加減が必要となる。概ね、3mmでは3キロへ5mmでは6～7kgである。ウェットスーツの着用が始まったのは、S37, 8年頃。毎月シー

ズンが終わると業者から修理の葉書が届き、旅館の一室などで出張修理が行われる。和具では大島の西側の磯焼けが進んでいる。岩に石炭質の海草（ヘリトリカニノテ）がびっしり生えていて、この藻が生えているところには、アワビなどは全くいない。大島周辺でも小島寄りのところは、まだましである。 志摩市志摩町和具78歳 P034

- ・最近アワビは獲れたり獲れなかったりで、アワビを目的にすると、すこぶる漁が悪い。そのため、サザエが目的となっている。サザエは、1日数十キロ獲れる。（値段は700～1000/キロ）アワビのサザエはすんでいる場所が、若干違うので、海女が操業する場所もおのずと違ってくる。最近黒潮の蛇行のせいか潮の流れが早い。潮が速いと体力を奪い作業効率が格段に落ちる。もとより、高齢のため作業はつらいが、いまは、資源の減少も含まれて海女を引退に追い込む一因ともなっている。 志摩市志摩町和具78歳 P035
- ・今は男の人があります。男の人の海女が増えた背景には、地元の就職口の減少、真珠養殖業の廃業（船などが余る）、仕事の合間でできるなどの理由がある。外部からの人間は受け入れないが地元の漁業件をもった息子などは子息などは受け入れるということがあるため。また、1人でもできるというメリットも。布施田から和具にかけて大島小島周辺は「布施田水道」と云って岩礁が非常に発達している。直接、太平洋に面して波浪の方向も様々で、流れによる渦が多く発生し、生きもののエサとなるプランクトンも多く、食物連鎖がでて、第一級の漁場となっている。 志摩市和具78歳 P036
- ・志摩では、例えば100日出漁日数がある場合、90日以上出た人を本物の海女さんと言うと思う。（海女を職としている人のこと＝海女さん）たったの10日～15日位潜っている人は海女技術うまくなれない。100日半分の50日出る位の人のことも、本当のプロの海女さんから見たら海女さんと言わない。2m～3mの浅瀬のがんがれという磯場をかづくことを「がんがれほう」という。ほうは、這うという意味。深水5m～10mを潜る。2m～3mは「這う」と言う。船外機と櫓を漕いでいた時代では行ける範囲も違う⇒スピードも違う。足ヒレを付けたり、ウェットスーツを着たりで磯着のみの時代より、泳ぐスピード、潜るスピードも早くなり、いままでとらなかった場所へも行けるようになって、一時は、たくさん、とれる時があった。深いところにも潜れるようになった。海の中の変化は以前より磯荒れしている。ガンガセ（黒ウニ）が増えてきた。3年前位からガンガセが異常発生し害虫駆除をして、磯場を回復させるよう、努力している。ガンガセは海藻の芽を食べてしまう。キレトに多い。あわび、サザエ、トコブシにも影響する。海藻がぬけたりして、磯荒れの場所も多くなってきて、なかなか回復しない産卵が少なくなり、取りつくした感じ。 志摩市志摩町御座64歳 P037
- ・海女さんが、漁の途中亡くなった場合、3～4日漁へ行かない。神社で祈祷してもらう。御座白浜でご供養したりする。御座の黒森の近くにある神社（大明神）へも参拝。御座の不動尊でも祈祷してもらう。／海士さん、昔は1人もいなかった。毎年、1、2回、赤潮発生。5月8月に、年に1、2回はある。赤潮だと海は濁り、臭いが、赤潮でもみんな漁（かつぎに行く）に行く。たか（浜のすそ（1番浅いところ））にも赤潮くる。／フクダメの事を「クダメ」と言う。トコブシ、流れことも言うが。近年、磯場が荒れてきている。自分で、漁へ行った日は、どれだけ取れたか、どこの場所にかつぎに行ったか書いているが、昨年にはいた場所にはいないことが多い。磯笛は吹く。（ホイホイ）ホーイ、ホーイと鳴るからホイホイかもとのこと。 志摩市志摩町御座79歳 P038
- ・72番の問いに対して・・・かしら（頭）をかえす。のが早い遅いか→いっぱい何度潜れるかどうかで、毎回、回数は違う。ほいほいのヤマをする。→ヤマとは・・・いっぱい時間をかけて息を整えること。ほいほいのヤマをしたからといって（回数多く、潜ったからといって）たくさん獲物がとれるかどうかは別。波のない日は、おもてうみ（太平洋側）、波のある日は裏海（英虞湾側）の場合が多い。75の続き。（海の中が濁っていると・・・）老眼がきてから、見えにくいときある。だから火場でみんなで相談して海の状況をみながら話し合う。81の続き。ノミはいいのがあると聞いて、鉄に変えた。研ぐ事は自分では基本的にはしない。しかし、たまに岩やセメントで少し手入れする。82ノート（帳面）に潜った場所、毎日、漁の金額、潮が速かったなど海の状況なども書く。漁に行った日は毎日書いている。海士さん、最近ほとんどが40代の方。50代が1名くらい。年配の方、60代が2名。→冬はエビ漁をしている方が多い。（漁期は10月1日～4月末）→前日、夕方に出航→網をかけた、沖へ出ていく。帰ってくると寒いので火にあたる。翌日朝6時位から出航して7時位に港へ（1日がけ）。海の中の状況は、昔より、最近黒ウニがたくさん増えてきた。商品価値がない（塩辛にするくらい）為、駆除しないとイケない。昔より海藻が減った。 志摩市志摩町御座54歳 P039
- ・71の質問の補足。個人的に、風や潮の流れを見るのが不得意。徒人なのでそんなに気にしていないが、覚えるのが苦手。ベテランの海女さんにノミの使い方等、いろいろ教えてもらったが、今は聞かなくてもわかるようになった。ヒジキに関して、ヒジキ組合という名前はないが、ヒジキ係（担当）の方がいて、海女組合とは別である。伊勢エビひき、ワカメ、なまこに関しては、作業時間決まっていない。その為、海女組合長に対して苦情出ている。なまこは11月20日～12月の末まで。現在の三重外湾

漁協になってから（合併してから）、漁業権は30万円まで払い続けることになった。海女を始めた時は、漁業権取得には、10万円だったので、20万円追加になり、少しずつ払っている。海士さんは、私が海女を始めた20年位前から一人いて、今もしている。今は10名くらい、海士さんいる。海士さんのうち、徒人の方は60代の方、1名。海士さんは自分1人で船外機を運転して、漁場まで行く方が多い。他には、サップ船で船外機を海士さんが運転してで、海女さんを船から降ろして（イカリを降ろして）、自分も潜って漁をする方もいる。海の中の状況について、海底の一部の場所では、以前より砂で、埋もれてきたところがある気がする。浅いところだし、台風などの影響なのかな。あとは、海藻が少なくなってきた。／海女さんが、漁の途中亡くなった場合、3～4日漁へ行かない。神社で祈祷してもらう。御座白浜でご供養したりする。御座の黒森の近くにある神社（大明神）へも参拝。御座の不動尊でも祈祷してもらう。／海士さん、昔は1人もいなかった。毎年、1、2回、赤潮発生。5月8月に、年に1、2回はある。赤潮だと海は濁り、臭いが、赤潮でもみんな漁（かつぎに行く）に行く。たか（浜のすそ(1番浅いところ))にも赤潮くる。 志摩市志摩町御座55歳 P040

※末尾のP付き数字は、聞き書を行った話者の整理番号である。

海女関係文献

- 牧田茂『海の民俗学』（岩崎美術社、1905年）
- 大西源一「南志摩の海岸①～④」（『港湾』3の1～4 日本港湾協会、1928年）
- 大西源一「志摩半周記（上・下）」（『港湾』6の9～10 日本港湾協会、1929年）
- 大西源一「鳥羽より浜島」（『港湾』7の9 日本港湾協会、1930年）
- 辻井浩太郎「志摩半島における生活地理学的観察（海女）」（『地理教材研究』15、1931年）
- 辻井浩太郎「志摩半島雑感」（『地理教材研究』15、1931年）
- 大西源一「大王崎を回って」（『港湾』8の4日本港湾協会、1932年）
- 酒井錠吉郎「国崎神戸の事蹟（上）」（『志陽』5、1934年）
- 酒井錠吉郎「国崎神戸の事蹟（下）」（『志陽』6、1934年）
- 山口貞夫「志州の島々（神島・答志島）」（『嶋』昭和9年版、1934年）
- 北岡四朗「志摩研究史概説」（『志陽』7、1934年）
- 嵯峨崎司朗「海女王国志摩の習俗」（『民俗（豊中）』1の2、1934年）
- 岩田準一「志摩の蟹女作業の今昔」（『嶋』昭和9年版、1934年）
- 大西源一『海国志摩誌』（1935年）
- 酒井錠吉郎「貴き由緒を有する国崎の海女と鮑取りの壮観」（『志陽』8、1935年）
- 杉浦静「志摩半島紀行」（『三重地理学報』4、1935年）
- 辻井浩太郎「志摩の海女」（『デルタ』2の4、1938年）
- 岩田準一『志摩の蟹女』（常民文化研究所、1939年）
- 瀬川清子『海女記』（三国書房、1942年）
- 山口貞夫『志州の島々』（地理と民俗 六人社、1943年）
- 柳田国男『海村生活の研究』（民間伝承の会、1949年）
- 野村豊『寒天の歴史地理学研究①』（大阪府水産課、1951年）
- 中岡登『越賀風土記』（中岡書店、1954年）
- 三重県水産課『三重の水産』（三重県水産課、1954年）
- 中野栄治「志摩の海女について（国崎の場合）」（『和歌山高等学校社会科研究会』4、1954年）
- 瀬川清子『海女』（古今書院、1955年）
- 辻井浩太郎・小久保栄一・入江泰吉『海女』（近鉄宣伝課、1955年）
- 小寺廉吉「海女の村（鳥羽市国崎）」（『富山大学紀要』2・3、1955年）
- 田辺悟「蟹人の分布の民俗学的考察」（『日本民俗学』98、1955年）
- 倉田正邦『伊勢志摩の民俗近畿篇』（日本文化風土記河出書房、1956年）
- 高山竜三「志摩の漁村」（『人文研究』6の12、1956年）
- 高山竜三「志摩漁村の研究」（『日本地理学』2月号、1956年）
- 山中昇「海女の出嫁に関する研究」（『三重大学農学部研究紀要』13三重大学農学部、1956年）
- 生駒勝「志摩石鏡の地理」（『鈴鹿』8 亀山高校、1956年）
- 倉田正邦「志摩石鏡の方言語集（海女言葉・魚・年中行事）」（『鈴鹿』8 亀山高校、1956年）
- 上村角兵衛「志摩海女の出稼ぎについて」（『鈴鹿』8 亀山高校、1956年）
- 倉田正邦「志摩石鏡の海女舟」（『鈴鹿』9 亀山高校、1956年）
- 高山竜三「志摩漁村の変容過程」（『田中秀作教授古希記念地理学論文集』、1956年）
- 村松繁樹「先志摩の漁村」（『人文研究』6の12、1956年）
- 伊藤治『和具の海女』（郷土教育資料19、1957年）
- 小久保栄一「海女の伝説（阿児町安乗）」（『瑞垣』33、1957年）
- 池野茂「徳川時代の海女漁業の“むら”」（『人文地理』9の3、1957年）

瀬川清子「国崎」(『真珠』21 近畿日本鉄道株式会社、1957年)
 伊藤治「海女に関する語彙」(『三重県方言』5、1958年)
 宮脇晴「菅島」(『真珠』28 近畿日本鉄道株式会社、1958年)
 三重県立水産大研究会「浜島町漁業実態調査報告」(『三水研会報』2三重県立水産大学、1958年)
 大阪女子大学社会福祉研究会「志摩半島における海女の地位について」(『社会福祉評論』15、1958年)
 田中博「志摩国崎の現状」(『鈴鹿』14 亀山高校、1958年)
 浜口卯之助『離島の横顔—答志村長回顧録—』(1959年)
 川田順『志摩・熊野路』(宝文館、1959年)
 伊藤治「海女ことば(和具地方)」(『郷土志摩』26、1959年)
 倉田正邦「海女の水垢離(石鏡)」(『民間伝承』23の1、1959年)
 栄山建司「壱岐島(現地報告14)」(『しま』18全国離島振興協議会、1959年)
 速水融『志摩の磯漁業近畿地方篇』(日本産業史大系地方紙研究協議会 東大出版会、1960年)
 山下彌三左エ門『潜水読本』(東京・成山堂、1960年)
 西川元泰『神宮とあわびと海女』(神宮司庁、1960年)
 伊藤治「海女ことば(和具地方)」(『郷土志摩』27、1960年)
 西川元泰「神宮とあわびと海女」(『瑞垣』47、1960年)
 上村角兵衛「海女のみそぎ(鳥羽市石鏡)」(『近鉄』13の1 近畿日本鉄道株式会社、1960年)
 中岡志州「石鏡・国崎紀行」(『郷土志摩』27、1960年)
 長崎県教育委員会『長崎県の海女(海士)民俗文化財特定調査』(長崎県文化財調査報告書42、1960年)
 額田年『海女—その生活とからだ—』(鏡浦書房、1961年)
 菅沼晃次郎「海女さんのオカユ腹」(『近鉄』14の4 近畿日本鉄道株式会社、1961年)
 三重県立水産大研究会「波切漁業見学記」(『三水研会報』3 三重県立水産大学、1961年)
 瀬川清子「舢倉島(石川県)」(『しま』25 全国離島振興協議会、1961年)
 宮本常一「石川県・山口県の小さい島々」(『しま』26 全国離島振興協議会、1961年)
 角田保『神島紀行』(三重県立博物館、1962年)
 中村由信(写真)・宮本常一(解説)『日本の海女』(東京中日新聞社、1962年)
 村松繁樹「崎志摩の漁村」(『日本集落地理の研究』ミネルヴァ書院、1962年)
 羽原又吉『漂流民』(岩波書店、1963年)
 三重県志摩地方民俗総合調査団『志摩地方の民俗』(1963年)
 泉靖一『朝鮮の海女→(あま)』(世界大百科事典第1 平凡社、1964年)
 瀬川清子『あま』(世界大百科事典第1 平凡社、1964年)
 マライーニ・牧野文子(訳)『海女の島—舢倉島』(未来社、1964年)
 千葉徳爾「志摩半島における民俗の地域差とその意味—予察的報告」(『人文地理』16の5、1964年)
 和田勉「伊勢志摩の海女の史的考察」(『ふびと』22 三重大学学芸学部歴史研究会、1964年)
 川越淳一「志摩の漁村の研究(序説覚書)(1)」(『愛知大学文学論叢』27、1964年)
 竹田旦「志摩諸島」(『しま』9の4 全国離島振興協議会、1964年)
 和歌森太郎編『志摩の民俗』(吉川弘文館、1965年)
 愛知大学編「海女のむら(鳥羽市国崎)」(『愛知大学総合郷土研究所紀要別冊特輯号』、1965年)
 藤田正「鮑の国崎」(『漁村』31の11、1965年)
 堀田吉雄編『伊勢湾漁撈習俗調査報告書』(三重県教育委員会、1966年)
 日本民俗学会編『離島生活の研究』(集英社、1966年)
 津女子高校編「志摩町越賀の現況・経済・海女の生活」(『安濃津』6 津女子高校社会科、1966年)
 三重県立博物館、立教大学博物館学講座『三重県志摩地方の民俗調査—鳥羽市答志島・志摩町和具・越

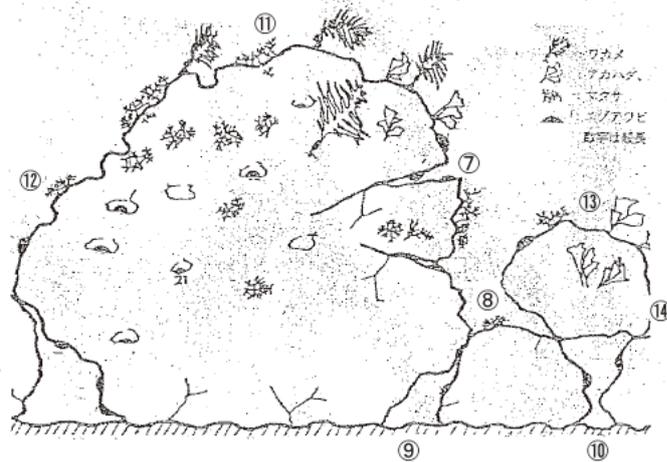
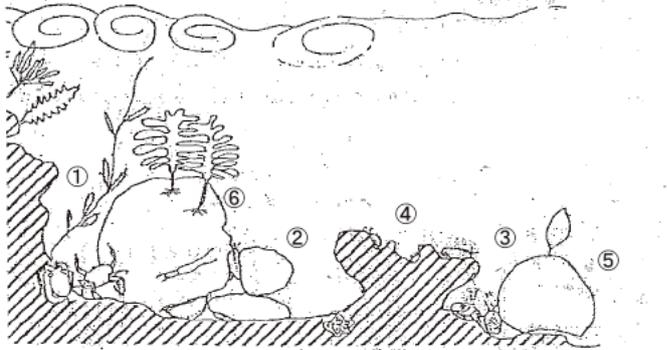
賀一』(1、1966年)
 横山哲朗「海女の生理学」(『労働科学』21の5 財団法人労働科学研究所、1966年)
 岩崎繁野「日本の海女の現状について」(『労働科学』21の5 財団法人労働科学研究所、1966年)
 堀哲・倉田正邦『南伊勢五ヶ所湾総合学術調査報告(中京文化と同じ)』(三重県郷土資料刊行会、1967年)
 堀田吉雄「志摩の海女よもやま話」(『あさあけ』13 三重県警本部、1967年)
 明治大学社会学演習学生一同「志摩海女漁村の社会構造と慣習法(鳥羽市石鏡町)」(『法学会誌』明治大学、1967年)
 東京学芸大学民俗研究会『海女部落と台地端の村と(千葉県・茨城県)』(1967年)
 佐藤隆夫『海女部落の家族法問題の実態調査—三重県鳥羽市国崎について』(国学院大学、1967年)
 鎌田純一『志摩千賀・堅子の民俗』(皇學館大學郷土研究会、1968年)
 竹田旦『離島の民俗』(岩崎美術社、1968年)
 堀哲『志摩離島の民俗』(中京大学学術研究会、1968年)
 佐藤隆夫「ある海女部落の家族法問題の実態調査—三重県鳥羽市神島と千葉県御宿町岩和田の事例について」(『國學院法学第54号(通17号)』国学院大学法学会、1968年)
 三重県教育委員会編『鳥羽、志摩漁撈調査報告書』(1968年)
 堀哲「志摩離島の民俗(その1) —坂手島・菅島における実態調査より—」(『文学部紀要』2の2 中京大学学術研究会、1968年)
 鈴木敏雄『志摩の民俗』上・下(三重県郷土資料刊行会、1969年)
 田辺悟『相州の海土』(神奈川県教育委員会、1969年)
 松島博『三重県漁業史』(三重県漁協連合会、1969年)
 三重県農林水産部『三重県の漁具漁法』(1969年)
 倉田正邦「志摩海女の語彙について」(『近畿民俗』48、1969年)
 岩田準一『鳥羽志摩の民俗—志摩人の生活事典』(鳥羽志摩文化研究会、1970年)
 瀬川清子『海女』(未来社、1970年)
 千葉徳爾註解『日本山海名産名物図会』(社会思想社、1970年)
 中岡登編『鳥羽志摩新誌』(中岡書店、1970年)
 鳥羽志摩文化研究会『志摩の海女』(1971年)
 吉原友吉「鮑の漁獲統計」(『東京水産大学論輯』6、1971年)
 岩崎繁野「日本のあまの生態について(I)」(『労働科学』47の4 財団法人労働科学研究所、1971年)
 堀田吉雄『日本の民俗三重』(第一法規、1972年)
 吉原友吉「明治期における採鮑業への潜水器導入について」(『東京水産大学論輯』7、1972年)
 津田豊彦「海女の呪符と貝紫—鳥羽志摩における—」(『民具マンスリー』4の12 日本常民文化研究所、1972年)
 田辺悟「東北における蜃人の系譜」(『日本民俗学』80、1972年)
 大場俊雄「千葉県における潜水器械採鮑の起源」(『千葉県の歴史』3、1972年)
 萩原秀三郎・萩原法子『神島』(井場書店、1973年)
 大喜多甫文「志摩地方における海女漁村の生産形態」(『人文地理』25の3、1973年)
 海の博物館『海と人間』(季報1973春、1973年)
 海の博物館『海と人間』(年報I、1973年)
 田辺悟「日本の海人・海女」(『文化財』7月号 文化庁文化財保護部監修、1973年)
 田辺悟「海女のはなし(1) 玄界灘にいどむ海女」(『波と流れ』17 日本テトラポッド(株)、1973年)
 田辺悟「海女のはなし(2) 志摩和具の海女」(『波と流れ』18 日本テトラポッド(株)、1973年)

伊藤治『海女のことば』(1974年)
伊藤治『和具の海女』(1974年)
宮下章『海藻』(法政大学出版局、1974年)
柳田国男『北小浦民俗誌』(日本民俗誌大系第7 北陸角川書店、1974年)
宮本常一・川添登編『日本の海洋民』(未来社、1974年)
上村角兵衛「志摩の海女」(『郷土志摩』47、1974年)
海の博物館『海と人間』(季報1974秋、1974年)
岩崎繁野「日本のあまの生態について(Ⅱ) あまの年齢と収穫量について」(『労働科学』50の10 財団法人労働科学研究所、1974年)
田辺悟「済州島の海女の民具」(『民具マンスリー』6の9、1974年)
田辺悟「海女のはなし(3) 北の地に生きる岩手久慈の海女」(『波と流れ』19 日本テトラポッド(株)、1974年)
石川県立郷土資料館「海女の島の民俗—奥能登外浦民俗資料第1次調査を終えて」(『郷土資料館だより』18、1974年)
大場俊雄「千葉県沖機械における鮑潜水器漁業の変革」(『千葉県の歴史』8、1974年)
上村角兵衛「志摩の海女」(『郷土志摩』48、1975年)
香原志勢『人類生物学入門』(中公新書、1975年)
中田四朗「潜水器使用の捕鮑漁業の展開」(『暁学園短期大学紀要』8、1975年)
岩崎繁野「日本のあまの生態について(Ⅲ) 海女の出産について」(『労働科学』51の2 財団法人労働科学研究所、1975年)
岩崎繁野「日本のあまの生態について(Ⅳ) あまの作業について」(『労働科学』51の7 財団法人労働科学研究所、1975年)
岩崎繁野「日本のあまの生態について(Ⅴ) 潜水にともなう障害と一般疾病および栄養摂取状況について」(『労働科学』51の12 財団法人労働科学研究所、1975年)
石川県立郷土資料館『海士町・舳倉島』(奥能登・外浦民俗資料緊急調査報告書、1975年)
大喜多甫文・浦城晋一「「あま」漁業の地理学的基礎外房「あま」漁村の実証的研究」(『漁業経済史研究』第213・4号合併 東京大学出版会、1975年)
阪野優『志摩半島の海女漁村—鳥羽市石鏡町の場合』(三重県高等学校社会科研究会、1976年)
上村角兵衛「志摩の海女」(『郷土志摩』49、1976年)
中田四朗「近世における海女漁業と荒布の採取」(『郷土志摩』50、1976年)
中田四朗「斗と海女漁業」(『温故稽古』62 三重県海村史研究会、1976年)
中田四朗「志摩における潜水器使用による捕鮑の試験期について」(『温故稽古』63 三重県海村史研究会、1976年)
中田四朗「志摩における海女漁業内の近世の天草採取について」(『温故稽古』64 三重県海村史研究会、1976年)
瀬尾五一「山口県・見島を訪ねて」(『漁村』42の11、1976年)
中田四朗「近世志摩の海女と御師」(『三重史学』20 三重史学会、1977年)
水産庁漁政部企画課『あまの実態調査結果の概要』(1978年)
中田四朗「三重県潜水器使用規制の交付の経緯」(『三重史学』21 三重史学会、1978年)
横井一孝「しまのすがお—鳥羽4島」(『しま』23の3 全国離島振興協議会、1978年)
中田四朗「近世の志摩における海女と御師—熨斗を媒介として—」(『海と人間』6 海の博物館、1978年)
中山卓「志摩地域海女操業調査の結果報告」(『海と人間』6 海の博物館、1978年)
野村史隆「国崎の年中行事」(『海と人間』6 海の博物館、1978年)

海の博物館「志摩の海女に関する文献目録」(『海と人間』6 海の博物館、1978年)
 中山卓「志摩地域の海女に関する方言名称」(『海と人間』7 海の博物館、1979年)
 阪野優『海女のいる村』(中部日本教育文化会、1980年)
 上村角兵衛『海女とみつもん』(1985年)
 海の博物館「重要文化財伊勢湾、志摩半島、熊野灘の漁撈用具の概要」(『海と人間』14 海の博物館、1987年)
 小島孝夫「アワビ採具からみた潜水採集活動」(『海と民具』日本民具学会 雄山閣、1987年)
 野村史隆「伊勢湾・志摩半島・熊野灘の漁撈道具」(『海と民具』日本民具学会 雄山閣、1987年)
 大喜多甫文『潜水漁業と資源管理』(古今書院、1989年)
 森俊「海女の住居と集落」(『シンポジウム住まいからみた人と神の生活』古代日本海域の謎1 森浩一編 新人物往来社、1989年)
 野本寛一『熊野山海民俗考』(人文書院、1990年)
 谷川健一編『海女と海士』(日本民俗文化史料集成 4 三一書房、1990年)
 森田三郎『海女の生活誌-志摩半島・布施田地区を中心に-』(甲南大学社会学人類学研究報告書 甲南大学文学部社会学・人類学教室、1990年)
 野本寛一「紀州びとの渡海-潜水出稼ぎと海外移住-」(『伊勢と熊野の海』海と列島文化 8 森浩一・谷川健一編 小学館、1992年)
 森浩一「海人文化の舞台」(『伊勢と熊野の海』海と列島文化 8 森浩一・谷川健一編小学館、1992年)
 田辺悟『海女』(法政大学出版、1993年)
 牧野由朗『志摩の漁村』(名著出版、1994年)
 武笠俊一「志摩における海女潜水業と観光業」(『紀要』第4三重大学医療技術短期大学部、1995年)
 牧野由朗『志摩漁村の構造』(名著出版、1996年)
 田辺悟『近世日本蟹人伝統の研究』(慶友社、1998年)
 李善愛『海を越える济州島の海女海の資源をめぐる女のたたかい』(明石書店、2001年)
 東海農政局三重統計情報事務所伊勢出張所『鳥羽志摩地方の海女物語』(三重農林水産統計協会、2003年)
 田辺悟『海浜生活の歴史と民俗』(慶友社、2005年)
 岡田和也「海女がつなぐ日韓の海」(『交流の海』日本海学の世紀5角川学芸出版、2005年)
 森浩一「日本文化にとっての海人」(『海人たちの世界-東海の海の役割』第14回春日井シンポジウム 森浩一編 中日出版社、2008年)
 海女博物館『济州海女と日本海女の無形遺産』第3回韓・日海女国際学術シンポジウム (2008年)
 野本寛一「東海とその周辺域のアマ文化-環境対応と民俗展開をさぐる-」(『第16回春日井シンポジウム資料集』春日井シンポジウム実行委員会、2008年)
 岡田照子「海女の住むムラにおける夫と妻の年齢差-三重県志摩郡阿児町S地域における1872年と1972年の史料から-」(『伊勢民俗』伊勢民俗学会、2009年)
 川口祐二「小さな旅-答志港から和具浦へ-」(『伊勢民俗』伊勢民俗学会、2009年)
 三重大学附属図書館研究開発室『尾鷲市須賀利町聞き取り調査記録』(2009年)
 海の博物館編『目で見る鳥羽・志摩の海女』(2009年)
 塚本明「近代の志摩海女の出稼ぎについて」(『三重大史学』10、2010年)
 上杉富之「グローバル化としての「海女文化」の創造」(『グローカリゼーションと越境』成城大学民俗学研究所グローバル研究センター、2011年)
 海の博物館編『日本列島海女存在確認調査報告書』(2012年)
 三重県教育委員会『海女習俗基礎調査報告書』(2012年)
 川口祐二『海女、このすばらしき人たち』(北斗書房、2013年)

海底地形の呼び方

「=」の部分、石（登）と岩（陸）、転石（自然石）と固定された観岸ブロック（テトラポット等）、深み（大きな深みと小さな深み、深い深みと浅い深み）の呼び方を、教えてください。



鳥羽市

神島 ①ガマ②ガマ③ガマ⑦ハッサクレ、ミゾヤ、イワノアイサ
⑧ミゾ、ミゾヤ、コヤケシ⑨シマノシタ⑩ボラ⑪シマノテッペン、テッペン、テッペ、シマノウエ⑫ハマ、ヨコタ、ヨコタンボ

答志 ①デンドー、アナ②デンドー、アナ③デンドー、アナ④デンドー⑤ハラ⑥ハラ⑦アナ⑧アナ⑨アナ⑩アナ⑪デンドー⑬デンドー⑭ハラ

菅島 ①ガマ、ボラ②ガマ、ボラ③ガマ、ボラ⑦ハサ、ハサクラ⑧ハサ、ハサクラ⑨ハサ、ハサクラ⑩ハサ、ハサクラ

石鏡 ①シタヤ②シタヤ③シタヤ⑦ハサ⑧ツブレ⑨ツブレ⑩ツブレ

国崎 ①マ②マ③マ⑦カワラ⑧カワラ⑨イシノシタ⑩イシノシタ⑪セ

相差 ①シマノアイ②シマノアイ③シマノアイ⑦ハサ⑧ハサ⑨シマノシタ⑩シマノシタ

志摩市

志島 ①ガマ②ガマ③ガマ⑦マ、ワレメ⑪セ

波切 ⑦ワレ⑪セ

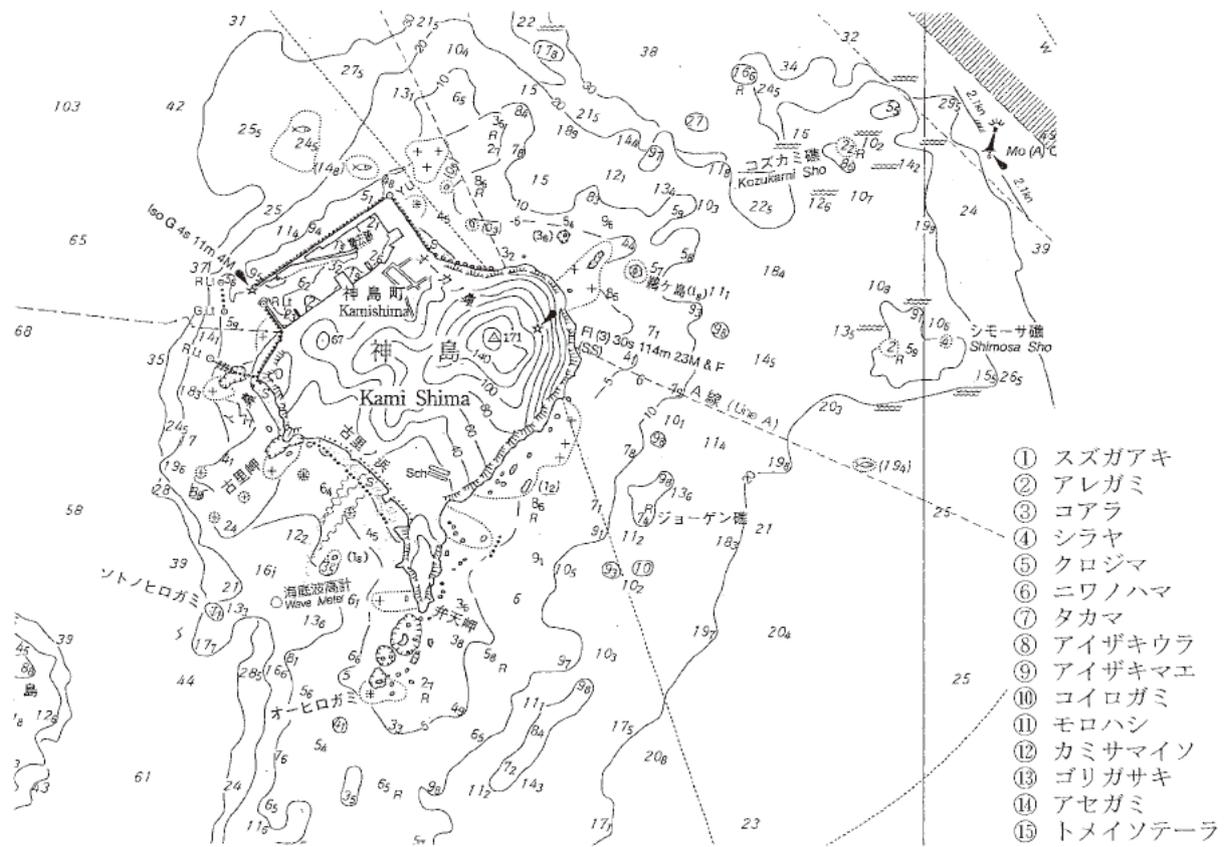
和具 ①イシノシタ、イワノシタ、イワノワレメ②イシノシタ、イワノシタ③イシノシタ、イワノシタ⑦ボラ⑧ボラ

御座 ①イシノシタ、ゾレ、ボラ②イシノシタ、ゴボチ、ボラ③イシノシタ、ゴボチ、ボラ⑦キレト⑧キレト、ボラ⑨ゴボチ⑩ゴボチ⑪セノウエ

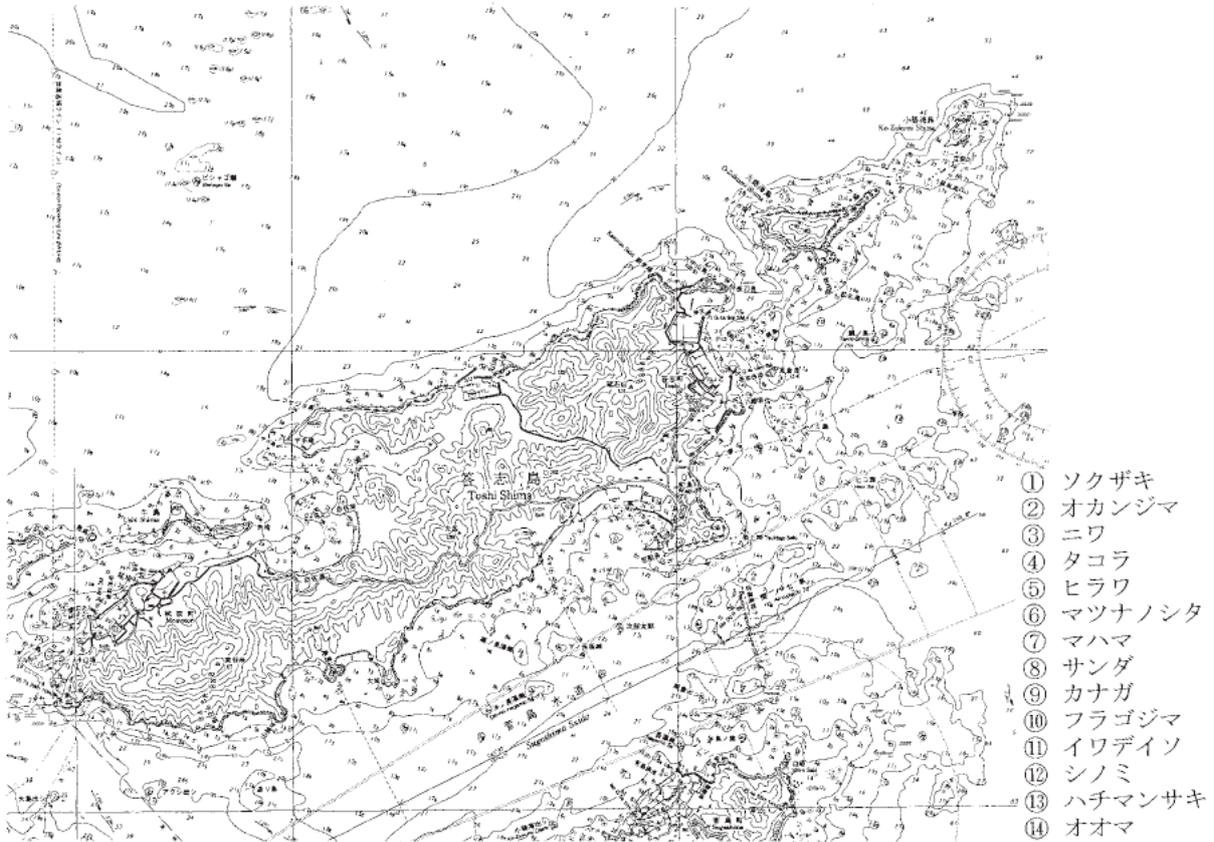
安乗 ②ホラ③ホラ⑦ハサ

畔名 ②ハサ③ハサ④セノハサ⑦ワレ、ハサ⑨イワノアイコ⑪セ

VII-5-1 図 海底地形の呼称

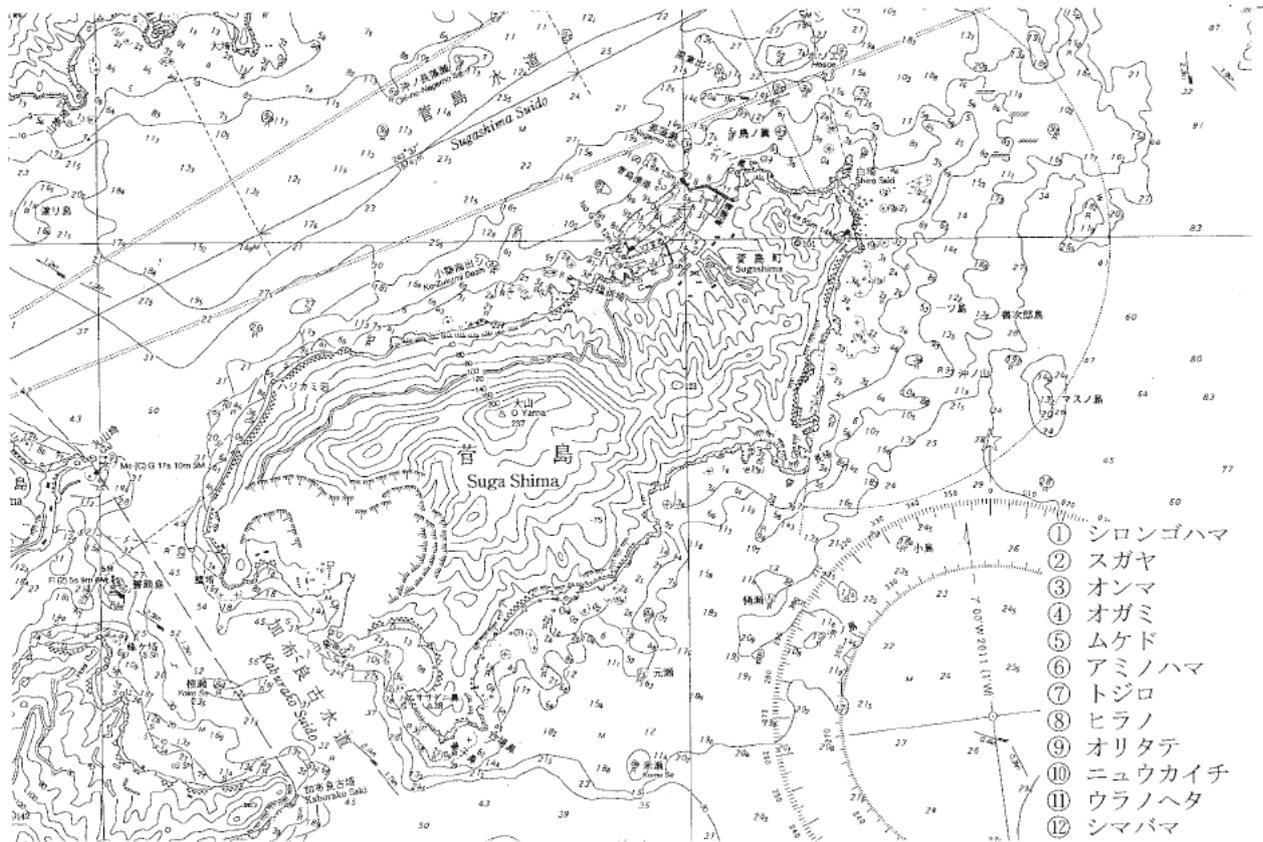


鳥羽市上島町 (1 : 25,000、図上が北)

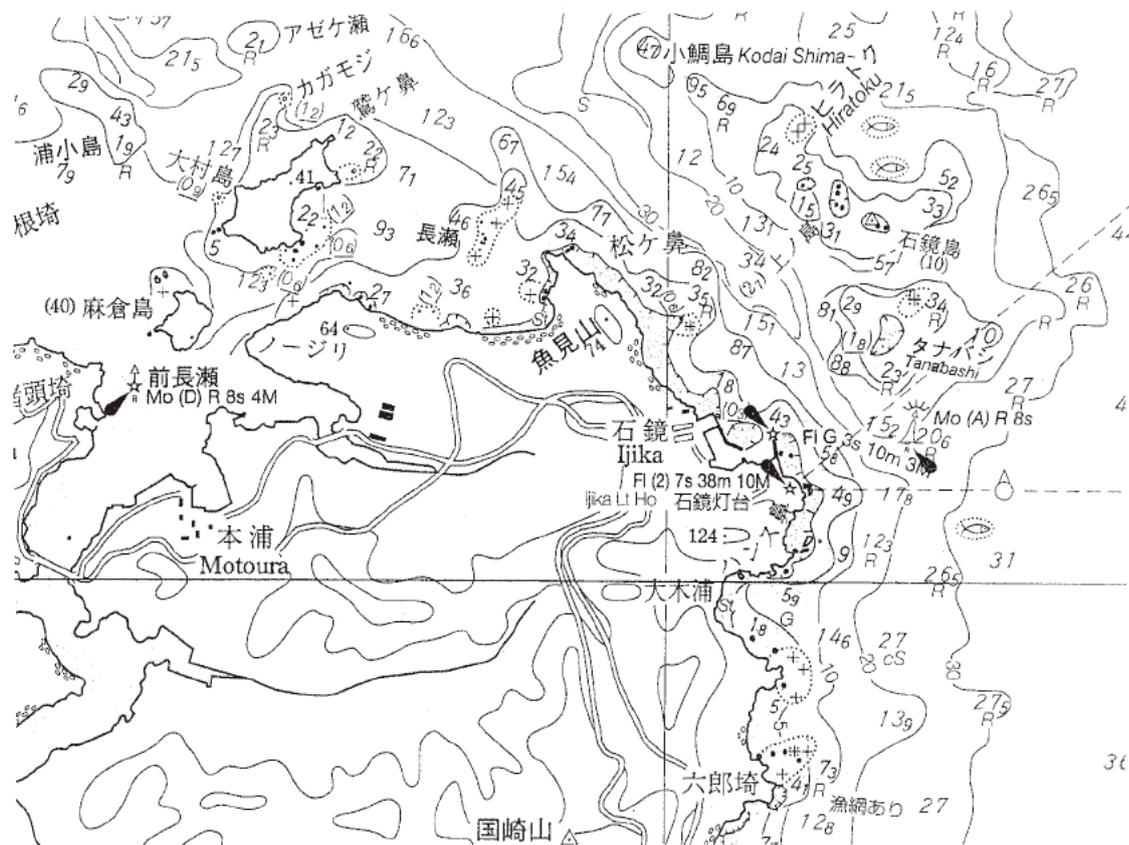


鳥羽市答志町 (1 : 60,000、図上が北)

VII-5-2 図 海岸地形と漁を行う一の呼称 1

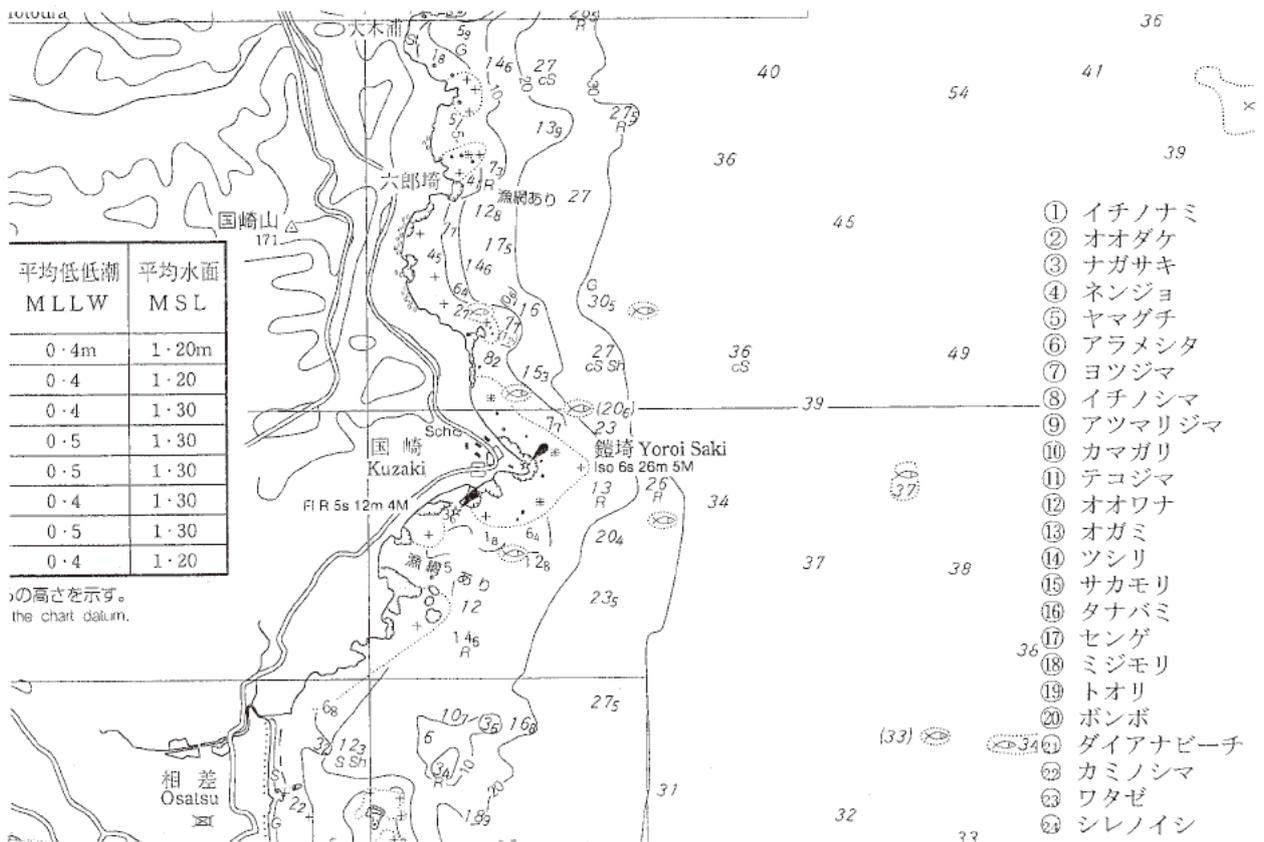


鳥羽市菅島町 (1 : 40,000、図上が北)

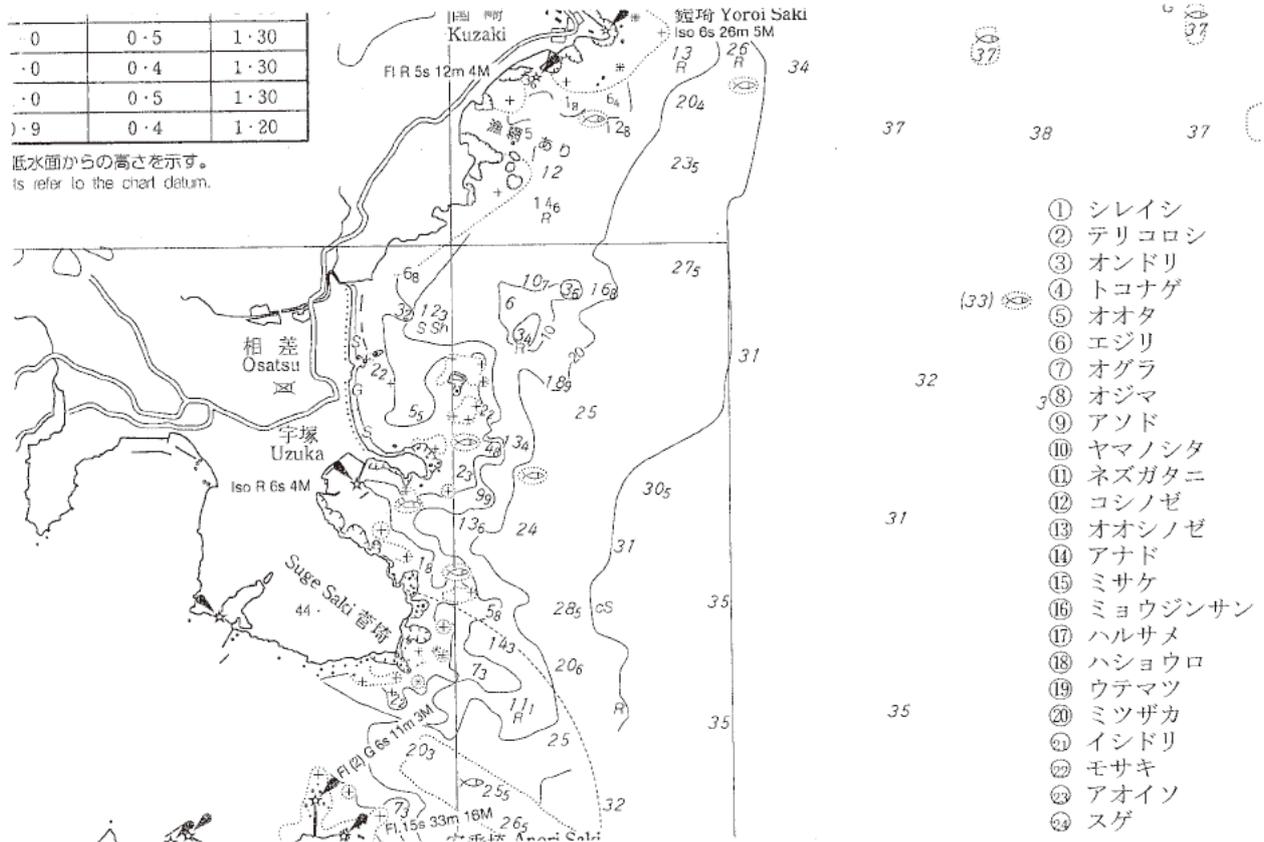


鳥羽市石鏡町 (1 : 40,000、図上が北)

VII-5-3 図 海岸地形と漁を行う位置の呼称 2

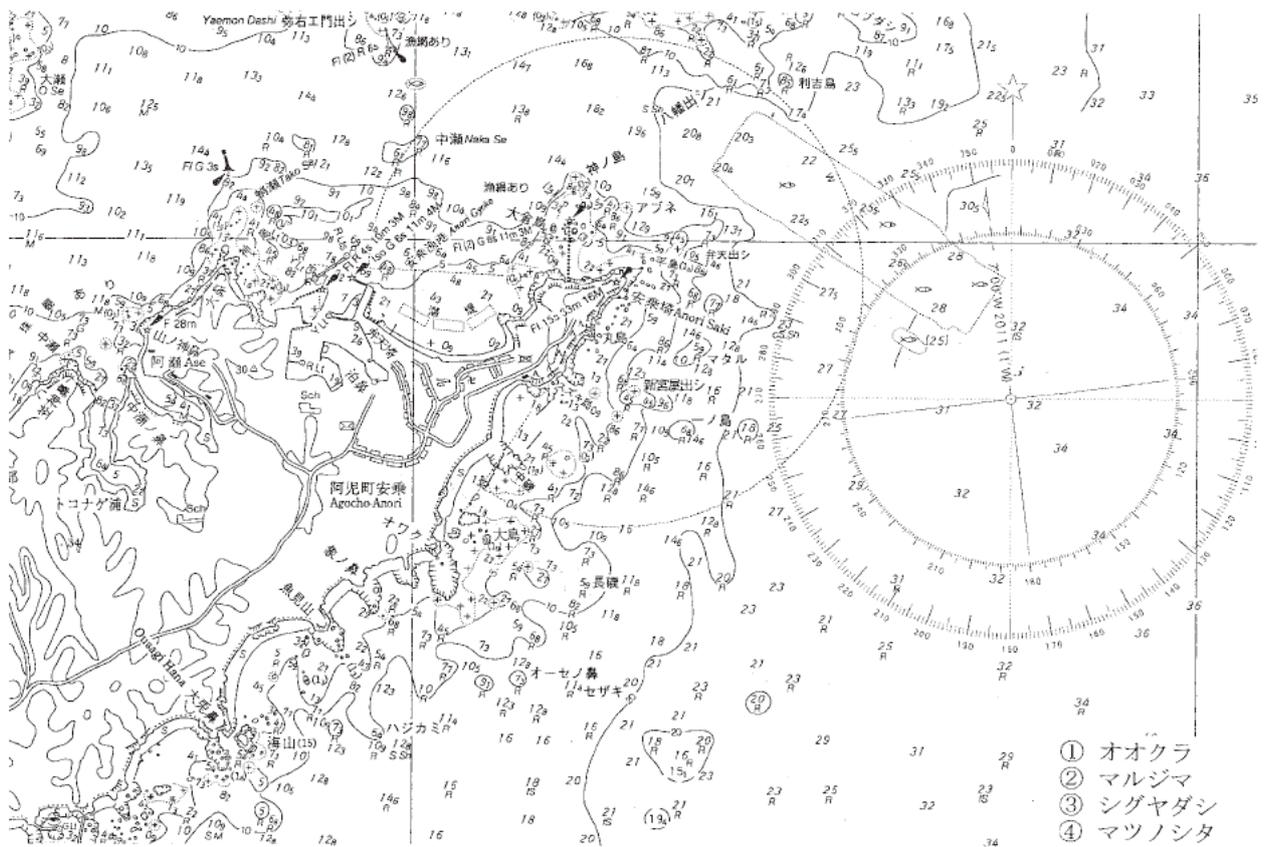


鳥羽市国崎町 (1 : 50,000、図上が北)

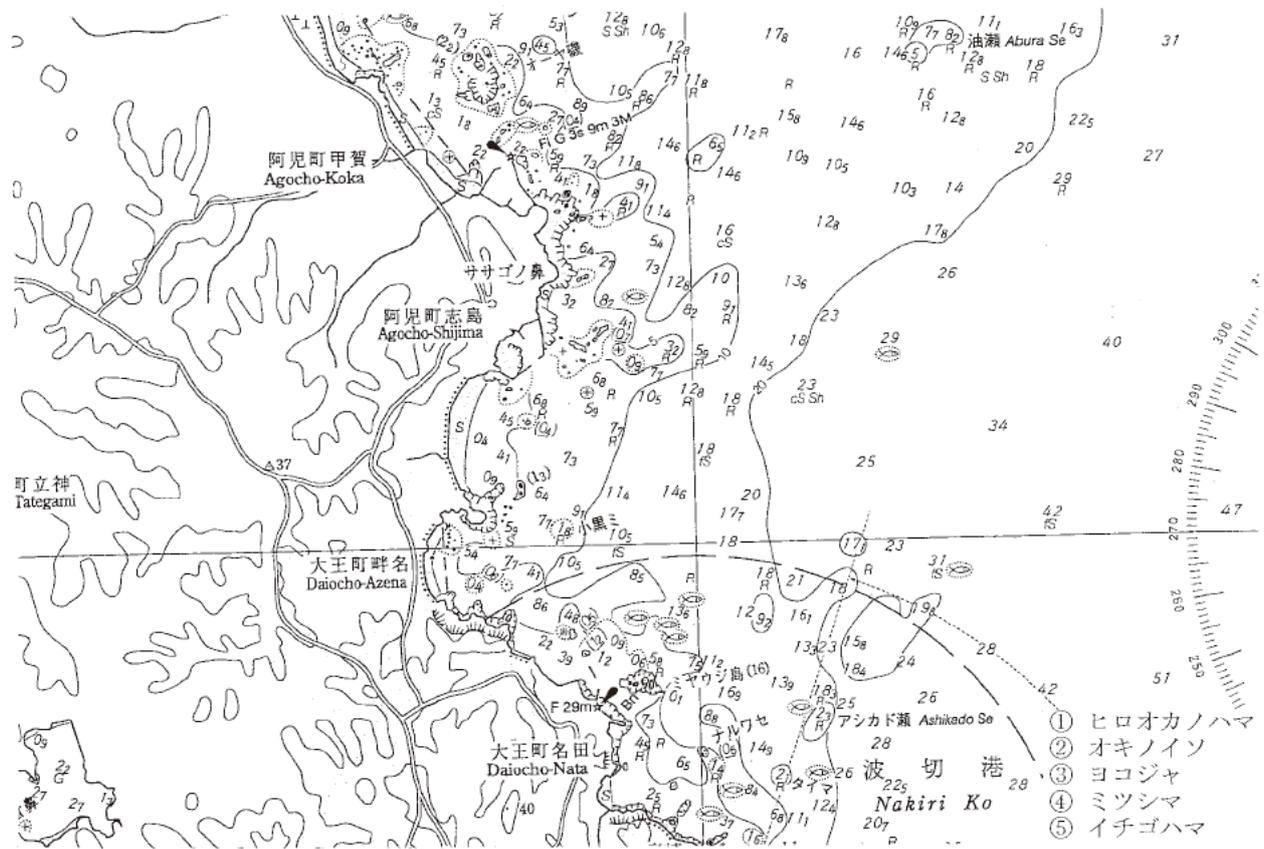


鳥羽市相差町 (1 : 50,000、図上が北)

VII-5-4 図 海岸地形と漁を行う位置の呼称 3

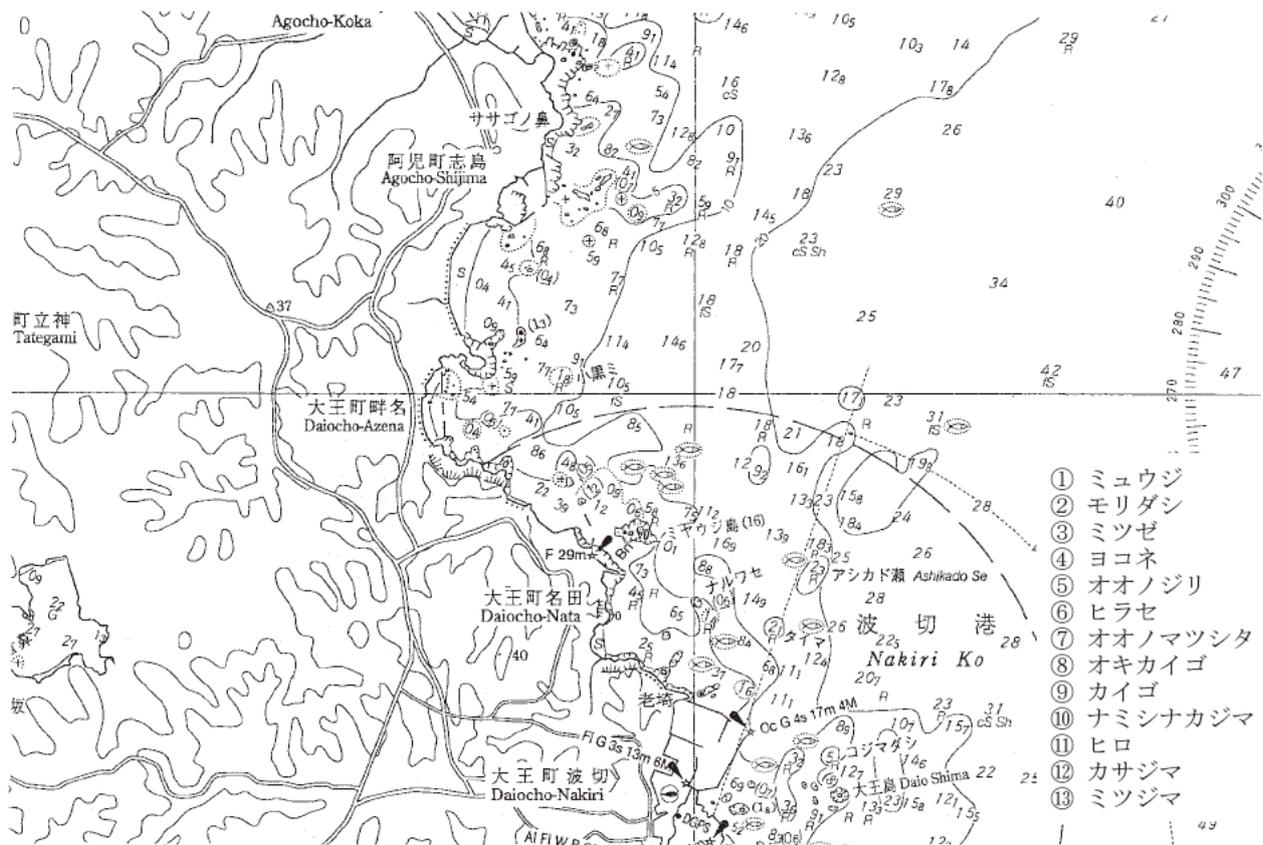


志摩市阿児町安乗 (1 : 30,000、図上が北)

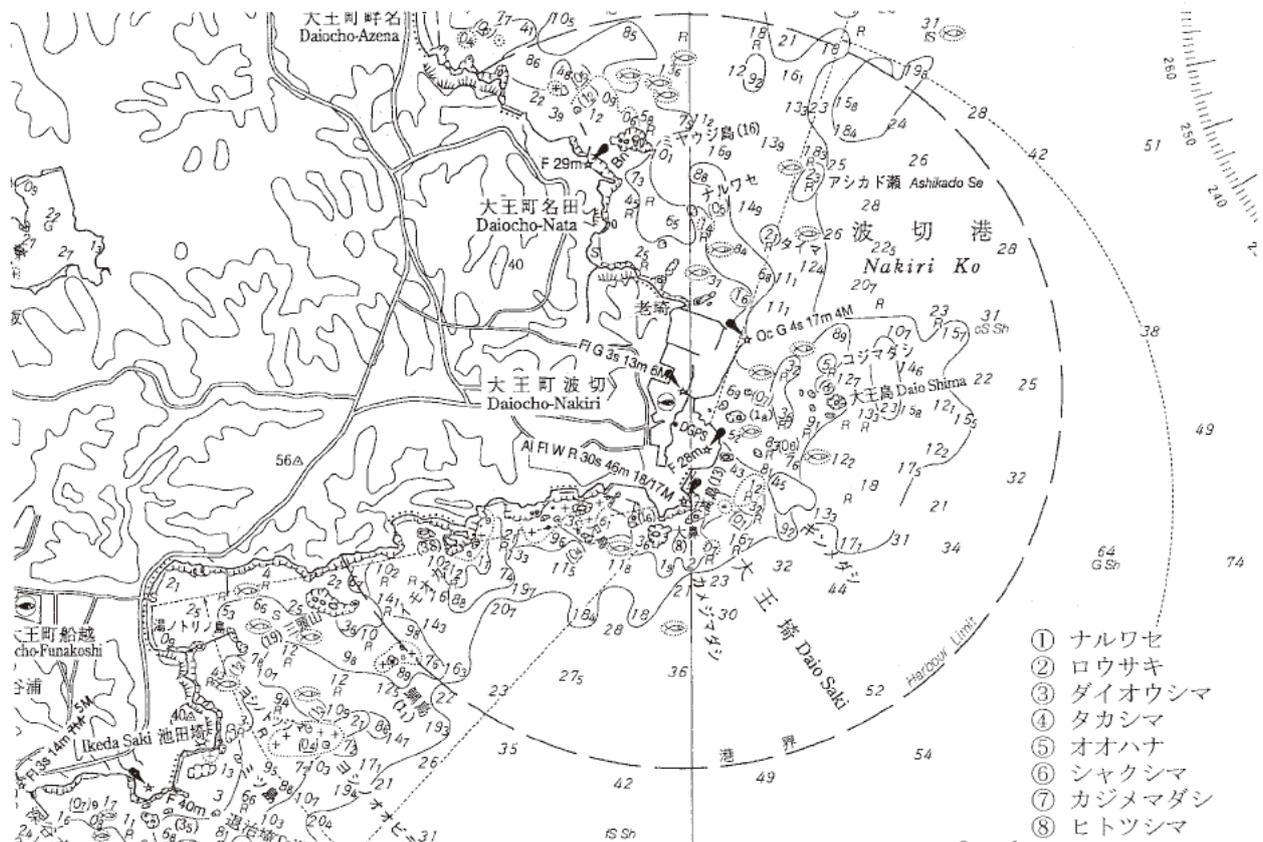


志摩市阿児町志島 (1 : 40,000、図上が北)

VII-5-5 図 海岸地形と漁を行う位置の呼称 4

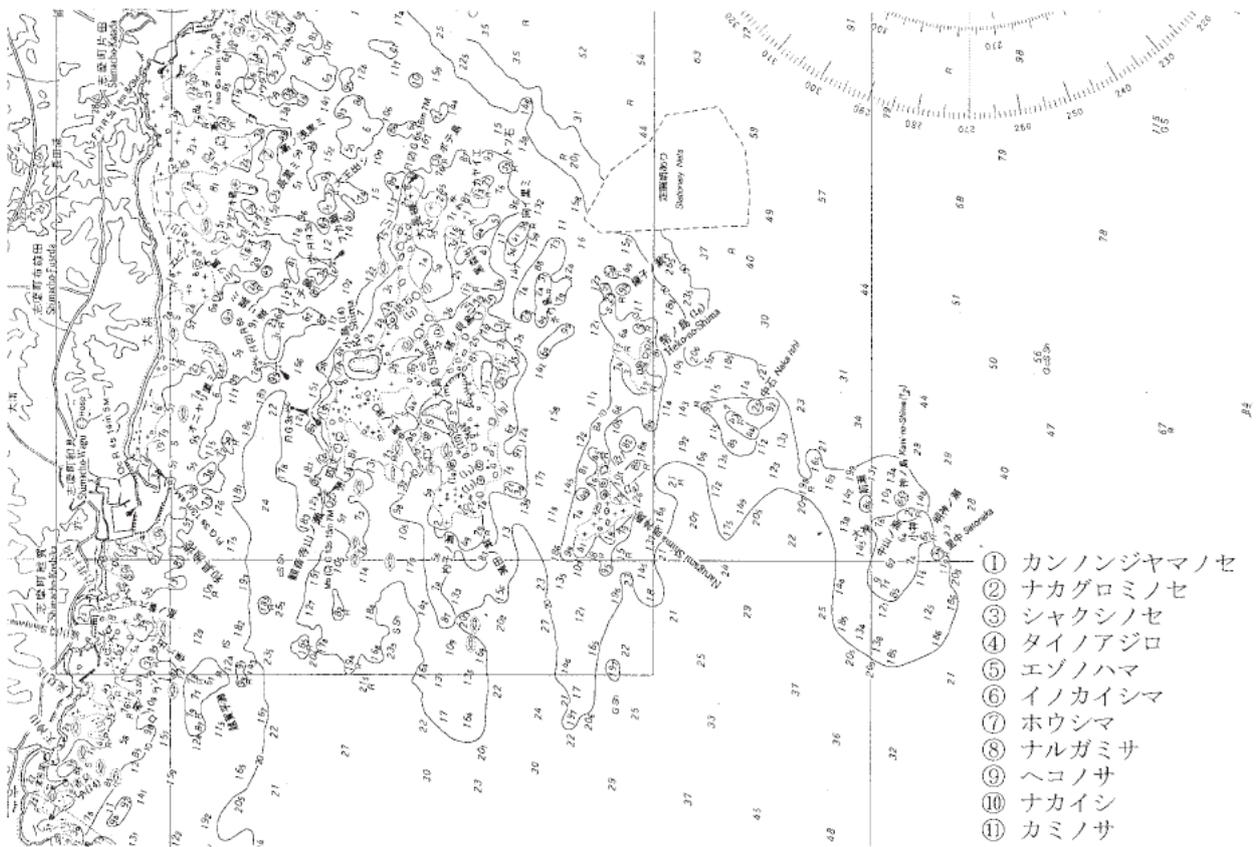


志摩市大王町畔名 (1 : 40,000、図上が北)

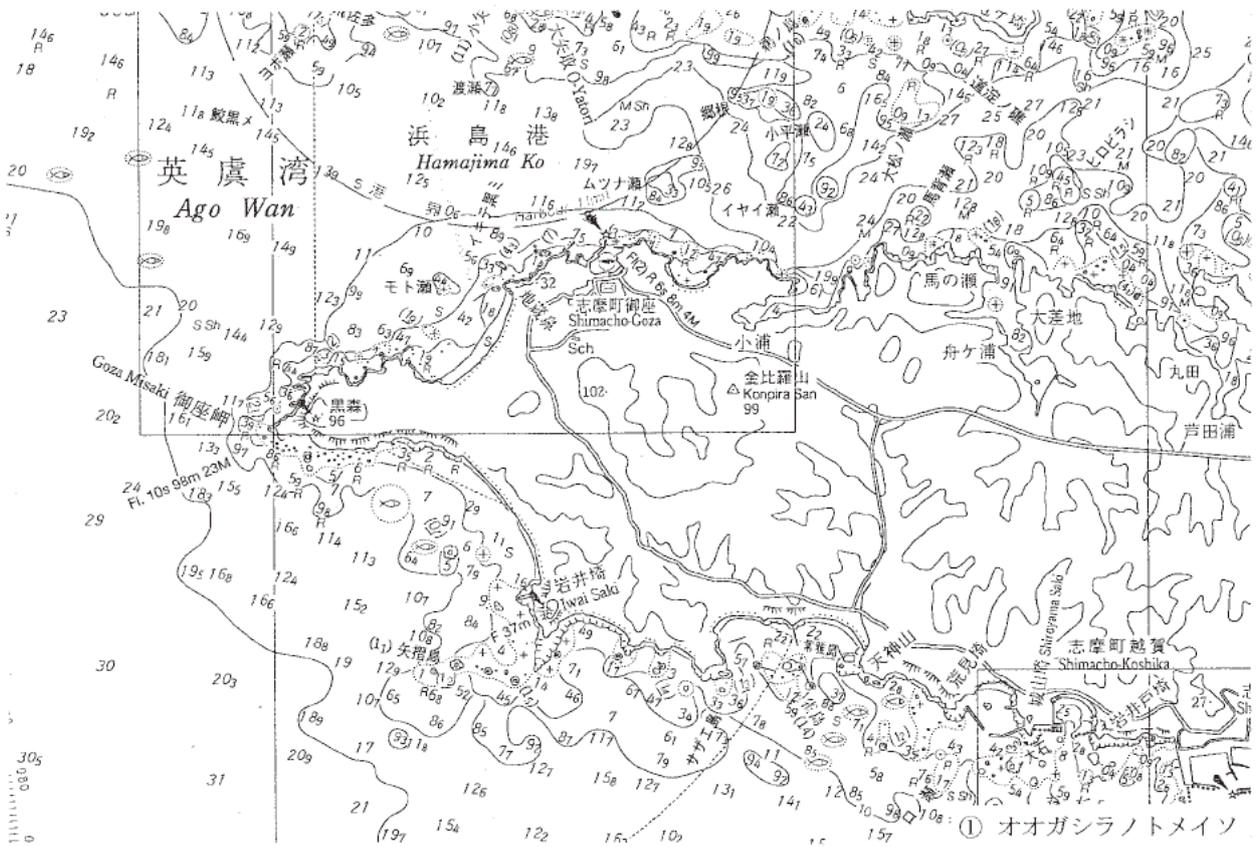


志摩市大王町波切 (1 : 40,000、図上が北)

VII-5-6 図 海岸地形と漁を行う位置の呼称 5



志摩市志摩町和具 (1 : 60,000、図上が北)



志摩市志摩町御座 (1 : 40,000、図上が北)

VII-5-7 図 海岸地形と漁を行う位置の呼称 6

平成24・25年度

海女習俗調査報告書

－鳥羽・志摩の海女による素潜り漁－

平成26(2014)年3月

編集・発行 三重県教育委員会
印 刷 共立印刷株式会社

